

# 1 現況把握

## 1 人口・世帯数

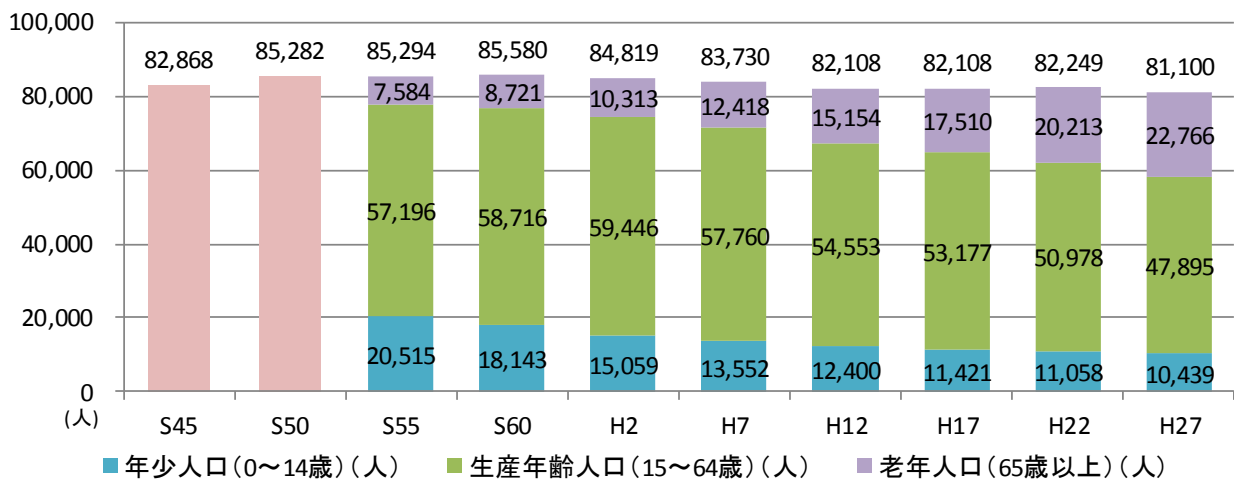
### (1) 人口の動向

#### ① 人口の推移

本市の人口は、昭和 60 年ごろをピークとし、平成期以降は減少しています。

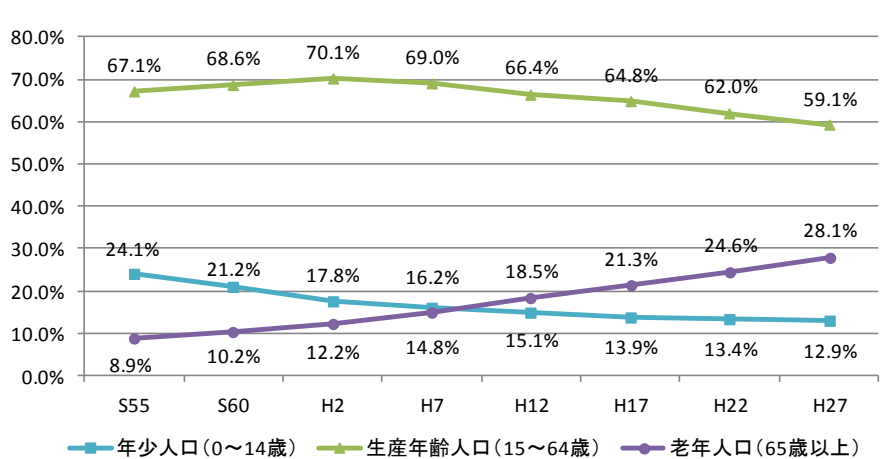
年齢区別の人口を見ると、年少人口や生産年齢人口はこれまで減少しており、高齢者が増加しています。現在の高齢化率は 28.1% であり、4 人に 1 人以上が高齢者となっています。

■ 人口の推移



※昭和 50 年以前は、年齢 3 区別のデータが公表されていないため、総数のみ表示  
資料：国勢調査

■ 年齢 3 区別の構成比の推移



資料：国勢調査



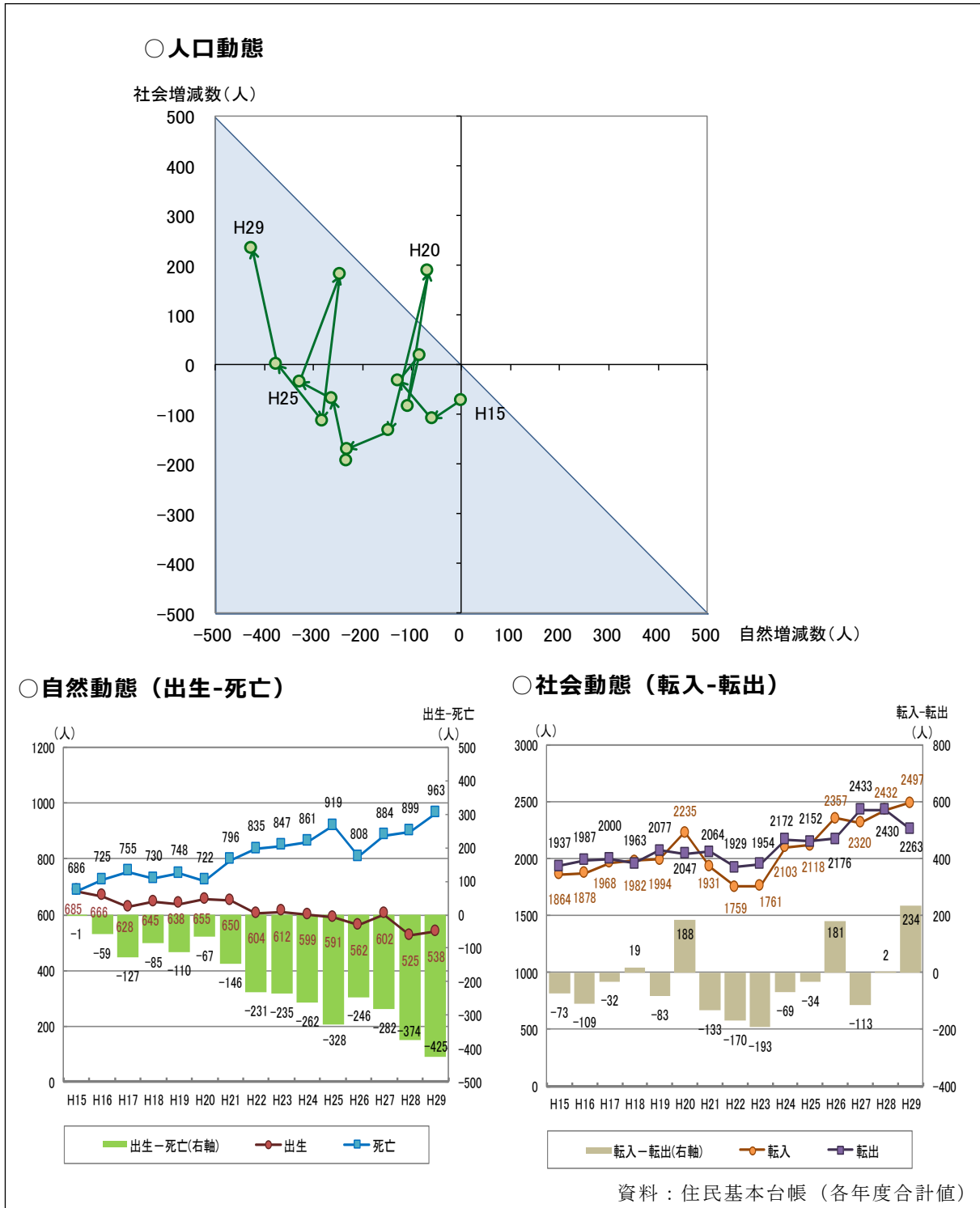
② 人口動態（自然増減・社会増減）

a. 蒲郡市の人口及び世帯の動態

これまでの 15 年間の人口動態を見ると、自然動態は、自然減の状況が継続しています。

社会動態については、平成 20 年度、平成 26 年度、平成 29 年度では流入超過の社会増加となりましたが、それ以外は流出超過しています。

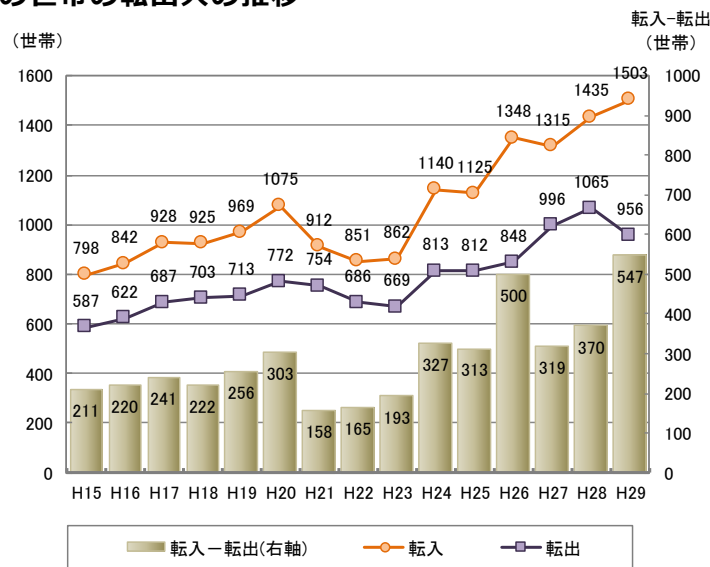
■ 蒲郡市の人口動態



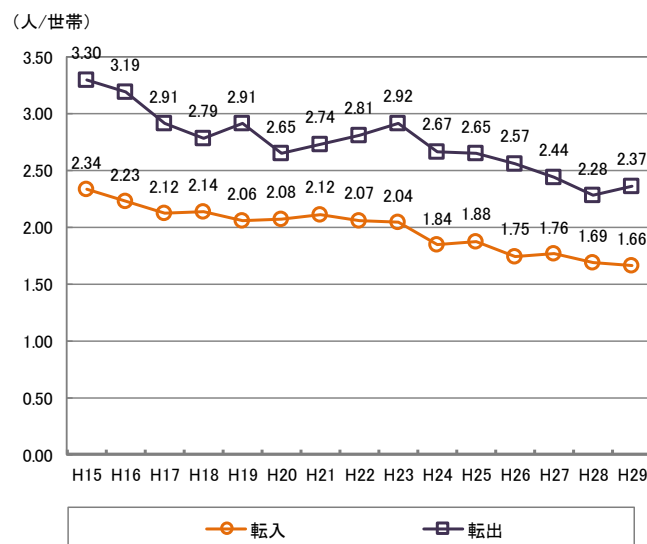
世帯の転出入を見ると、転出数より転入数が多い転入超過の状態が続いています。1世帯当たりの人員は転出世帯が多いことから、世帯数は転入超過であっても人口は転出超過（社会減）となっています。結婚・出産等により家族が増えると、市外に転出する人が多いことが推察されます。

■ 蒲郡市の世帯の転出入の推移

○ 蒲郡市の世帯の転出入の推移



○ 蒲郡市の転出入別の1世帯あたり人員



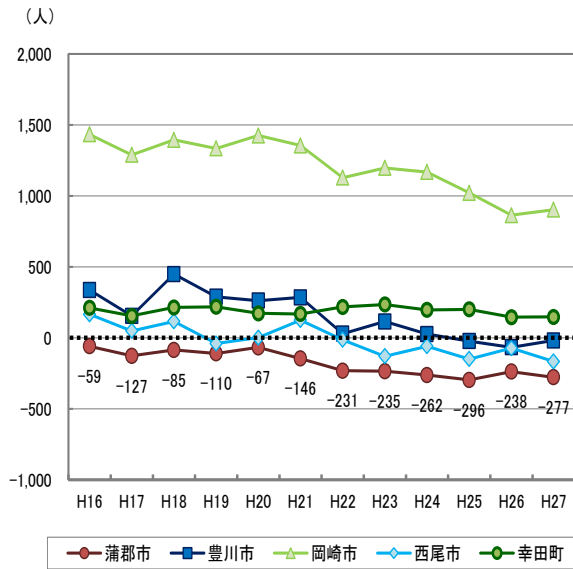
資料：住民基本台帳（各年度合計値）



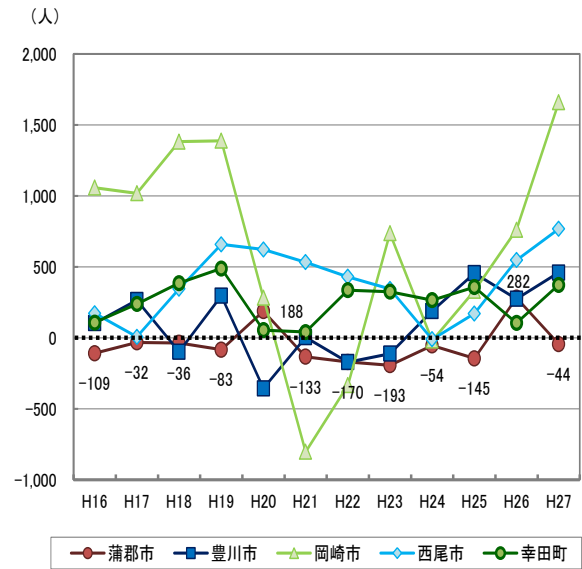
### b. 人口動態の他都市との比較

蒲郡市が自然減、社会減の状況下である一方で、近隣自治体では、自然増、社会増が継続している都市があります。

■ 自然動態（出生-死亡）



■ 社会動態（転入-転出）



資料：地域経済分析システム（RESAS）

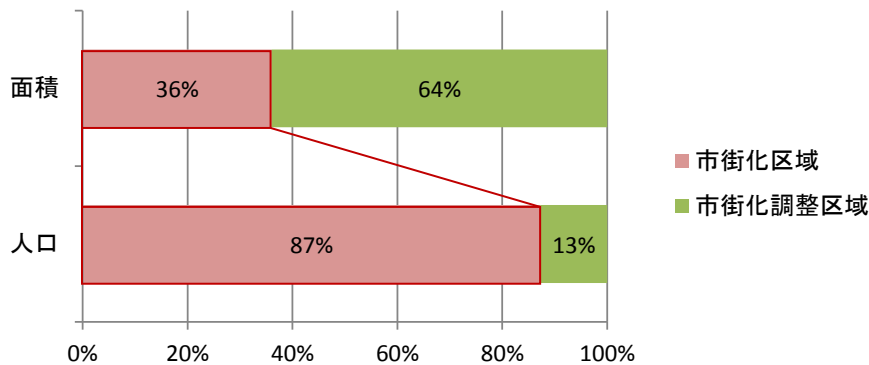
## (2) 人口分布

### ① 区域区分別人口

本市では、36%を占める市街化区域の中に、87%の人が居住しています。区域区分別の人口の推移を見ると、市街化区域、市街化調整区域ともに人口が減少傾向となっています。世帯数は、短期的に見て市街化調整区域では横ばいですが、市街化区域で増加しています。

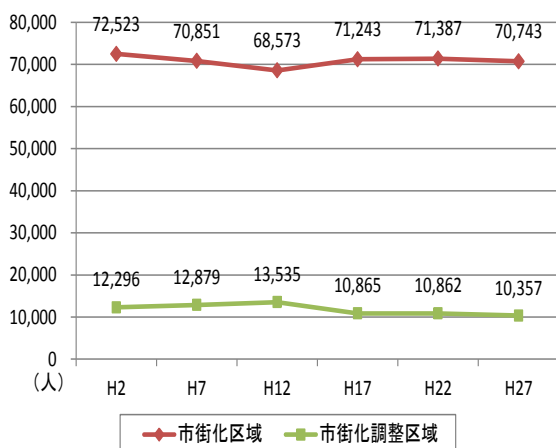
今後のまちづくりは、多くの人口や世帯が集積する市街化区域の都市機能を重点的に改善しながら、市街化調整区域の居住者も利便性が高まった都市機能を利用できるまちづくりが効果的であると考えられます。

#### ■ 区域区分別面積と人口の割合

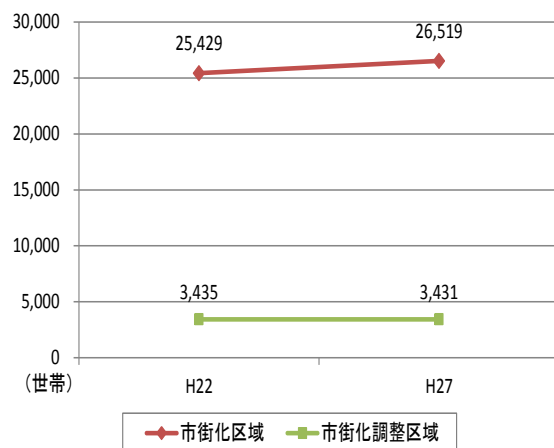


資料：平成 28 年度都市計画基礎調査

#### ■ 区域区分別の人口の推移



#### ■ 区域区分別世帯数の推移



資料：都市計画基礎調査



## ② 用途地域別の人口密度

ラグーナ蒲郡地区計画区域と浜町の工業専用地域を除く市街化区域の人口密度が、おおむね既成市街地の基準値である 40 人/ha と同等となっています。

■ 市街化区域の用途地域別人口密度

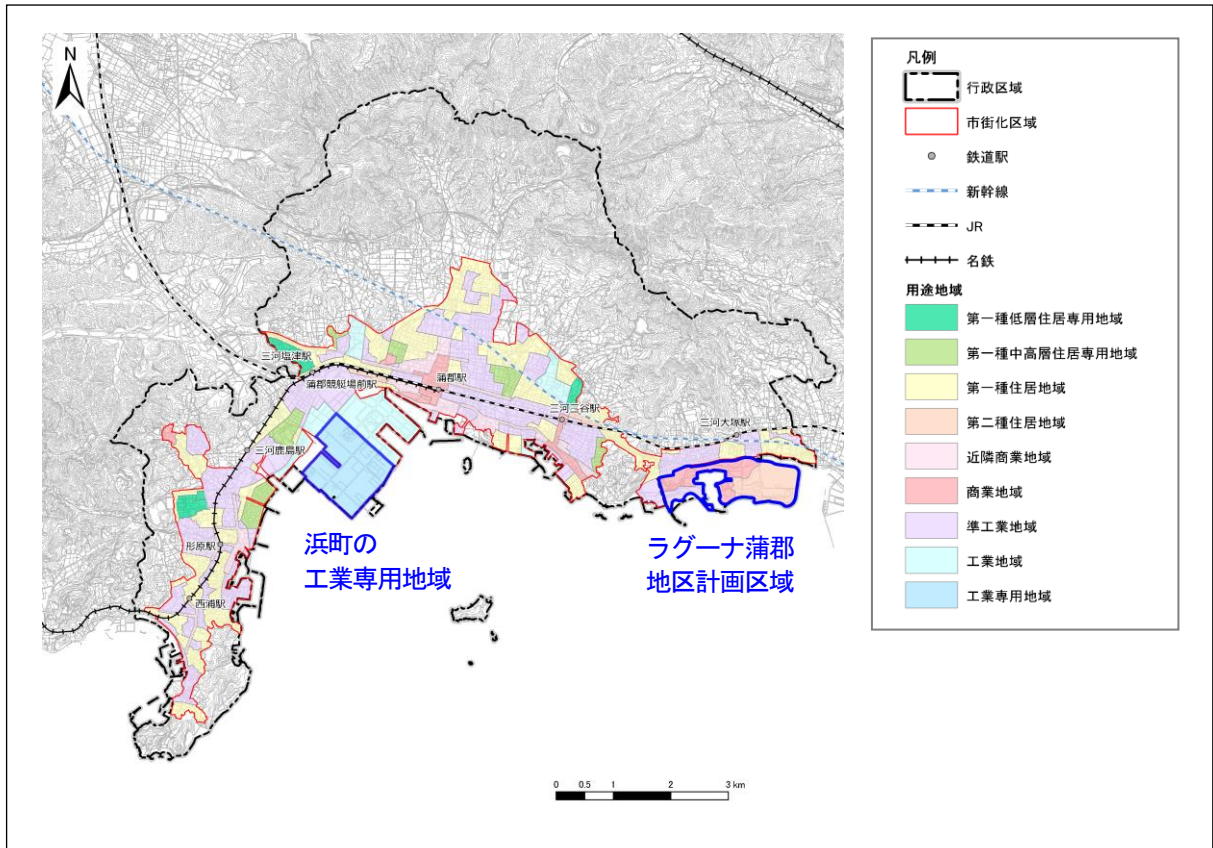
用途地域	市街化区域全体			ラグーナ地区を除く		
	面積 (ha)	人口 (人)	人口密度 (人/ha)	面積 (ha)	人口 (人)	人口密度 (人/ha)
第1種低層住居専用地域	50	1,860	37	50	1,860	37
第1種中高層住居専用地域	86	4,825	56	86	4,825	56
第1種住居地域	548	23,689	43	548	23,689	43
第2種住居地域	80	1,413	18	16	600	37
近隣商業地域	129	5,798	45	129	5,798	45
商業地域	114	3,193	28	61	3,038	50
準工業地域	726	28,372	39	709	28,372	40
工業地域	162	1,592	10	162	1,592	10
工業専用地域	156	1	0	156	1	0
総計	2,051	70,743	34	1,918	69,775	36
総計(工業専用地域除く)	1,895	70,742	37	1,762	69,774	40

※下線の数値は、ラグーナ蒲郡地区計画区域を除くことにより変更があるもの

資料：平成 28 年度都市計画基礎調査

【参考：人口密度の目安：都市計画運用指針（市街化区域の規模）】

- ① 住宅用地の人口密度については、土地の高度利用を図るべき区域にあつては、1ha 当たり 100 人以上、その他の区域にあつては 1ha 当たり 80 人以上を目標とし、土地利用密度の低い地域であっても 1ha 当たり 60 人以上とすることを基本とすることが望ましい。
- ② 既に市街化している区域において、地形その他の地理的条件や都市基盤施設の配置・形状等からみて現状より多くの住宅を建築することが困難であること等の理由から、①に示す人口密度の参考数値を適用しがたい場合には、現在の市街地の地区毎の人口密度を把握のうえ、市街地の具体的な整備の方向を示したうえで、これを踏まえた将来の地区毎の人口密度目標を設定するなどの方策も考えられる。ただし、この場合でも規則に定める既成市街地の基準である 1ha 当たり 40 人を下回らないこととすべきである。

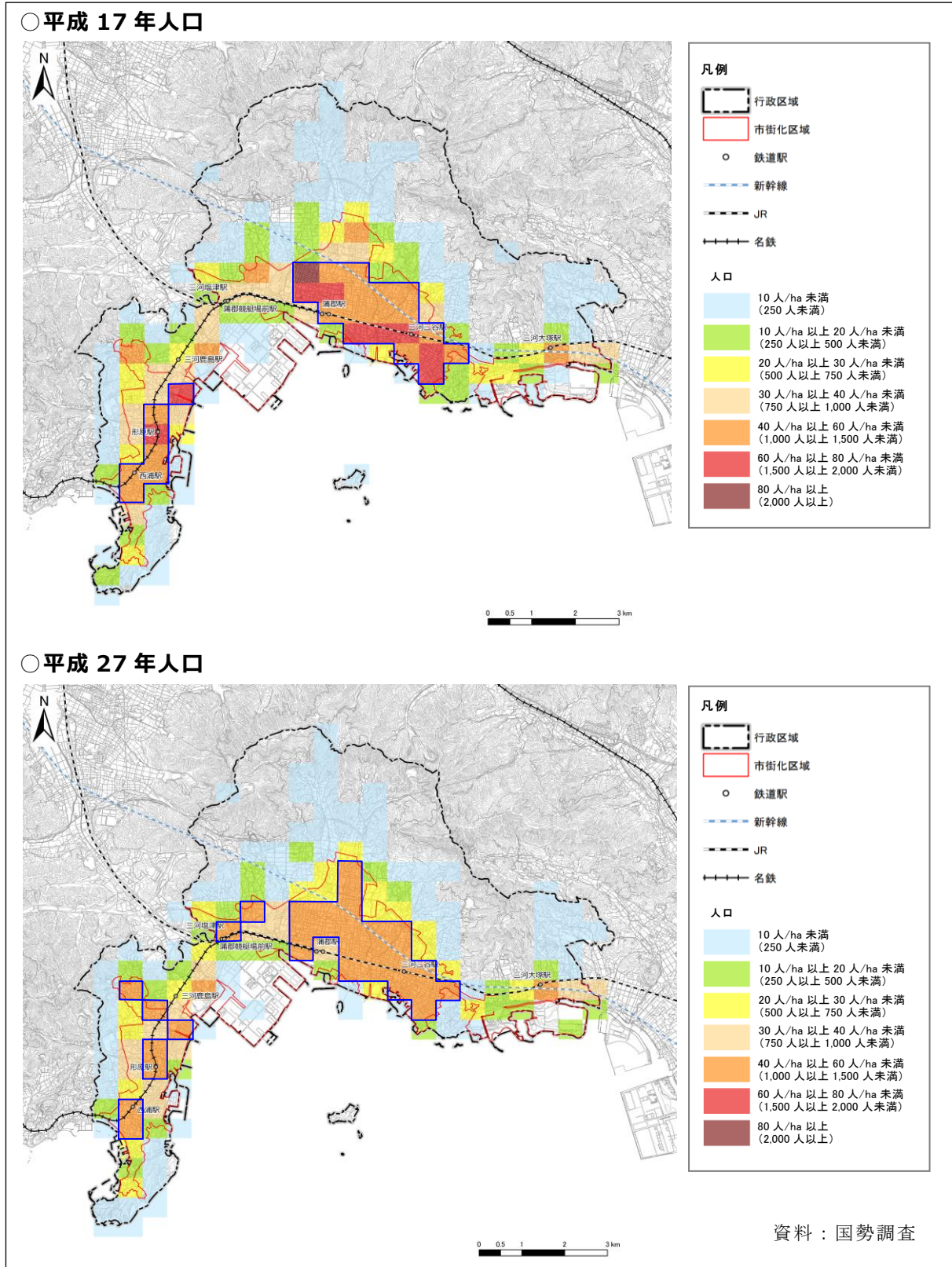




### ③ 総人口の分布（500mメッシュ）

平成 17 年と平成 27 年の人口分布を見ると、蒲郡駅から三河三谷駅周辺や形原駅から西浦駅周辺の市街化区域に人口が集積しています。

#### ■ 総人口の分布（500mメッシュ）

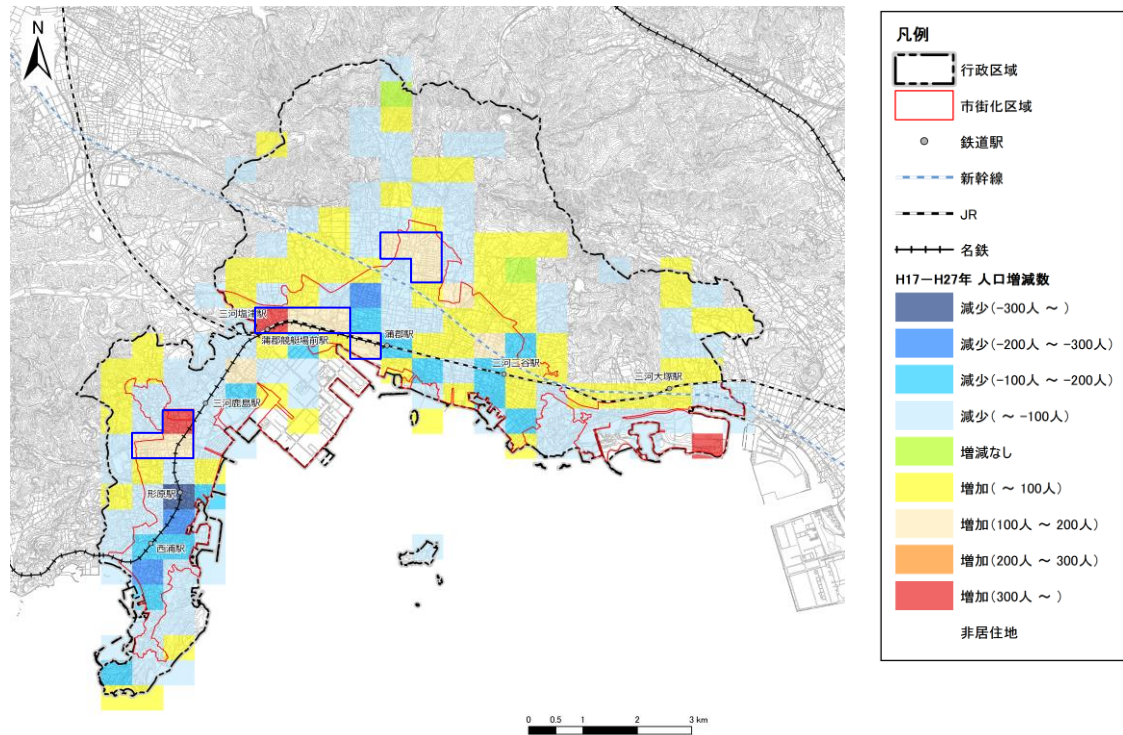




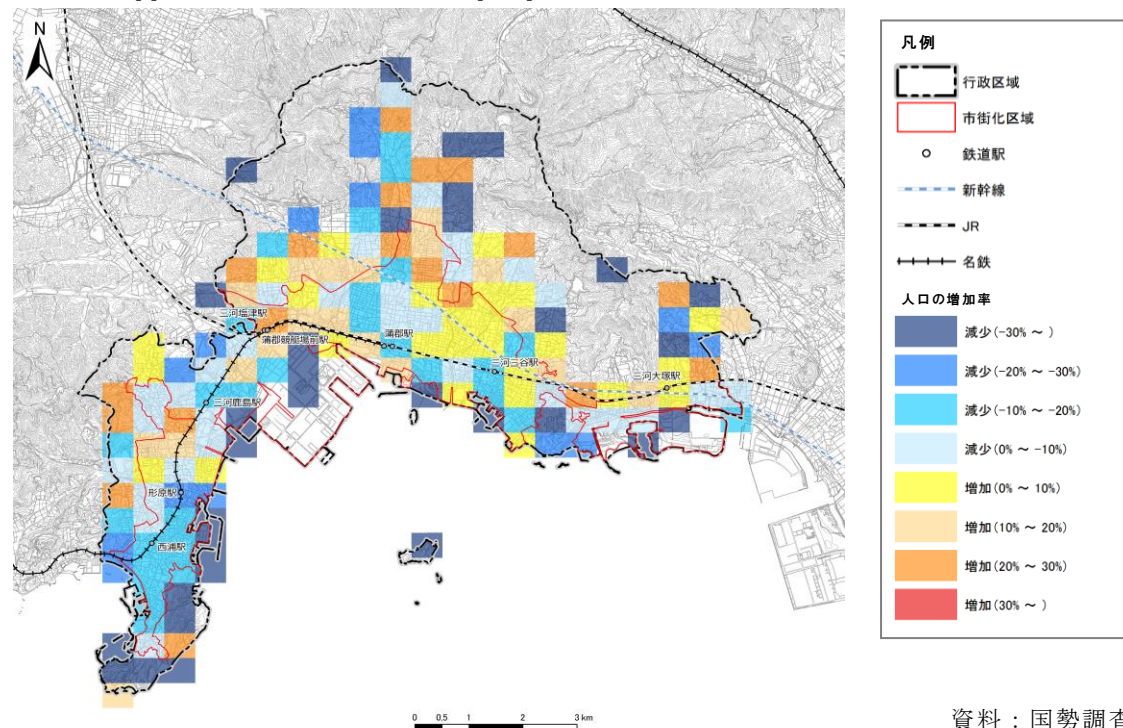
人口の増減については、三河塩津駅・蒲郡競艇場前駅周辺では増加しているのに対し、その他の駅周辺では増減なし、もしくは減少しています。また、市西部をはじめ、広い地域で人口が減少する中、駅から一定距離のある、蒲郡中部土地区画整理事業施行区域周辺等において人口が増加している地域も分布しています。

■ 総人口の分布 (500m メッシュ)

○ 増減数(平成 27 年-平成 17 年)



○ 増加率((平成 27 年÷平成 17 年)-1)



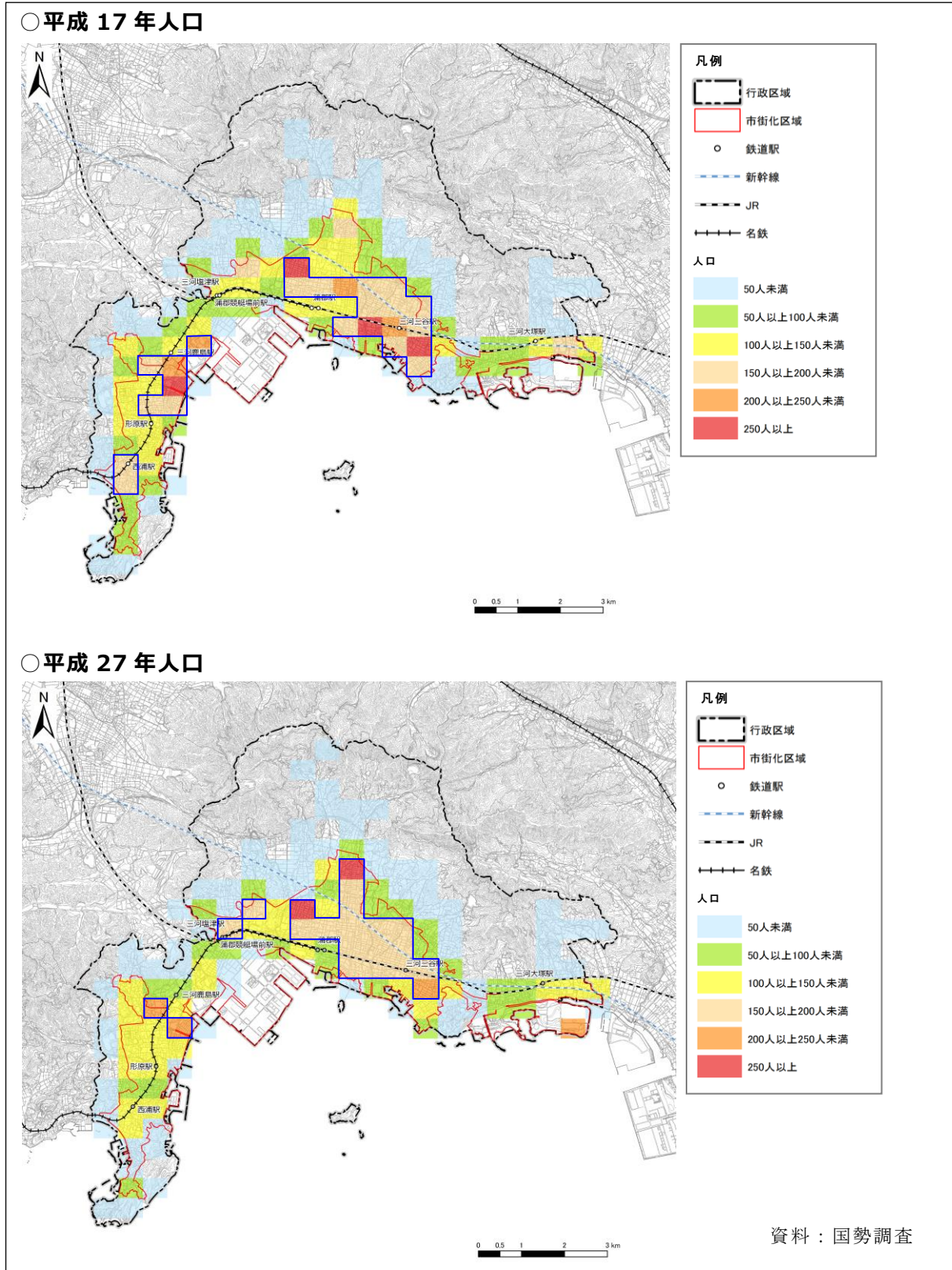
資料：国勢調査



#### ④ 年少人口（14歳以下）の分布（500mメッシュ）

平成17年と平成27年の年少人口の分布を見ると、三河塩津駅・蒲郡競艇場前駅周辺から三河三谷駅周辺、形原駅周辺の市街化区域に人口が集積しています。

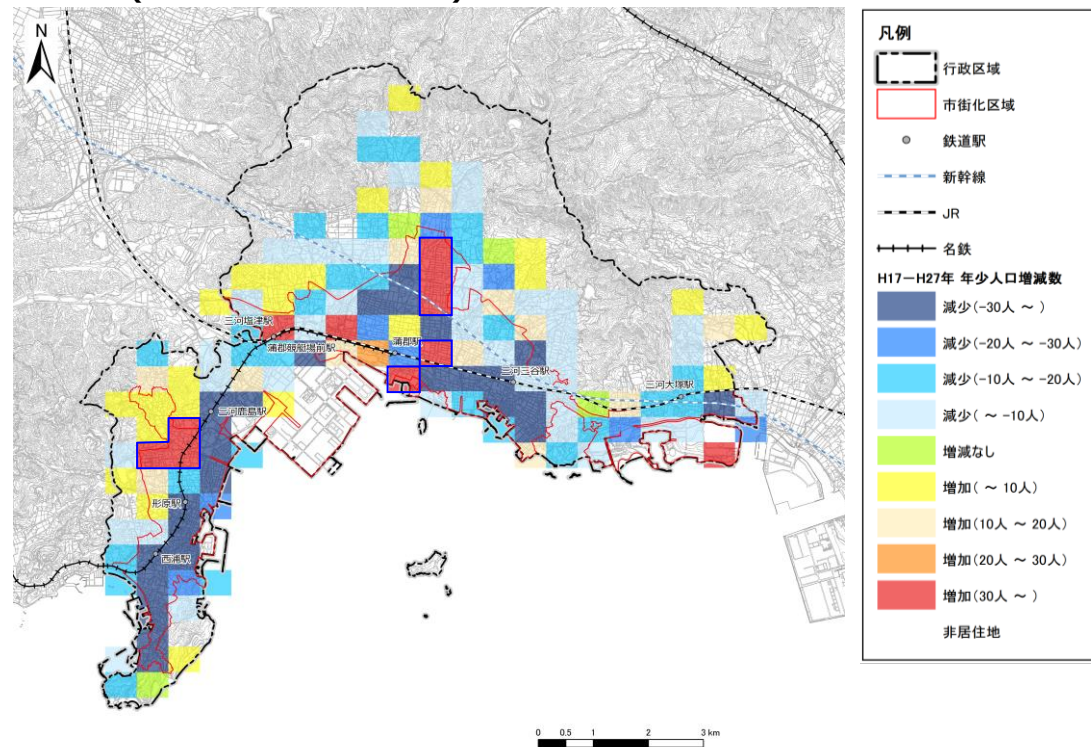
■ 年少人口の分布（500mメッシュ）



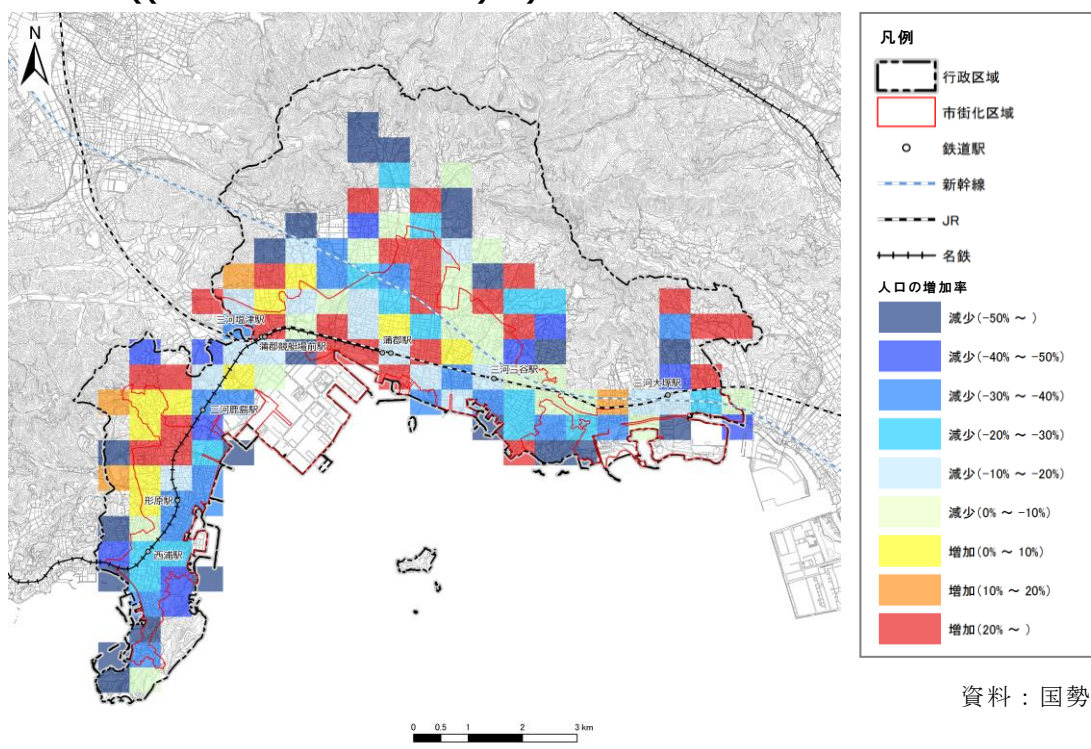
人口の増減については、市西部や三河三谷駅周辺などの総人口が集積する地域をはじめ、市街化区域内で年少人口が減少する地域が多い状況です。一方で、三河塩津駅・蒲郡競艇場前駅周辺や蒲郡駅周辺、土地区画整理事業施行区域等において人口が増加しています。

■ 年少人口の分布 (500m メッシュ)

○ 増減数(平成 27 年-平成 17 年)



○ 増加率((平成 27 年÷平成 17 年)-1)



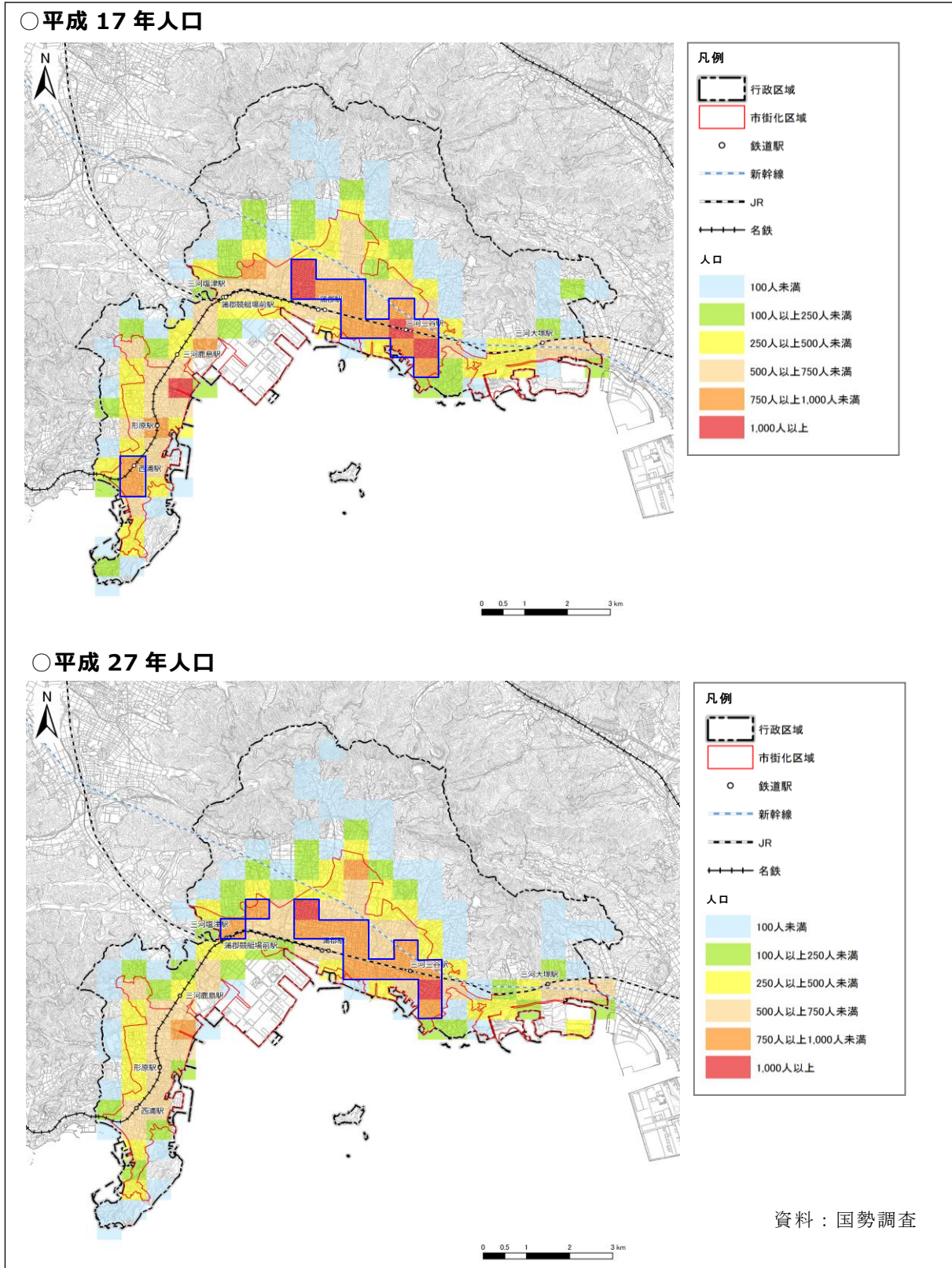
資料：国勢調査



⑤ 生産年齢人口（15歳～64歳）の分布（500mメッシュ）

平成17年と平成27年の生産年齢人口の分布を見ると、三河塩津駅・蒲郡競艇場前駅周辺から三河三谷駅周辺の市街化区域に人口が集積しています。

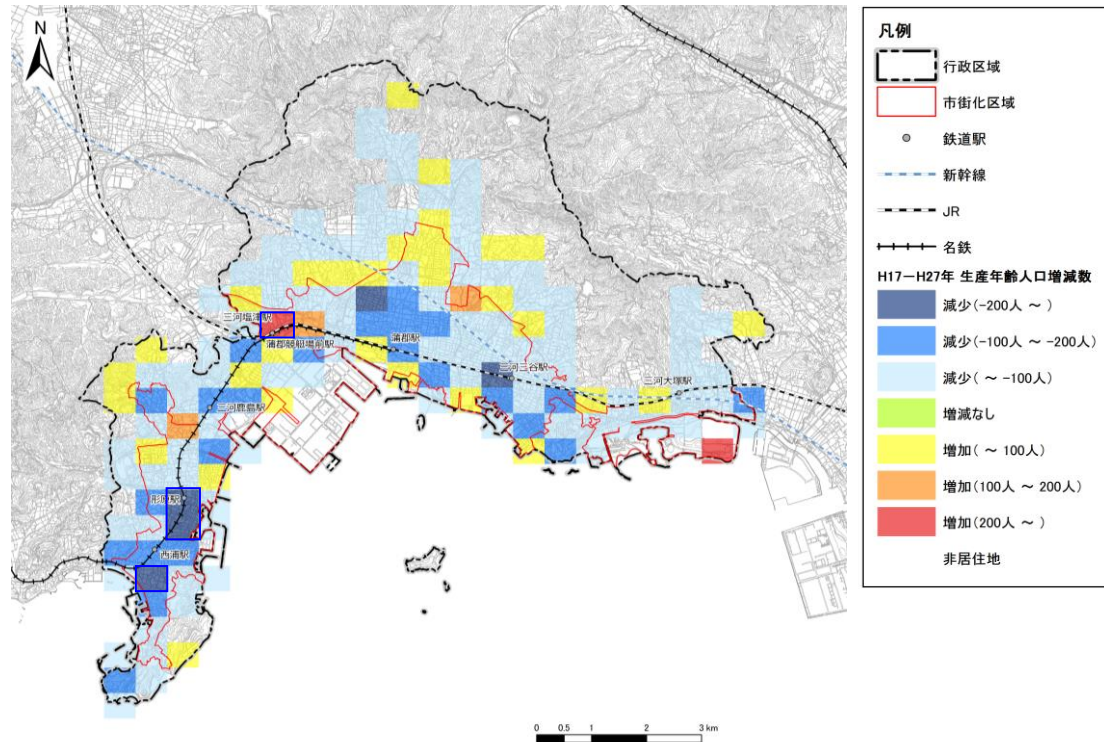
■ 生産年齢人口の分布（500mメッシュ）



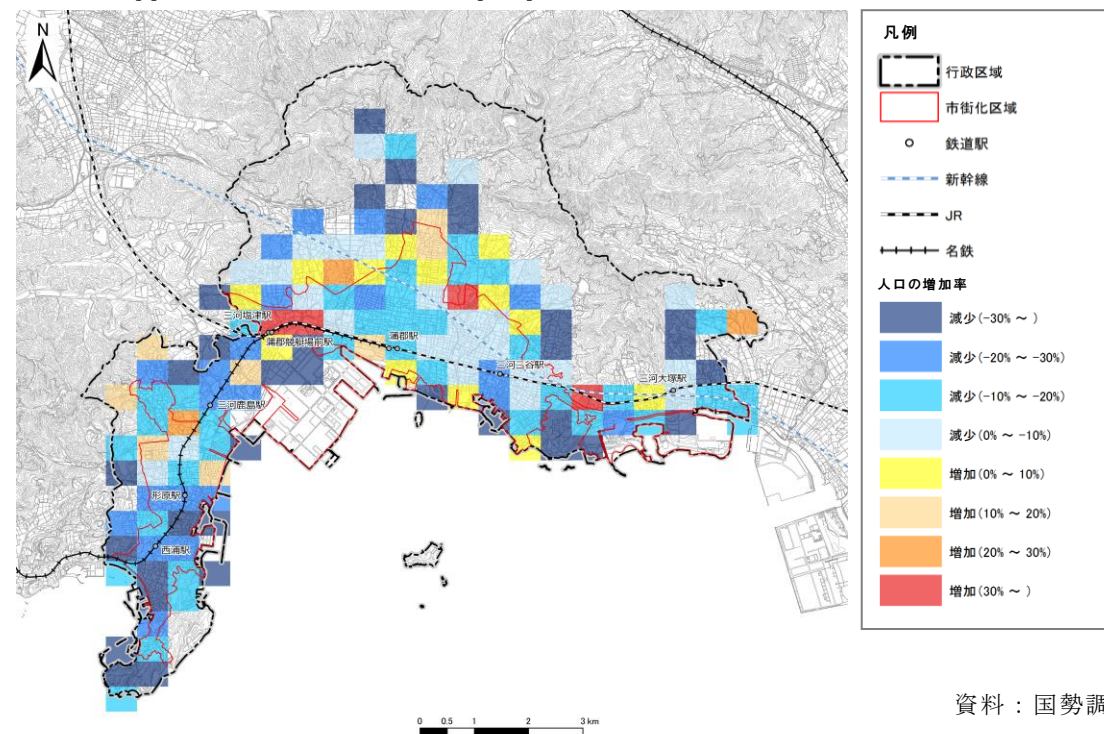
人口の増減については、三河塩津駅周辺等で増加しているのに対し、多くの駅周辺等で減少しています。

■ 生産年齢人口の分布 (500m メッシュ)

○ 増減数(平成 27 年-平成 17 年)



○ 増加率((平成 27 年÷平成 17 年)-1)



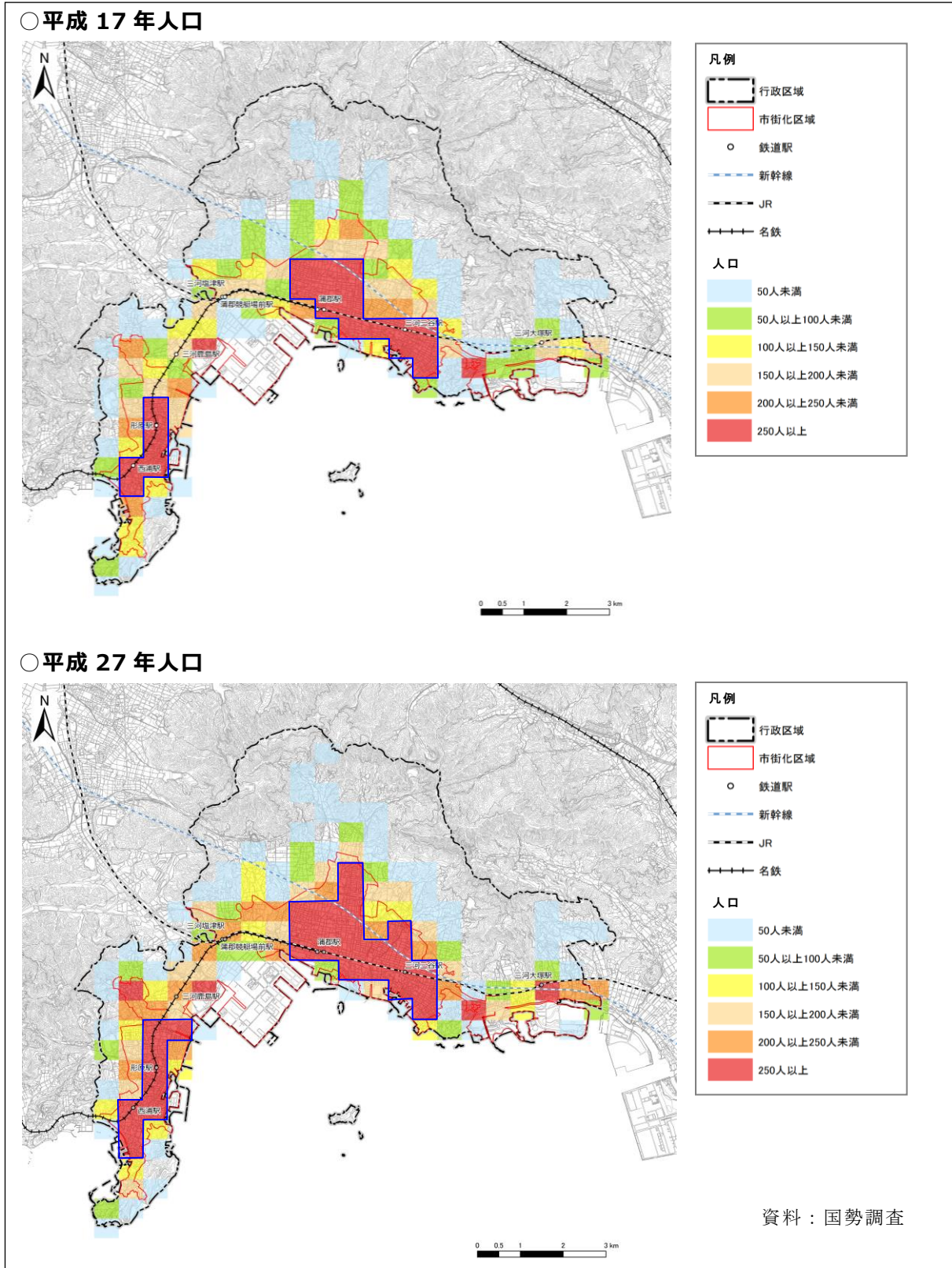
資料：国勢調査



### ⑥ 高齢者（65歳以上）の分布（500mメッシュ）

平成17年と平成27年の高齢者の分布を見ると、総人口と同様に、蒲郡駅から三河三谷駅周辺や形原駅から西浦駅周辺の市街化区域に人口が集積しています。

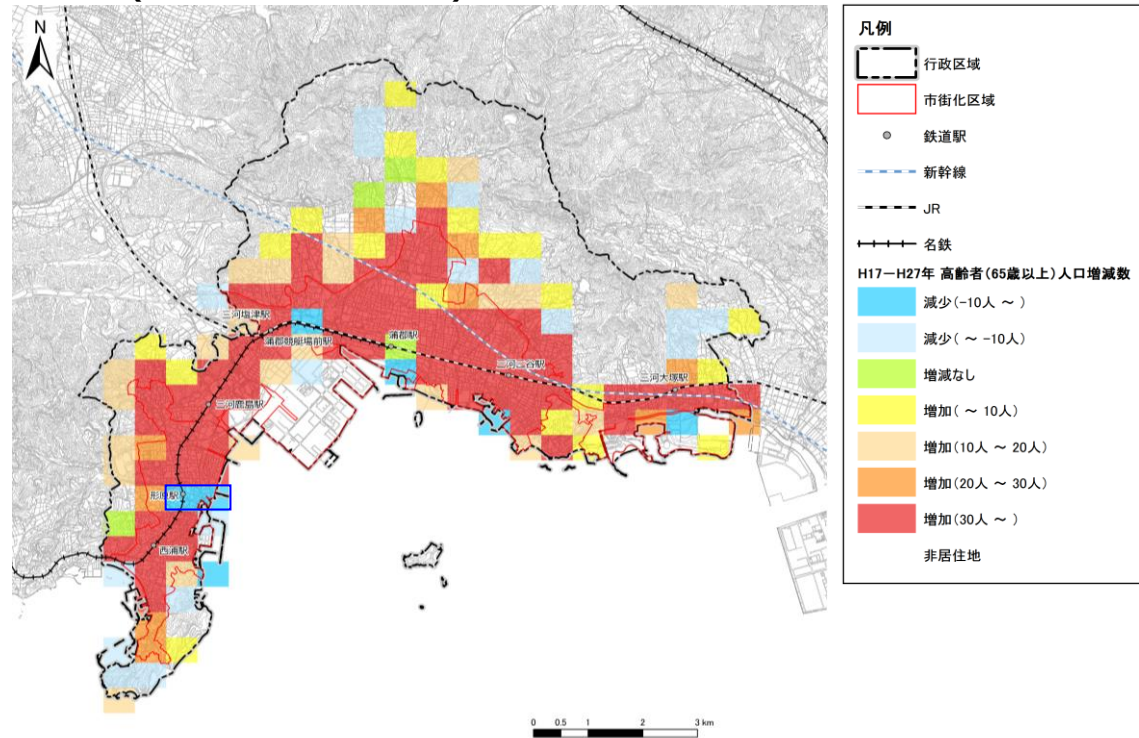
#### ■ 高齢者（65歳以上）の分布（500mメッシュ）



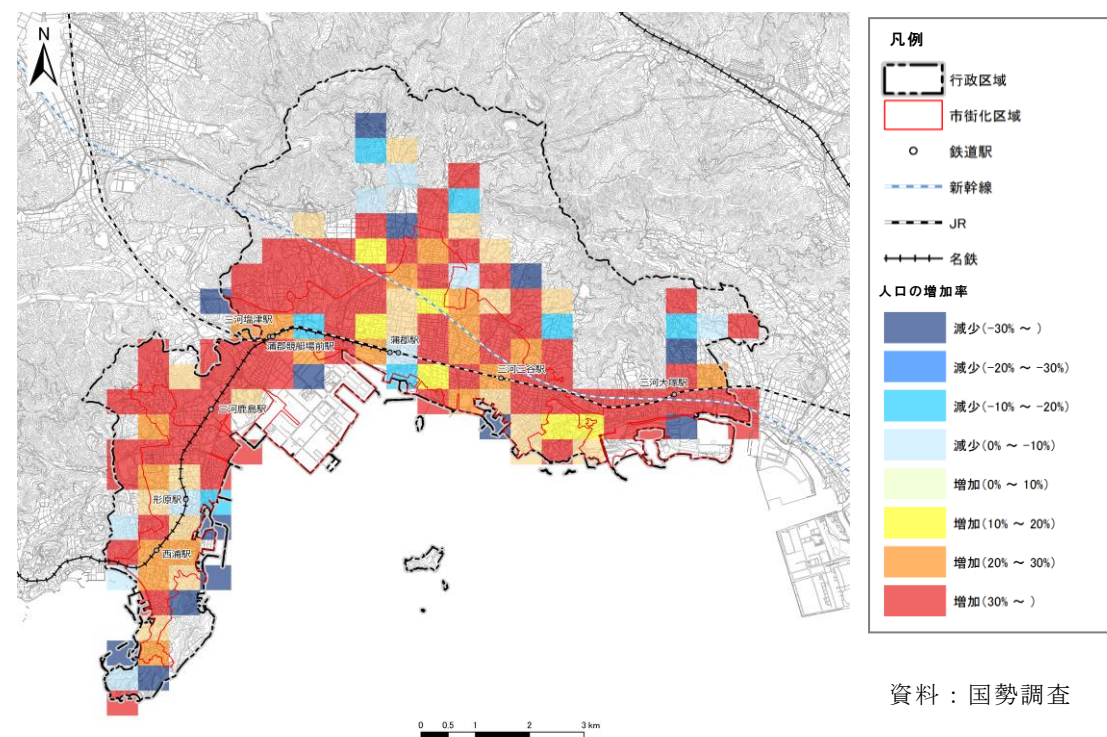
人口の増減については、おおむね市全体にわたり増加しています。一方で、形原駅周辺では高齢者が減少しており、これまでの整理結果から、全ての世代で人口が減少しています。

■高齢者（65歳以上）の分布（500mメッシュ）

○増減数(平成27年-平成17年)



○増加率((平成27年÷平成17年)-1)



資料：国勢調査

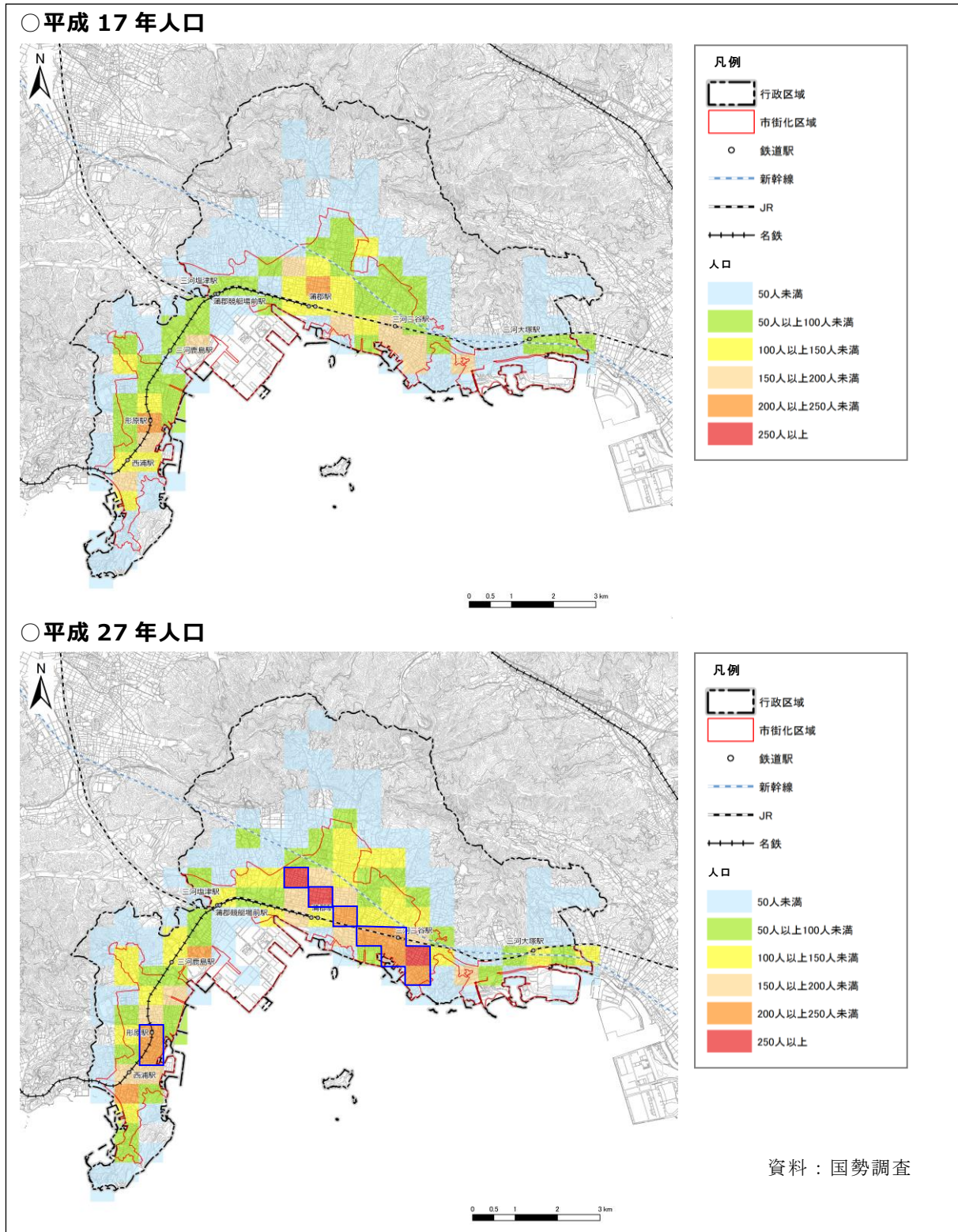


### ⑦ 高齢者（75歳以上）の分布（500mメッシュ）

人口の半数以上が運転免許を保有していない75歳以上の高齢者の人口分布を整理します。

平成17年と平成27年の75歳以上の高齢者の分布を見ると、蒲郡駅から三河三谷駅周辺や形原駅周辺の市街化区域に人口が集積しています。

#### ■ 高齢者（75歳以上）の分布（500mメッシュ）

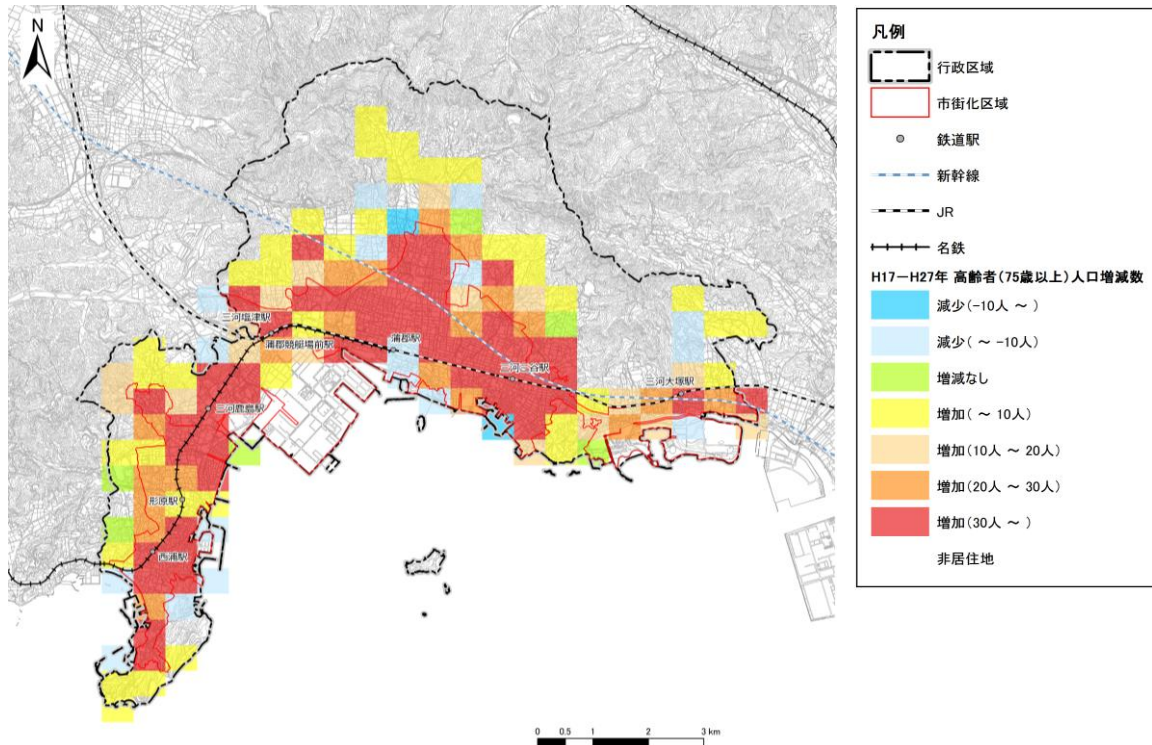




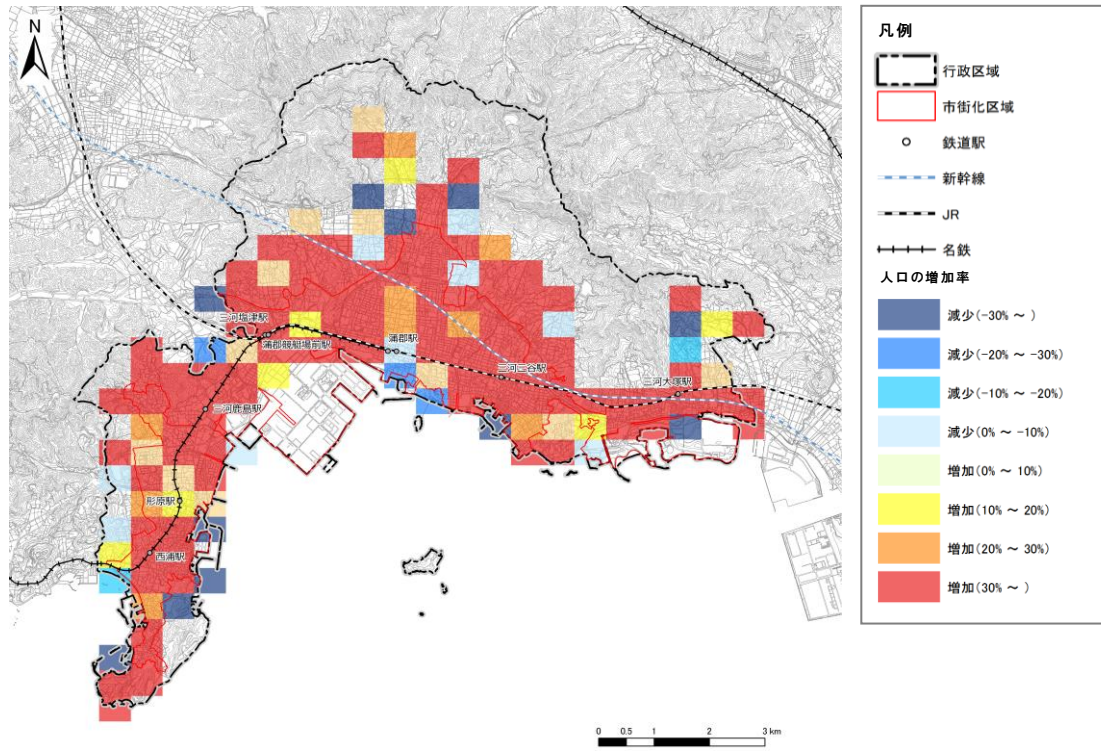
人口の増減を見ると、おおむね市全体にわたり増加しています。市内の各居住地において、自動車を運転できない高齢者が増加していると考えられます。

■高齢者（75歳以上）の分布（500mメッシュ）

○増減数(平成27年-平成17年)



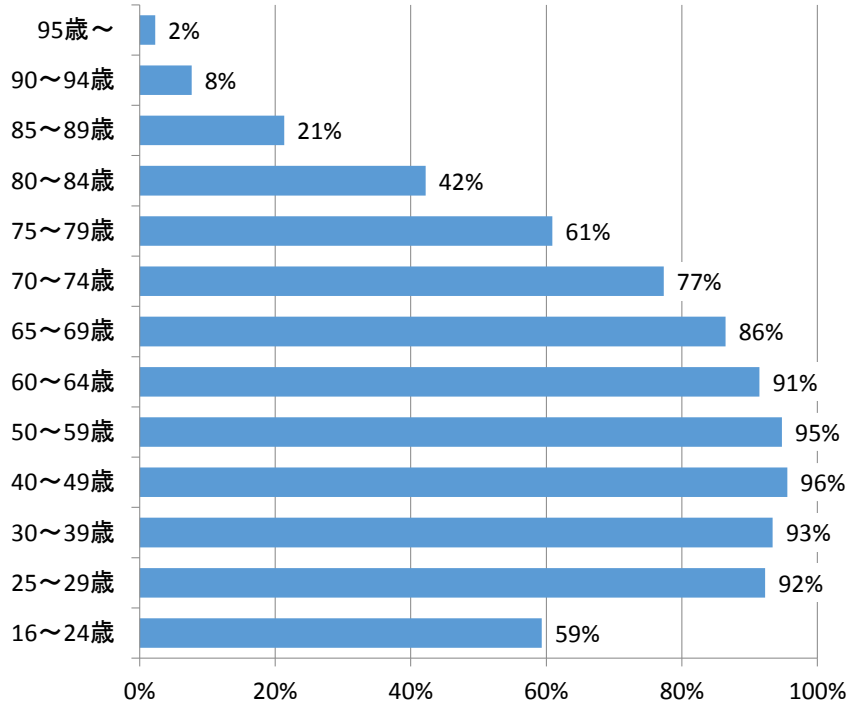
○増加率((平成27年÷平成17年)-1)





■ 蒲郡市民の自動車運転免許の保有状況

○ 5 歳階級別の自動車運転免許保有率



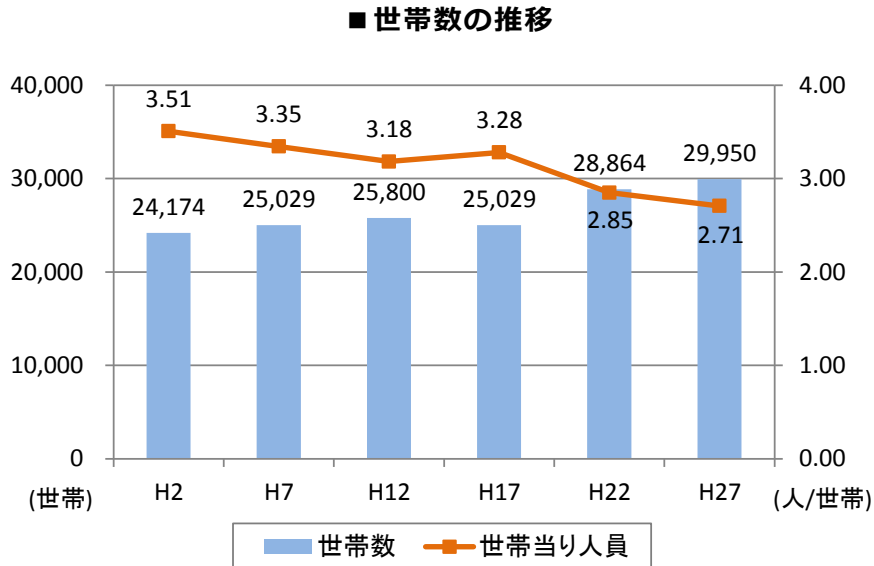
○ 高齢者の運転免許保有率

	65歳以上	70歳以上	75歳以上
人口	23,261	17,268	11,901
運転免許保有人口	14,322	9,141	4,991
運転免許保有率	62%	53%	42%

資料：愛知県警統計（運転免許人口平成 29 年 12 月 28 日現在）  
 蒲郡市ホームページ（平成 30 年人口及び世帯数統計資料  
 町別年齢階級別人口表 平成 30 年 1 月 1 日現在）

### (3) 世帯数の推移

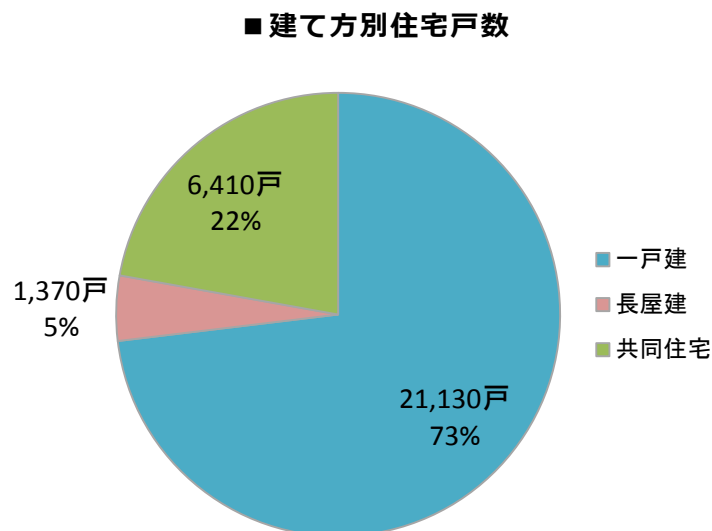
世帯数は、人口が減少している一方で、1世帯当たり人員の減少に伴い増加しています。



資料：国勢調査

### (4) 建て方別の住宅数

蒲郡市では、戸建て住宅に居住する人が多く、73%を占めています。共同住宅に居住する人は、22%を占めています。



資料：平成25年住宅・土地統計調査

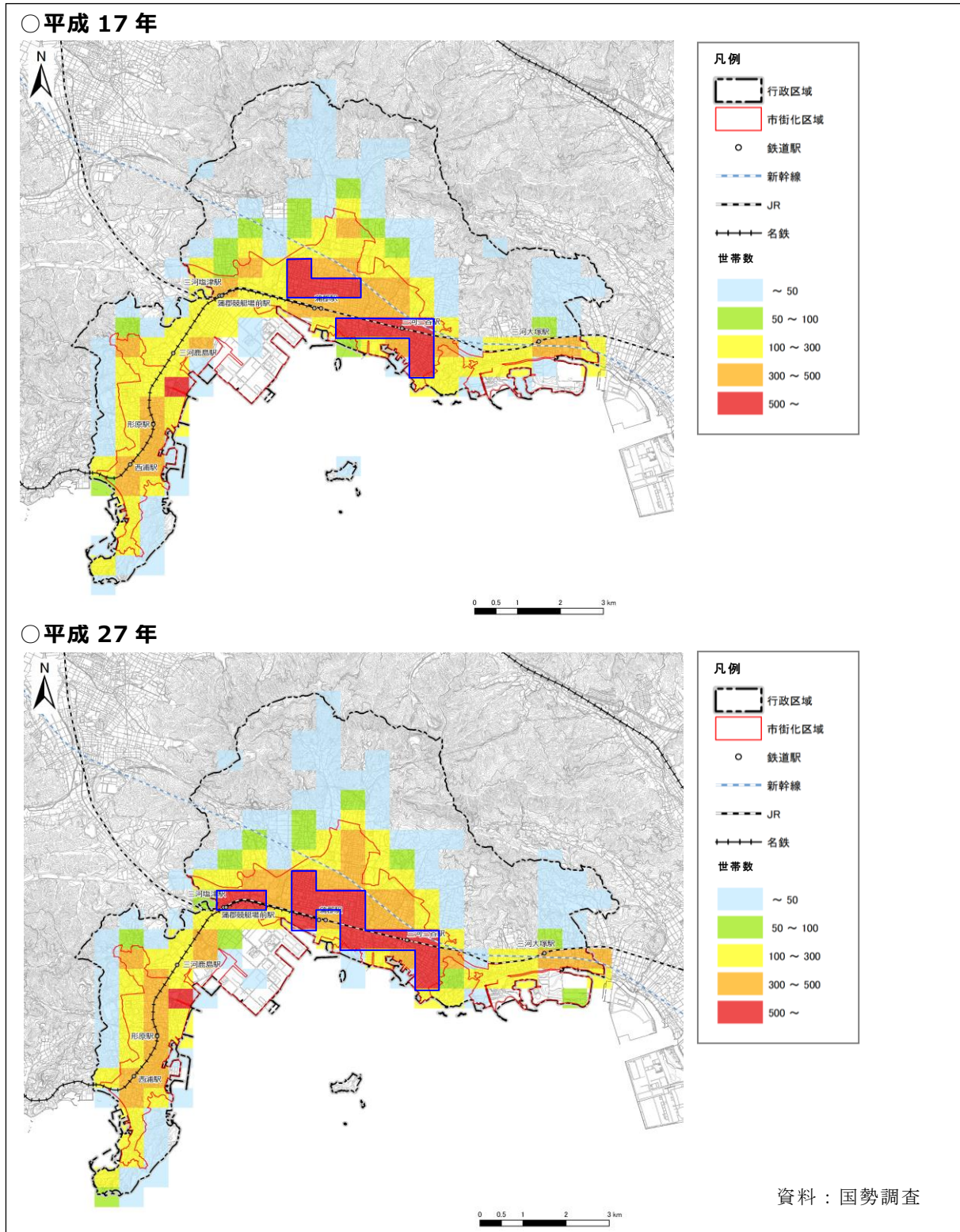


## (5) 世帯数の分布

### ① 総世帯数 (500m メッシュ)

平成 17 年と平成 27 年の世帯の分布を見ると、三河塩津・蒲郡競艇場前駅から三河三谷駅周辺等の市街化区域に世帯が集積しています。

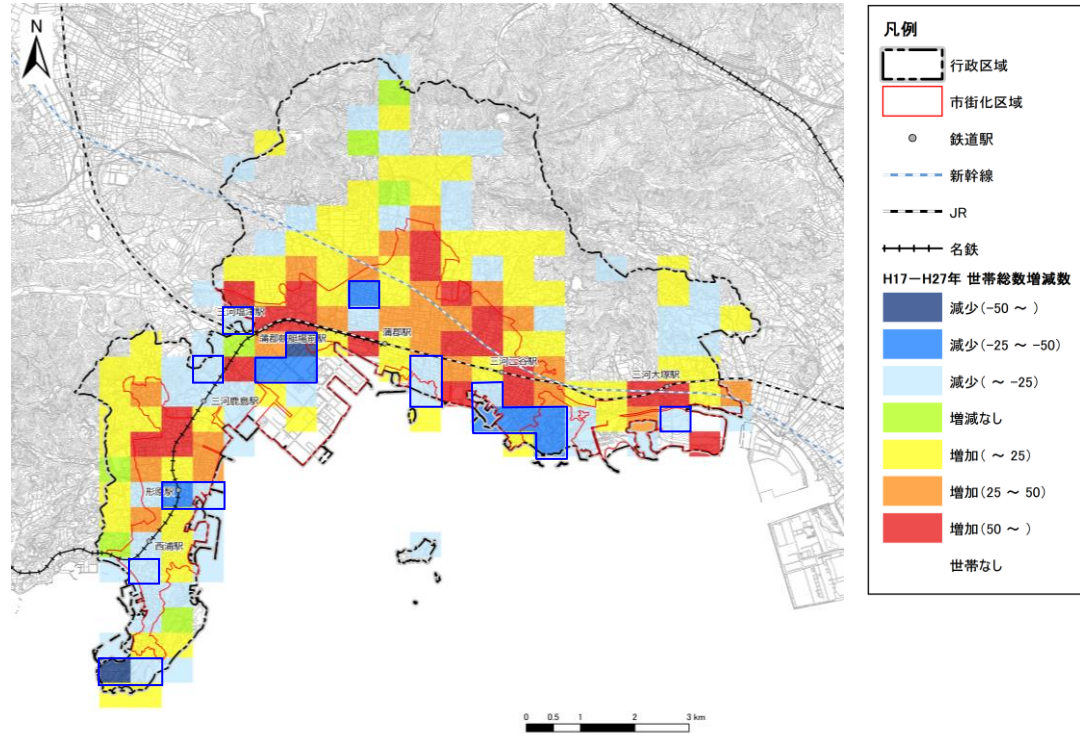
■ 総世帯数の分布 (500m メッシュ)



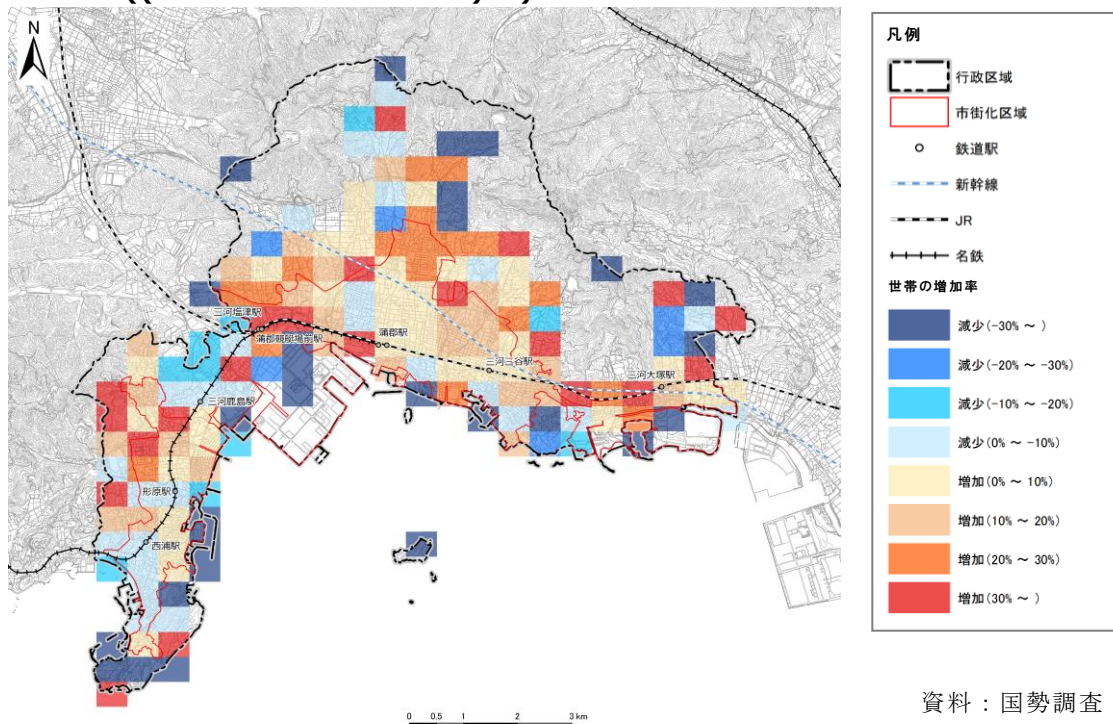
世帯数の増減を見ると、全市的に増加している地域が多いですが、三河鹿島駅以南の駅周辺や、市街化調整区域で減少している地域が見られます。

■ 総世帯数の分布 (500m メッシュ)

○ 増減数(平成 27 年-平成 17 年)



○ 増加率((平成 27 年÷平成 17 年)-1)



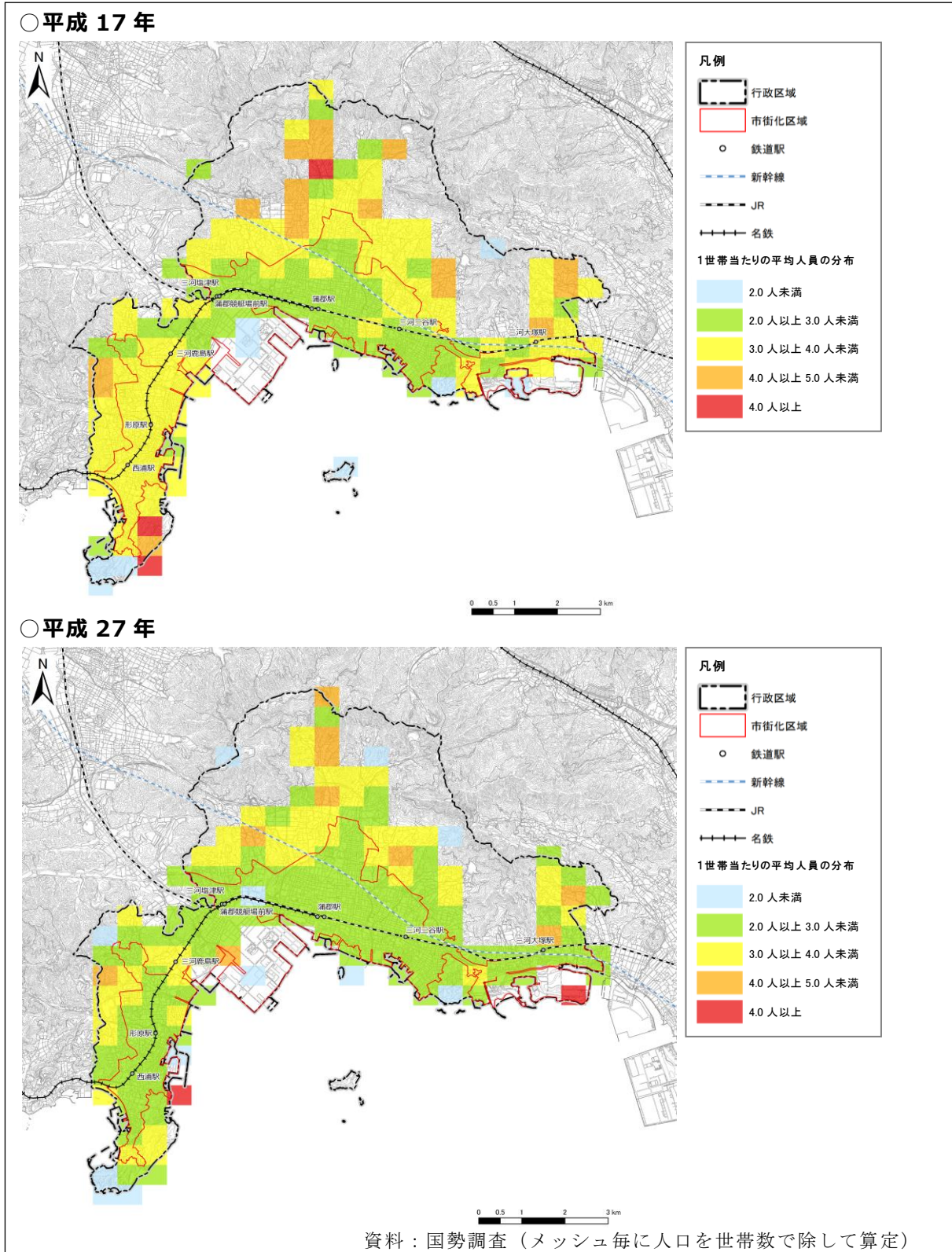
資料：国勢調査



## ② 1世帯当たりの平均人員の分布（500mメッシュ）

平成17年と平成27年の1世帯当たりの平均人員分布を見ると、市街化区域内で少ない傾向があります。増減を見ると、おおむね全市的に減少しています。

■ 1世帯当たりの平均人員の分布（500mメッシュ）



**凡例**

- 行政区域
- 市街化区域
- 鉄道駅
- 新幹線
- JR
- 名鉄

**1世帯当たりの平均人員の分布**

- 2.0人未満
- 2.0人以上 3.0人未満
- 3.0人以上 4.0人未満
- 4.0人以上 5.0人未満
- 4.0人以上

**凡例**

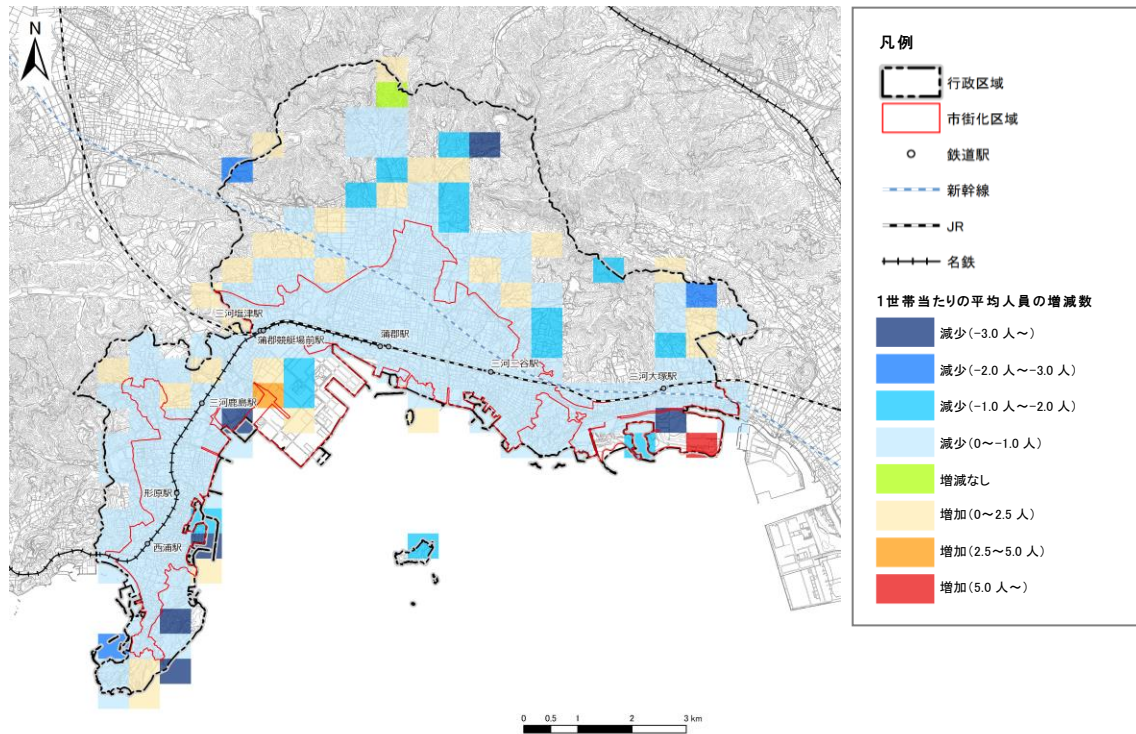
- 行政区域
- 市街化区域
- 鉄道駅
- 新幹線
- JR
- 名鉄

**1世帯当たりの平均人員の分布**

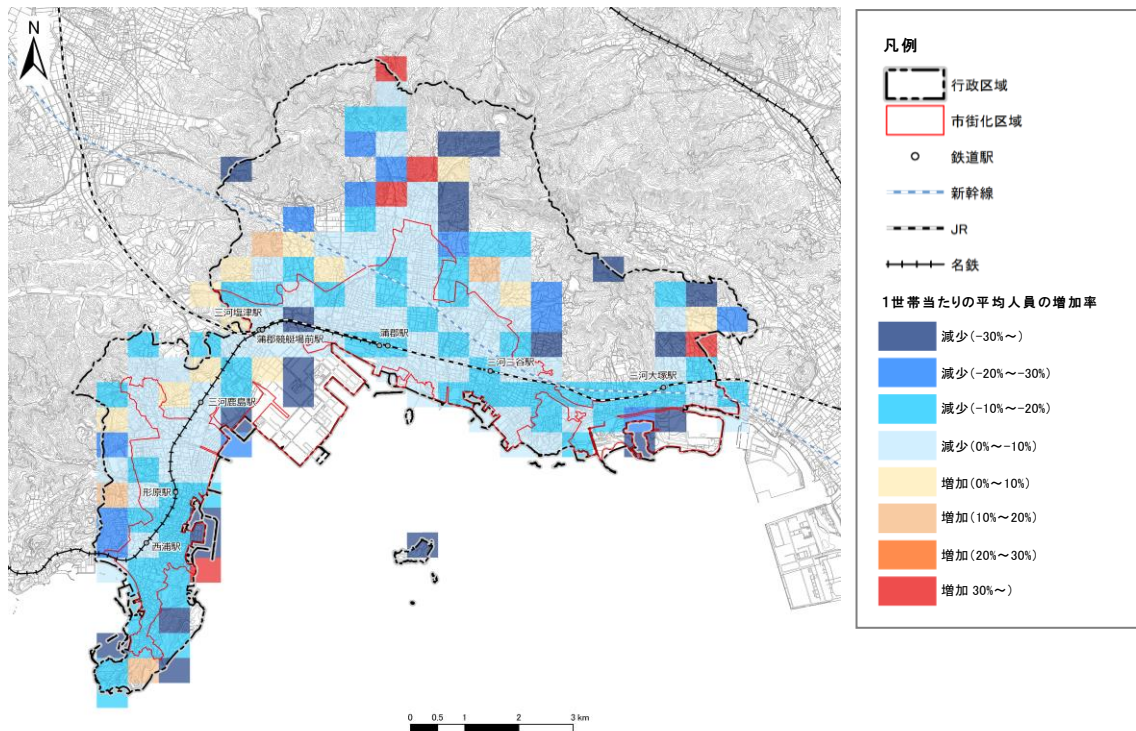
- 2.0人未満
- 2.0人以上 3.0人未満
- 3.0人以上 4.0人未満
- 4.0人以上 5.0人未満
- 4.0人以上

■ 1世帯当たりの平均人員の分布（500mメッシュ）

○ 増減数(平成27年-平成17年)



○ 増加率((平成27年÷平成17年)-1)



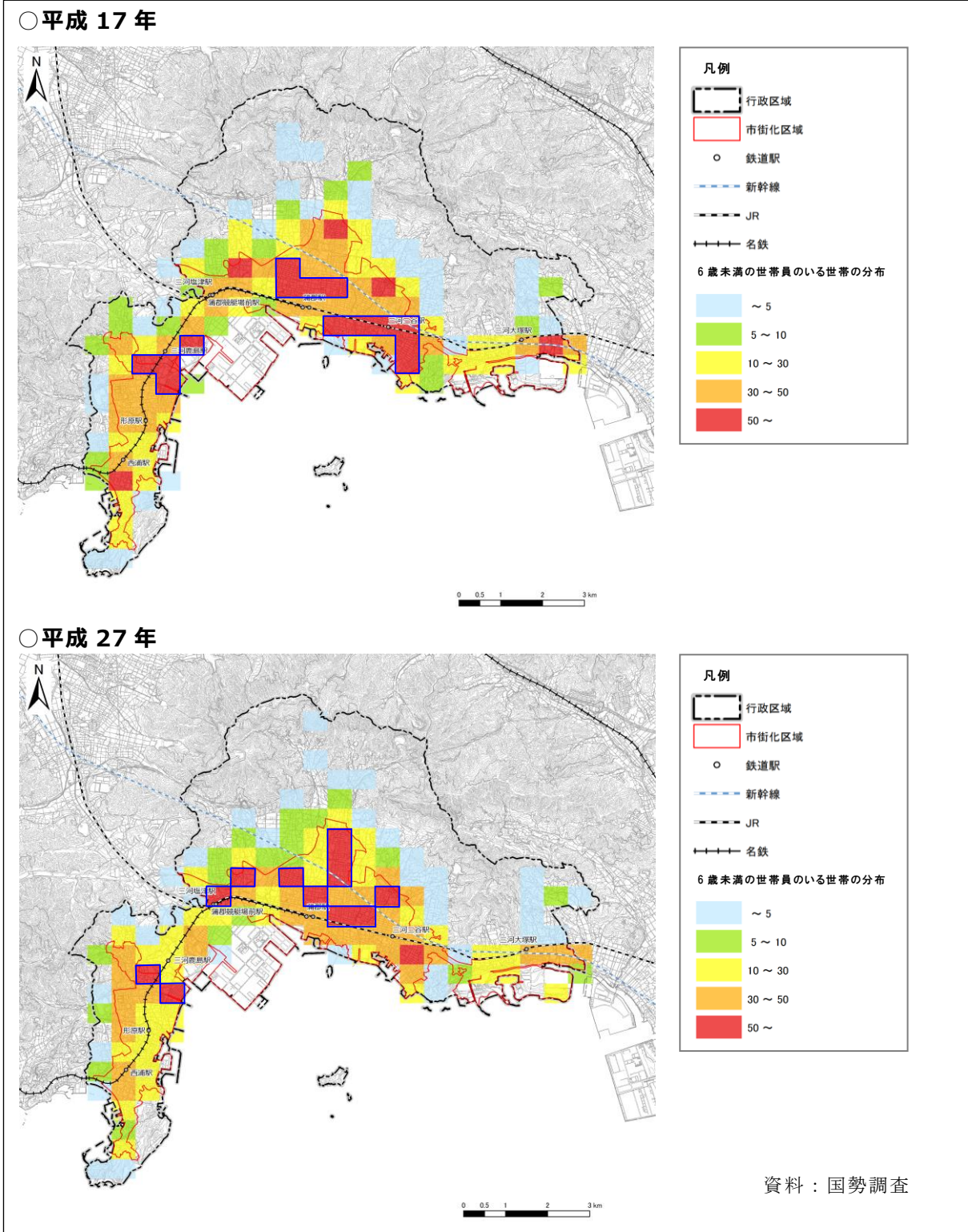
資料：国勢調査（メッシュ毎に人口を世帯数で除して算定）



### ③ 6歳未満の世帯員のいる世帯の分布（500mメッシュ）

平成17年と平成27年の6歳未満の世帯員のいる世帯の分布を見ると、三河塩津駅・蒲郡競艇前駅から三河三谷駅周辺や三河鹿島駅から形原駅周辺で多い傾向があります。

#### ■ 6歳未満の世帯員のいる世帯の分布（500mメッシュ）

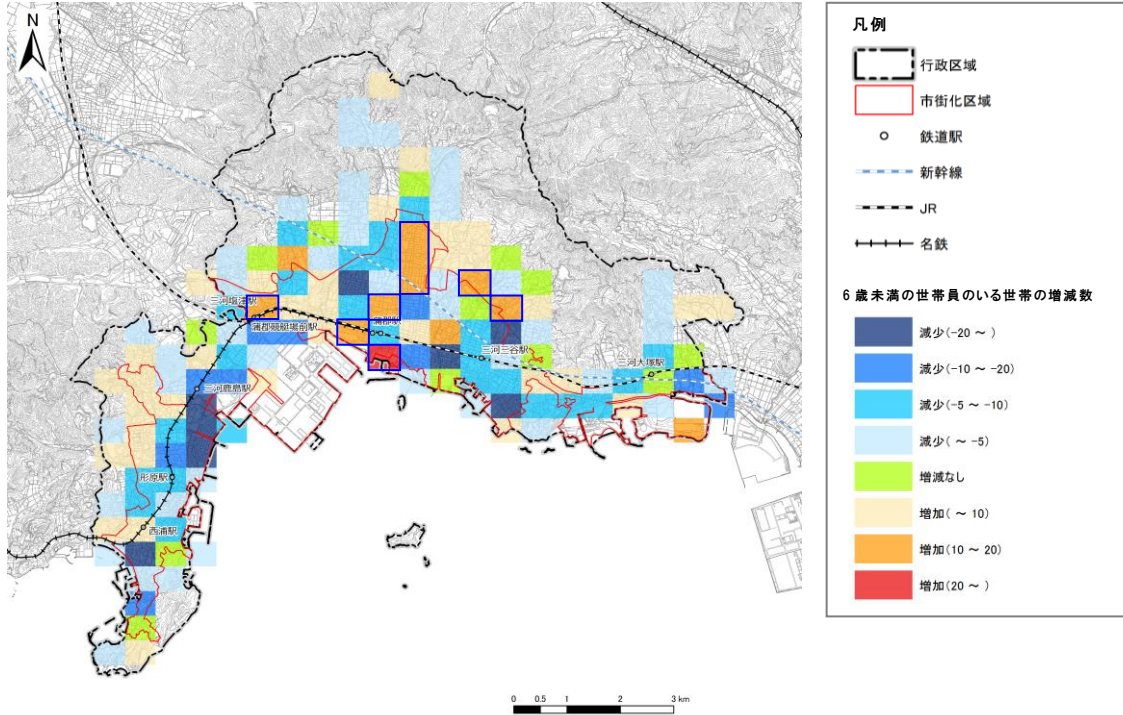




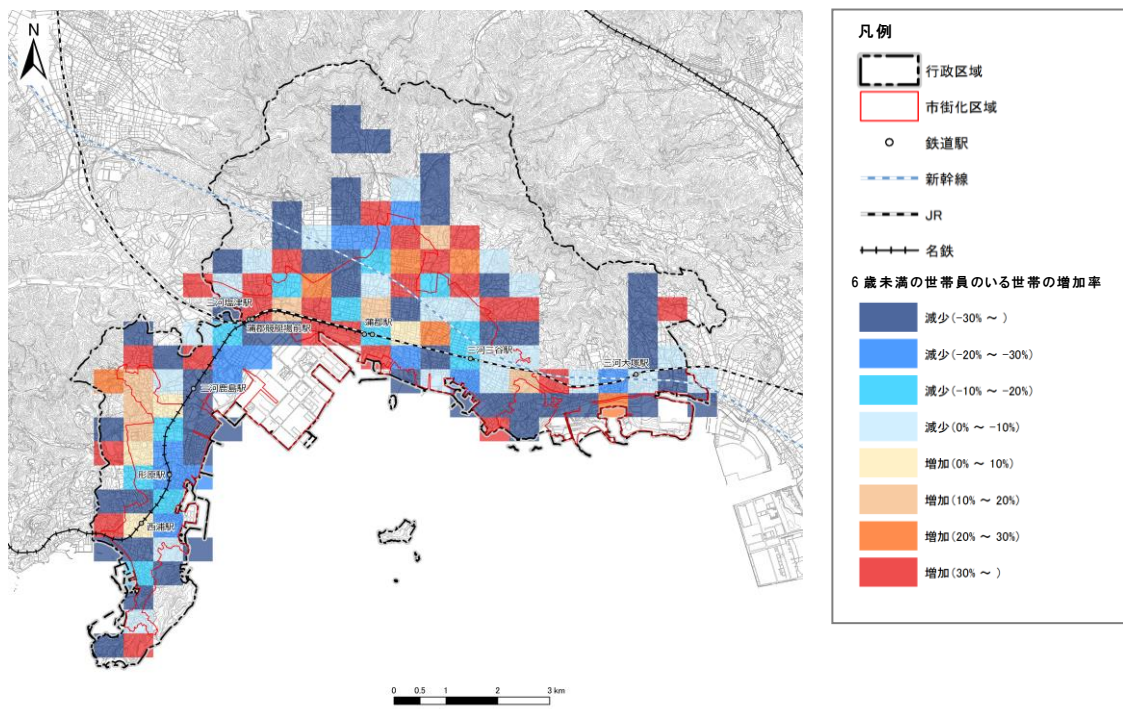
世帯数の増減を見ると、三河塩津駅・蒲郡競艇前駅や蒲郡駅周辺、施行中の蒲郡中部土地区画整理事業施行区域等で増加しています。

■ 6歳未満の世帯員のいる世帯の分布（500mメッシュ）

○ 増減数(平成27年-平成17年)



○ 増加率((平成27年÷平成17年)-1)



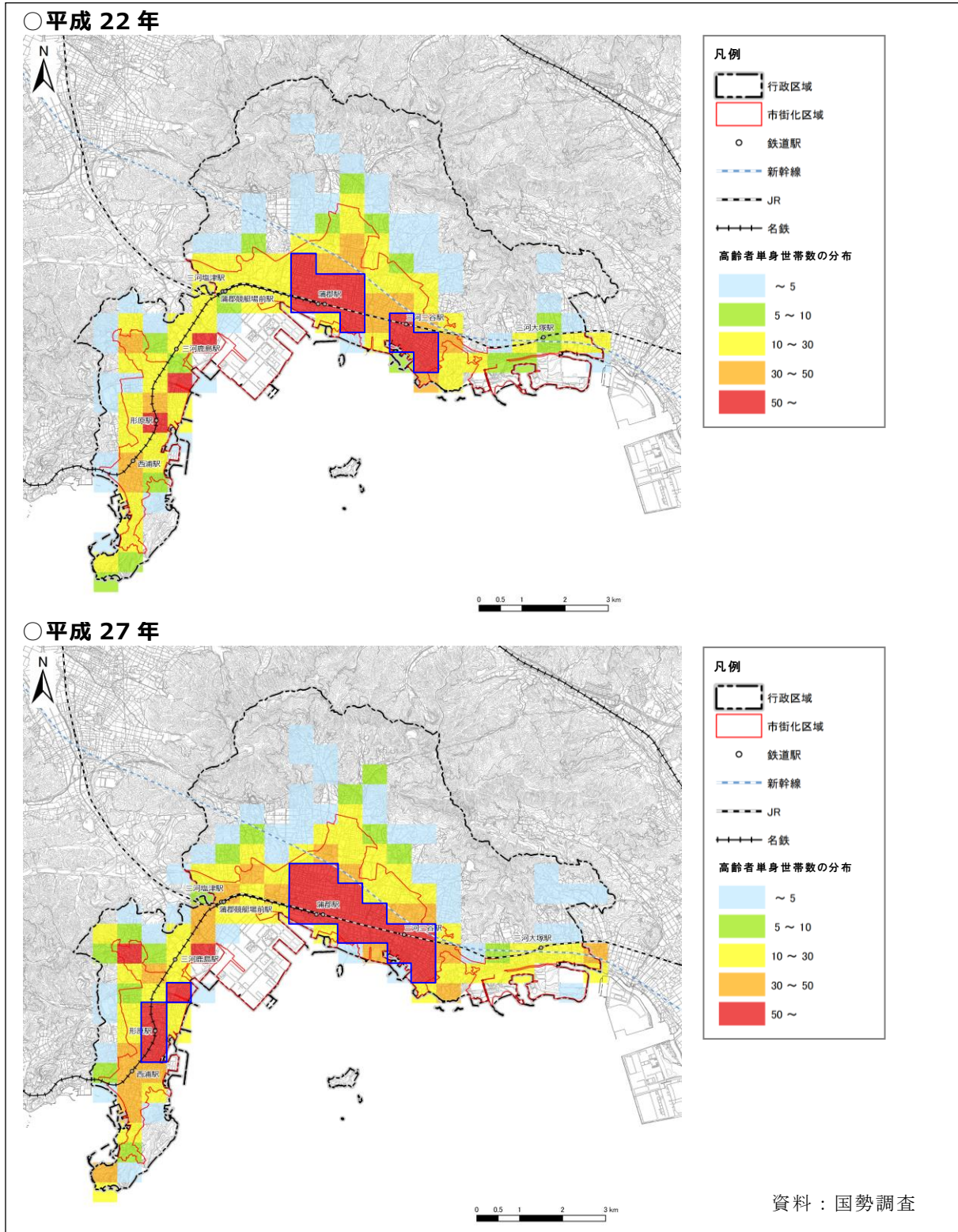
資料：国勢調査



#### ④ 高齢者単身世帯数の分布（500m メッシュ）

平成 22 年と平成 27 年の高齢者単身世帯数の分布を見ると、蒲郡駅から三河三谷駅周辺や形原駅周辺で多い傾向があります。

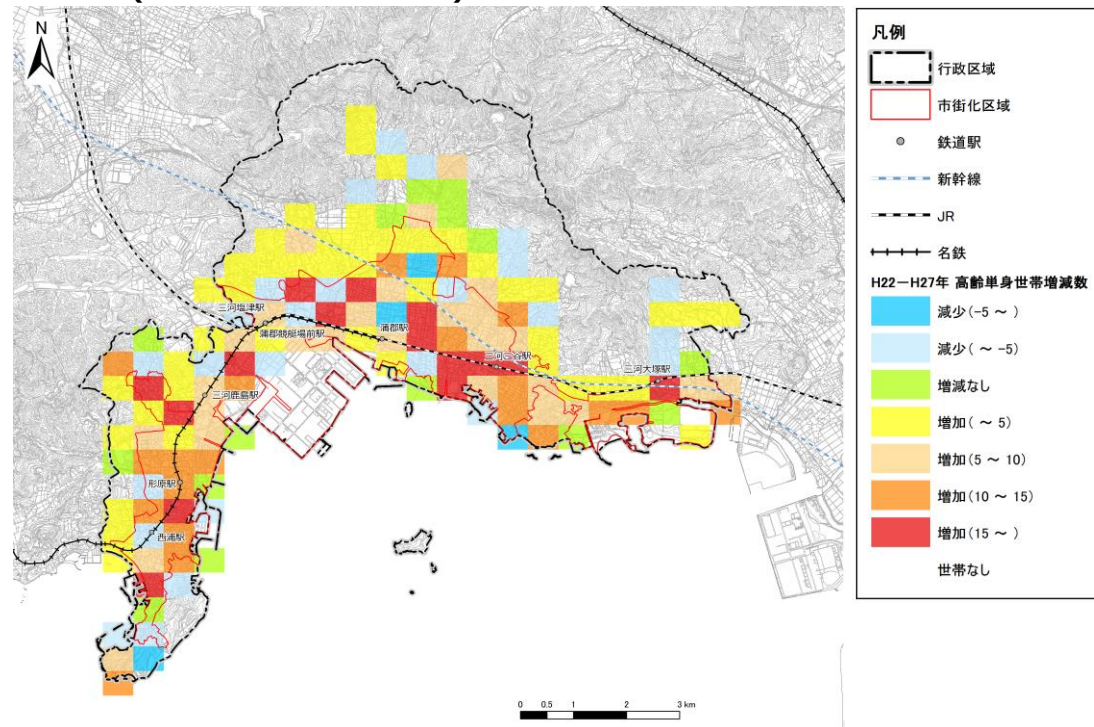
■ 高齢者単身世帯数の分布（500m メッシュ）



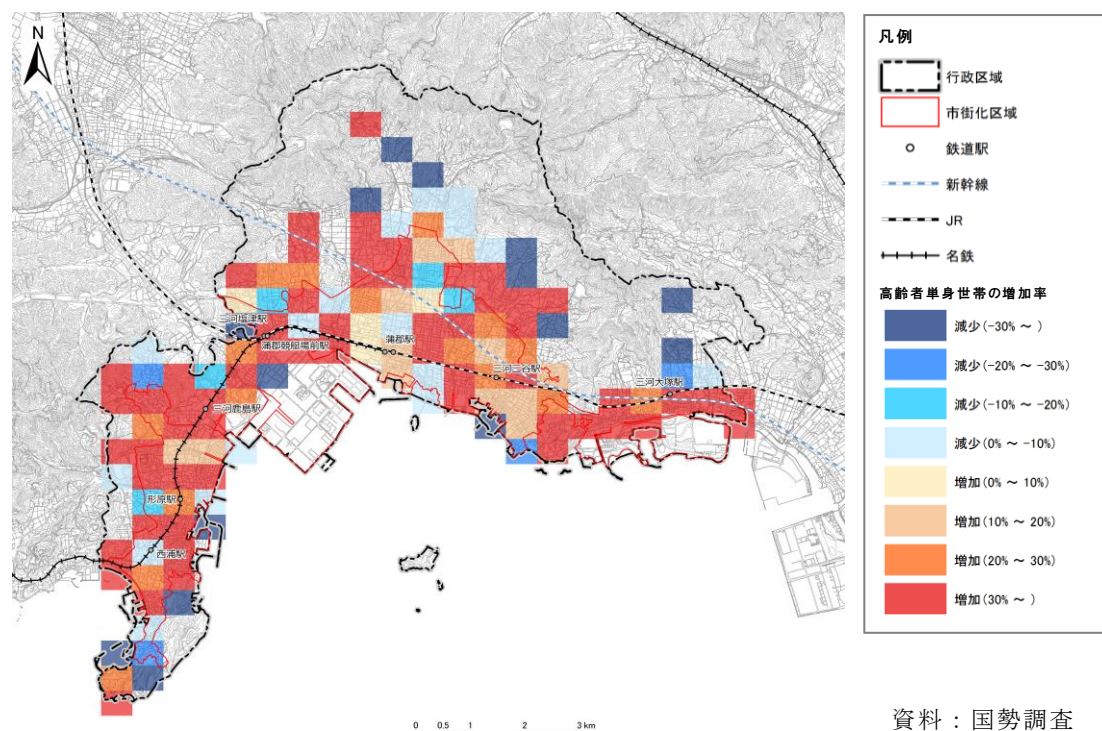
世帯数の増減を見ると、おおむね全市的に増加しています。

■ 高齢者単身世帯数の分布（500mメッシュ）

○ 増減数(平成 27 年-平成 22 年)



○ 増加率((平成 27 年÷平成 22 年)-1)



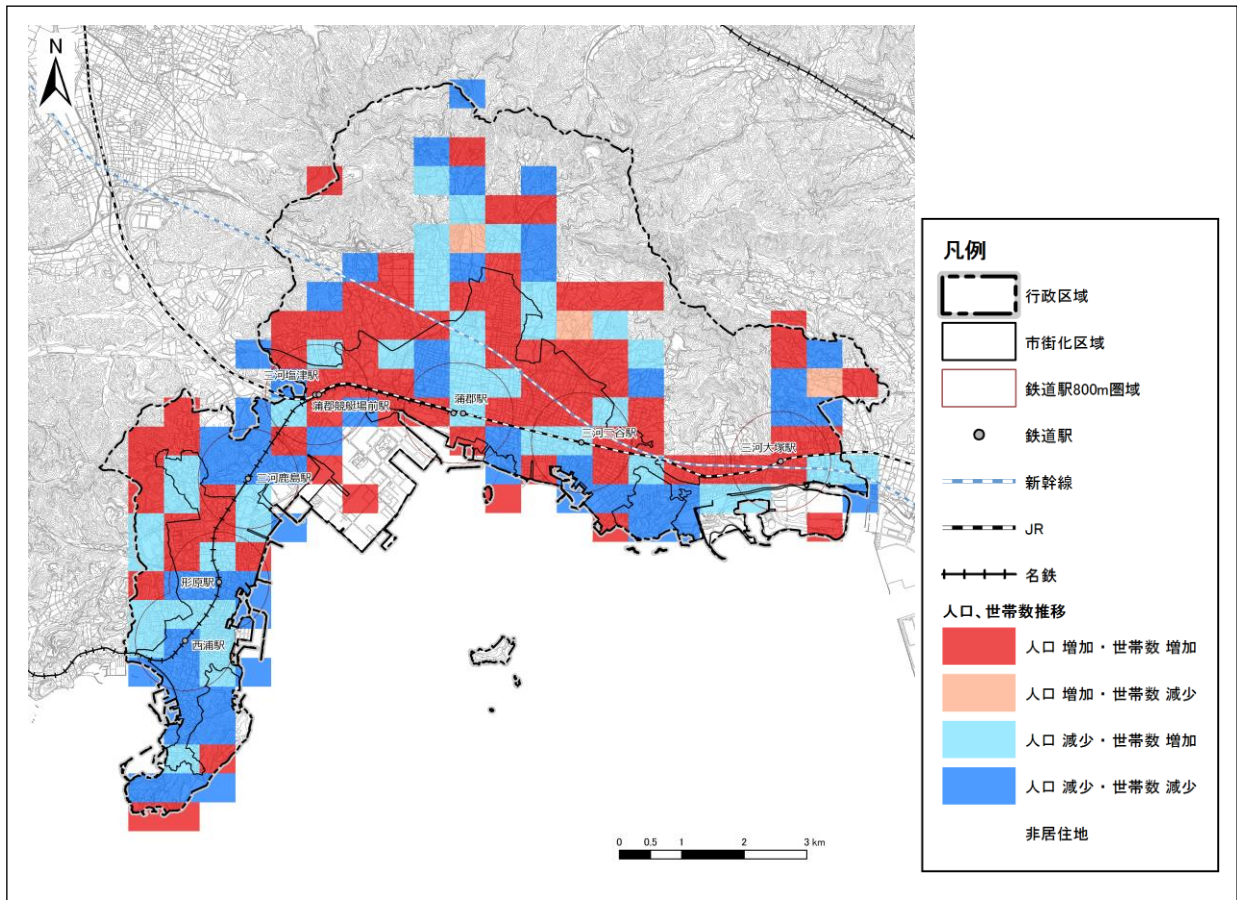
資料：国勢調査



### (6) 人口及び世帯数の動向

平成 17 年から平成 27 年までの人口及び世帯数の推移を見ると、三河塩津・蒲郡競艇場前駅周辺、蒲郡中部や双太山土地区画整理事業施行区域等において人口・世帯数ともに増加していますが、蒲郡駅や三河三谷駅周辺などでは、人口は減少、世帯数は増加しています。さらに、三河鹿島駅以南の駅周辺や市街化区域の一部等で人口・世帯数ともに減少している地域もあります。

■平成 17 年から平成 27 年までの人口及び世帯数の推移 (500m メッシュ)





## 2 都市機能施設の立地状況

### (1) 誘導施設の考え方

誘導施設の検討の基本となる都市機能施設を整理するにあたり、都市計画運用指針や立地適正化計画の策定の手引きに記載されている誘導施設を踏まえ、以下の都市機能施設の分布状況を把握します。

#### 【都市計画運用指針の誘導施設の例示】

誘導施設は、居住者の共同の福祉や利便の向上を図るという観点から、

- ・ 病院・診療所等の医療施設、老人デイサービスセンター等の社会福祉施設、小規模多機能型居宅介護事業所、地域包括支援センターその他の高齢化の中で必要性の高まる施設
- ・ 子育て世代にとって居住場所を決める際の重要な要素となる幼稚園や保育所等の子育て支援施設、小学校等の教育施設
- ・ 集客力があり、まちの賑わいを生み出す図書館、博物館等の文化施設や、スーパーマーケット等の商業施設
- ・ 行政サービスの窓口機能を有する市役所支所等の行政施設など

を定めることが考えられる。



### 【「立地適正化計画の策定の手引き」の誘導施設の例示】

中心拠点、地域拠点に必要な機能は、都市の規模、後背圏の人口規模、交通利便性や地域の特性等により様々であり、いかなる機能が必要であるかについては、それぞれの都市で検討が必要であるが、参考までに、地方中核都市クラスの都市において、拠点類型毎に想定される各種の機能についてイメージを提示する。

	中心拠点	地域/生活拠点
行政機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中核的な行政機能</li> <li>例. 本庁舎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日常生活を営む上で必要となる行政窓口機能等</li> <li>例. 支所、福祉事務所など各地域事務所</li> </ul>
介護福祉機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市町村全域の市民を対象とした高齢者福祉の指導・相談の窓口や活動の拠点となる機能</li> <li>例. 総合福祉センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高齢者の自立した生活を支え、又は日々の介護、見守り等のサービスを受けることができる機能</li> <li>例. 地域包括支援センター、在宅系介護施設、コミュニティ等</li> </ul>
子育て機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市町村全域の市民を対象とした児童福祉に関する指導・相談の窓口や活動の拠点となる機能</li> <li>例. 子育て総合支援センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもを持つ世代が日々の子育てに必要なサービスを受けることができる機能</li> <li>例. 保育所、こども園、児童クラブ、子育て支援センター、児童館等</li> </ul>
商業機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■時間消費型のショッピングニーズなど、様々なニーズに対応した買い物、食事を提供する機能</li> <li>例. 相当規模の商業集積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日々の生活に必要な生鮮品、日用品等の買い回りができる機能</li> <li>例. 食品スーパー</li> </ul>
医療機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■総合的な医療サービス(二次医療)を受けることができる機能</li> <li>例. 病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日常的な診療を受けることができる機能</li> <li>例. 診療所</li> </ul>
金融機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■決済や融資などの金融機能を提供する機能</li> <li>例. 銀行、信用金庫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日々の引き出し、預け入れなどができる機能</li> <li>例. 郵便局</li> </ul>
教育・文化機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市民全体を対象とした教育文化サービスの拠点となる機能</li> <li>例. 文化ホール、中央図書館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域における教育文化活動を支える拠点となる機能</li> <li>例. 図書館支所、社会教育センター</li> </ul>

## (2) 誘導施設の考え方

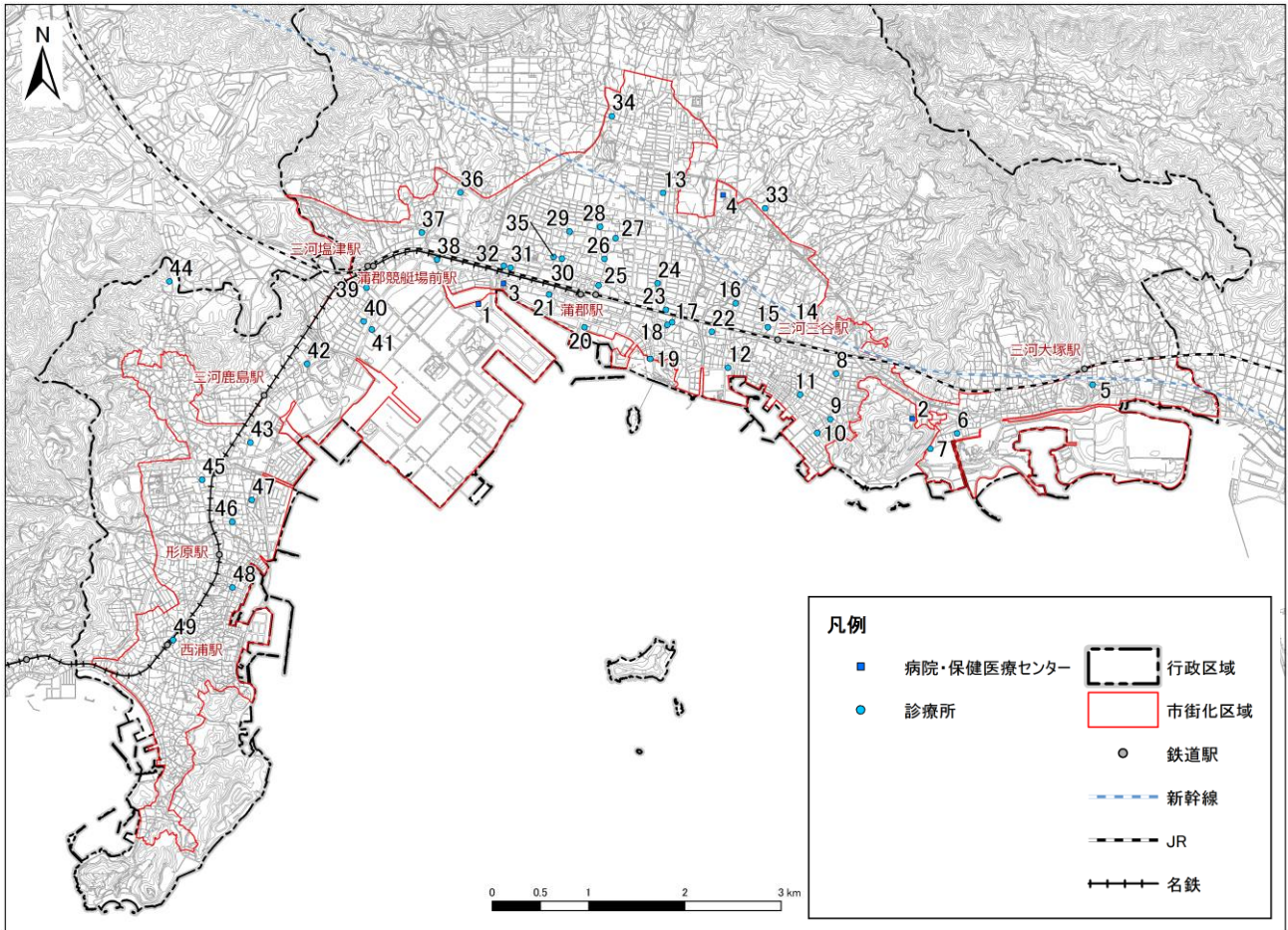
誘導施設の検討の基本となる都市機能施設を整理するにあたり、都市計画運用指針や立地適正化計画の策定の手引きに記載されている誘導施設を踏まえ、以下の都市機能施設の分布状況を把握します。

### ■ 都市機能施設区分の一覧

都市機能施設		基幹的 施設
医療施設	保健医療センター	<input type="checkbox"/>
	病院	<input type="checkbox"/>
	診療所	
高齢者等 福祉施設	地域包括支援センター	<input type="checkbox"/>
	高齢者福祉センター施設	<input type="checkbox"/>
	地域福祉拠点施設	<input type="checkbox"/>
	通所・訪問系高齢者介護施設	
	通所・訪問系障がい者福祉施設	
子育て 支援・ 教育施設	子育て支援センター	<input type="checkbox"/>
	保育園等（保育園、幼稚園、こども園、認可外保育施設）	
	小学校、中学校	
	児童館	
	通所・訪問系障がい児福祉施設	
教育文化 施設	図書館	<input type="checkbox"/>
	市民センター	<input type="checkbox"/>
	市民会館	<input type="checkbox"/>
	公民館	
	生涯学習施設等	
商業施設（大規模小売店舗）		<input type="checkbox"/>
銀行、郵便局等		
行政施設		<input type="checkbox"/>



■ 医療施設



資料：(病院・診療所) 市内医療機関一覧 (平成 29 年 5 月 15 日現在)  
 (保険医療センター) 蒲郡市ホームページ

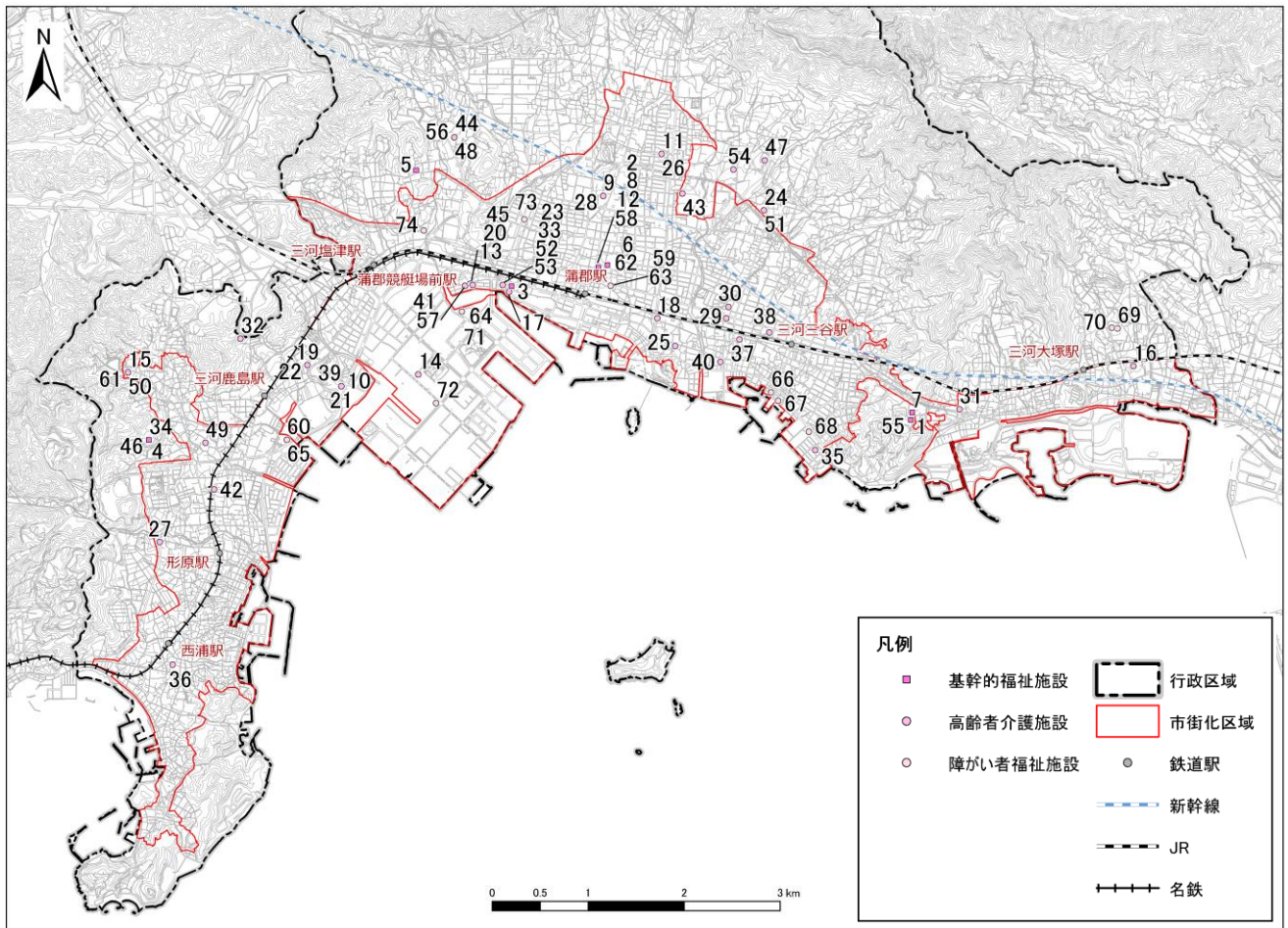




分類	No	名称	診療科目
保健医療センター	1	保健医療センター	休日急病診療所・休日歯科診療所・障がい者歯科診療所・人間ドック
病院	2	蒲郡東部病院	内・リハビリ・放射線・皮膚
	3	蒲郡厚生館病院	内・外・整形外科・胃腸・リハビリ・肛門・もの忘れ外来
	4	蒲郡市民病院	内・外・整形外科・小児・眼・耳鼻咽喉・皮膚・泌尿器・産婦人・脳神経外・歯科口腔・小児心理発達外来・麻酔・精神・放射線・リハビリ
診療所	5	すみれクリニック	内・泌尿器
	6	加藤医院	内・婦人・リハビリ
	7	海岸通り皮ふ科	皮膚
	8	やよい整形クリニック	整形外科・リウマチ・リハビリ
	9	桜井眼科医院	眼
	10	飯沼伊藤医院	内・外・消化器内・感染症内・老年内・リハビリ
	11	はしば耳鼻咽喉科・内科クリニック	内・小児・耳鼻咽喉
	12	西村耳鼻咽喉科医院	耳鼻咽喉・アレルギー
	13	すずりん皮膚科クリニック	皮膚・アレルギー
	14	小林内科クリニック	内
	15	福原医院	内・外・小児・胃腸
	16	藤田皮膚科	皮膚
	17	杉浦内科胃腸科	内・胃腸
	18	カワイ外科	内・外・皮膚・肛門外・乳腺内分泌外・リハビリ
	19	原整形外科	整形外科
	20	はたのクリニック	内・泌尿器・皮膚
	21	フジイ医院	内・循環器内
	22	蒲郡クリニック	内・腎臓内・糖尿病・内分泌内・循環器内・消化器内・人工透析内
	23	眼科やまもとクリニック	眼
	24	内科・消化器科たかしクリニック	内・消化器内
	25	蒲郡駅前クリニック	精神・神経・心療内
	26	オレンジベルクリニック	小児・産婦人
	27	省名医院	内・外・内・外・消化器・肛門
	28	岡本内科クリニック	内・消化器内
	29	マイファミリークリニック蒲郡	内・小児・感染症内・皮膚・産婦人(総合診療)
	30	小田醫院	小児・診療内・精神
	31	いのうえ整形外科	整形外科・リウマチ・リハビリ
	32	つげ耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉
	33	とよおかクリニック	内・小児・胃腸・皮膚・リハビリ
	34	いとう内科小児科	内・小児
	35	おだメンタルクリニック	心療内・精神
	36	八木内科・消化器科	内・消化器内
	37	耳鼻咽喉科すずきクリニック	耳鼻咽喉
	38	がまごおり中央クリニック	内・外・消化器・肛門外・リハビリ・麻酔
	39	かなだ眼科クリニック	眼
	40	ふじい整形外科	整形外科・リハビリ・リウマチ
	41	畑川クリニック	内・小児・肛門・胃腸
	42	こんどうクリニック	内・神経内・リハビリ
	43	さくら皮フ科	皮膚
	44	かなだ整形外科リウマチ科	整形外科・リウマチ・リハビリ
	45	あおば内科クリニック	内・小児・循環器内・アレルギー・リウマチ
	46	平野内科医院	内・小児・胃腸内・リハビリ
	47	石原内科	内
	48	トリイクリニック	内・消化器内・循環器内
	49	柳沢内科	内・循環器内・消化器内・リハビリ



■ 福祉施設



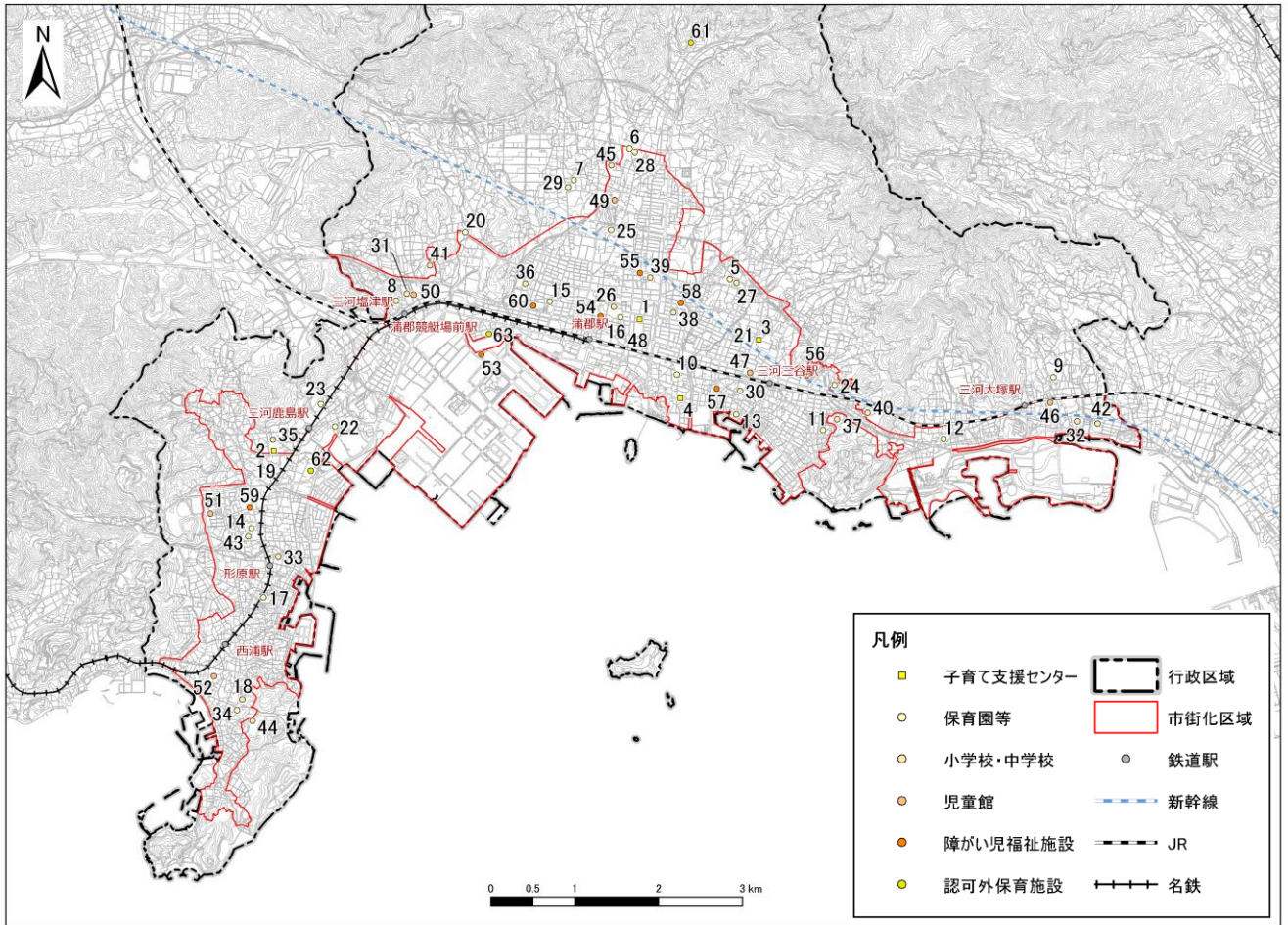
資料：蒲郡市ホームページ、蒲郡市公共施設白書、  
介護サービス情報公表システム、国土数値情報



分類	No.	名称	小分類
基幹的福祉施設	1	東部地域包括支援センター	地域包括支援センター
	2	中央地域包括支援センター	地域包括支援センター
	3	みらいあ地域包括支援センター	地域包括支援センター
	4	西部地域包括支援センター	地域包括支援センター
	5	塩津地域包括支援センター	地域包括支援センター
	6	生きがいセンター	高齢者福祉センター施設
	7	老人福祉センター寿楽荘	高齢者福祉センター施設
	8	勤労福祉会館	地域福祉拠点施設
高齢者介護施設	9	JA蒲郡市介護センター	訪問介護
	10	蒲郡眺海園ヘルパーステーション	訪問介護
	11	コープあいち福祉サービス蒲郡	訪問介護
	12	蒲郡市社会福祉協議会指定訪問介護事業所	訪問介護
	13	そよ風の里ヘルパーステーション	訪問介護
	14	訪問介護 きらら	訪問介護
	15	みかわ訪問介護ステーション	訪問介護
	16	友訪問介護サービス事業所	訪問介護
	17	訪問看護ステーション みらいあ	訪問看護
	18	訪問看護ステーションオレンジクラブ	訪問看護
	19	訪問看護ステーション 幸	訪問看護
	20	はあと訪問看護	訪問看護
	21	蒲郡眺海園訪問入浴事業所	訪問入浴
	22	こんどうクリニック	訪問リハビリ
	23	蒲郡厚生館病院	訪問リハビリ
	24	とよおかクリニック	訪問リハビリ
	25	デイサービスセンター 竹島園	デイサービス
	26	コープあいちデイサービス蒲郡	デイサービス
	27	たいよう形原	デイサービス
	28	JAデイサービスセンター蒲郡	デイサービス
	29	アットホーム三谷指定通所介護事業所	デイサービス
	30	デイサービス ひかりの森	デイサービス
	31	蒲郡市大塚デイサービスセンター	デイサービス
	32	アットホーム指定通所介護事業所	デイサービス
	33	デイサービスセンターみらいあ	デイサービス
	34	形原眺海園デイサービスセンター	デイサービス
	35	さかえの郷 デイサービスセンター若宮	デイサービス
	36	形原眺海園 デイサービスセンター たんぼぼ	デイサービス
	37	あさひ	デイサービス
	38	蒲郡市三谷デイサービスセンター	デイサービス
	39	蒲郡眺海園デイサービスセンター	デイサービス
	40	デイサービスビーフィット蒲郡	デイサービス
	41	そよ風の里デイサービス	デイサービス
	42	JAデイサービスセンター形原	デイサービス
43	アットホーム平田通所介護事業所	デイサービス	
44	なごみの郷ライフフィットネスクラブ	デイサービス	
45	はあとデイサービス	デイサービス	
46	形原眺海園デイサービスセンターあじさい	認知症対応デイサービス	
47	五井眺海園デイサービスセンター	認知症対応デイサービス	
48	デイサービスセンターなごみの郷	地域密着デイ	
49	いちよう(デイサービス)	地域密着デイ	
50	葵デイサービス	地域密着デイ	
51	とよおか通所リハビリテーション	デイケア	
52	いきいきリハビリセンター(厚生館病院)	デイケア	
53	蒲郡厚生館病院	訪問リハビリ	
54	介護老人保健施設 五井の里(通所リハ)	通所リハビリ	
55	デイケアセンター 東部	通所リハビリ	
56	小規模多機能型居宅介護 なごみの郷	小規模多機能型居宅介護	
57	すみれ	小規模多機能型居宅介護	
障がい者福祉施設	58	蒲郡市社会福祉協議会	社会福祉協議会
	59	就労支援 きずな 蒲郡館	障がい者福祉施設
	60	愛知太陽の家 蒲郡福祉工場	障がい者福祉施設
	61	ふれあいファーム(就労継続支援)	障がい者福祉施設
	62	オレンジホーム	障がい者福祉施設
	63	オレンジプラス	障がい者福祉施設
	64	あじさい	障がい者福祉施設
	65	愛知太陽の家 蒲郡ワークショップ	障がい者福祉施設
	66	日中支援センター 八兵衛	障がい者福祉施設
	67	日中支援センター 十兵衛	障がい者福祉施設
	68	日中支援センター 禄兵衛	障がい者福祉施設
	69	わくわくワーク大塚	障がい者福祉施設
	70	つつじ寮	障がい者福祉施設
	71	地域活動支援センター「しおさい」	障がい者福祉施設
	72	ビュアオフィス矢車草 蒲郡	障がい福祉サービス事業所
	73	Chariot[シャリオ]	障がい福祉サービス事業所
	74	Re.born future center蒲郡	障がい福祉サービス事業所



■子育て支援施設・教育施設



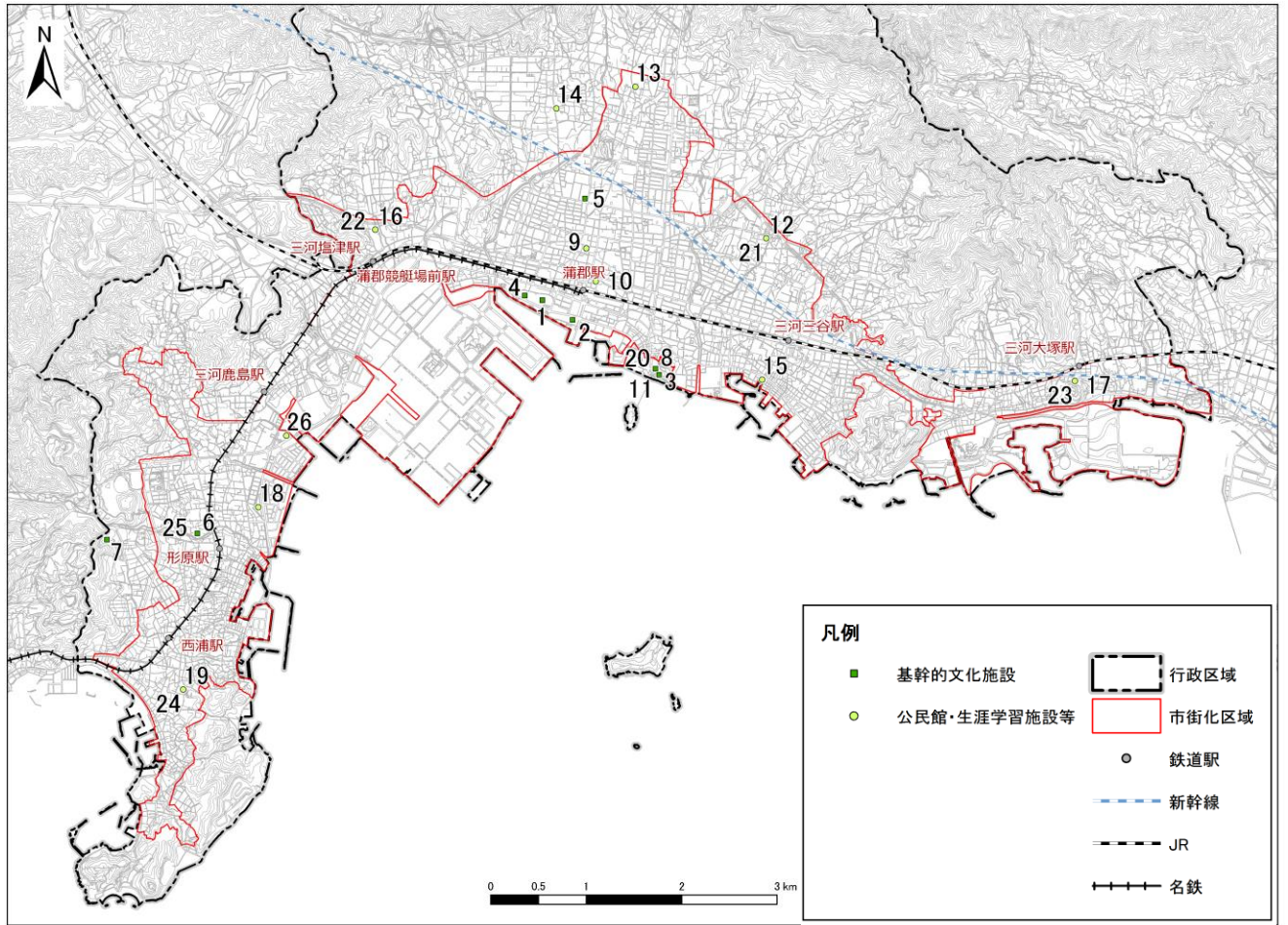
資料：蒲郡市ホームページ、蒲郡市公共施設白書、  
国土数値情報、愛知県ホームページ、iタウンページ



分類	No.	名称	
子育て支援センター	1	中央子育て支援センター(さんぽ道)	
	2	西部子育て支援センター(すくすく)	
	3	東部子育て支援センター(びよびよ)	
	4	しらゆり会館(母子福祉センター)	
保育園等	5	東部保育園	
	6	北部保育園	
	7	西部保育園	
	8	塩津保育園	
	9	大塚保育園	
	10	府相保育園	
	11	三谷東保育園	
	12	大塚西保育園	
	13	三谷西保育園	
	14	形原保育園	
	15	中部保育園	
	16	南部保育園	
	17	形原南保育園	
	18	西浦保育園	
	19	形原北保育園	
	20	塩津北保育園	
	21	宝光福祉会みどり保育園	
	22	明睦学園鹿島こども園	
	23	蒲郡あけぼの幼稚園	
	24	蒲郡あさひこ幼稚園	
	25	木船幼稚園	
	小学校・中学校	26	蒲郡南部小学校
		27	蒲郡東部小学校
		28	蒲郡北部小学校
		29	蒲郡西部小学校
30		三谷小学校	
31		塩津小学校	
32		大塚小学校	
33		形原小学校	
34		西浦小学校	
35		形原北小学校	
36		中央小学校	
37		三谷東小学校	
38		竹島小学校	
39		蒲郡中学校	
40		三谷中学校	
41		塩津中学校	
42		大塚中学校	
43		形原中学校	
44		西浦中学校	
45		中部中学校	
児童館	46	おおつか児童館	
	47	みや児童館	
	48	がまごおり児童館	
	49	ちゅうぶ児童館	
	50	しおつ児童館	
	51	かたはら児童館	
	52	にしうら児童館	
	障がい児福祉施設	53	がまごおり・ふれあいの場
54		がまごおり・こどもサービス	
55		こどもサービス・ぼると	
56		ハービー&マックローリン・陽だまり介護センター	
57		キッズサポートセンター千兵衛(楽笑)	
58		とらいはあと	
59		ほっふ蒲郡	
60		チャイルドハート東海あさひ	
認可外保育施設	61	蒲郡バプテスト教会 光の園	
	62	おひさまキッズ	
	63	シルバーヴィレッジそよ風の里 ふれあい保育所	



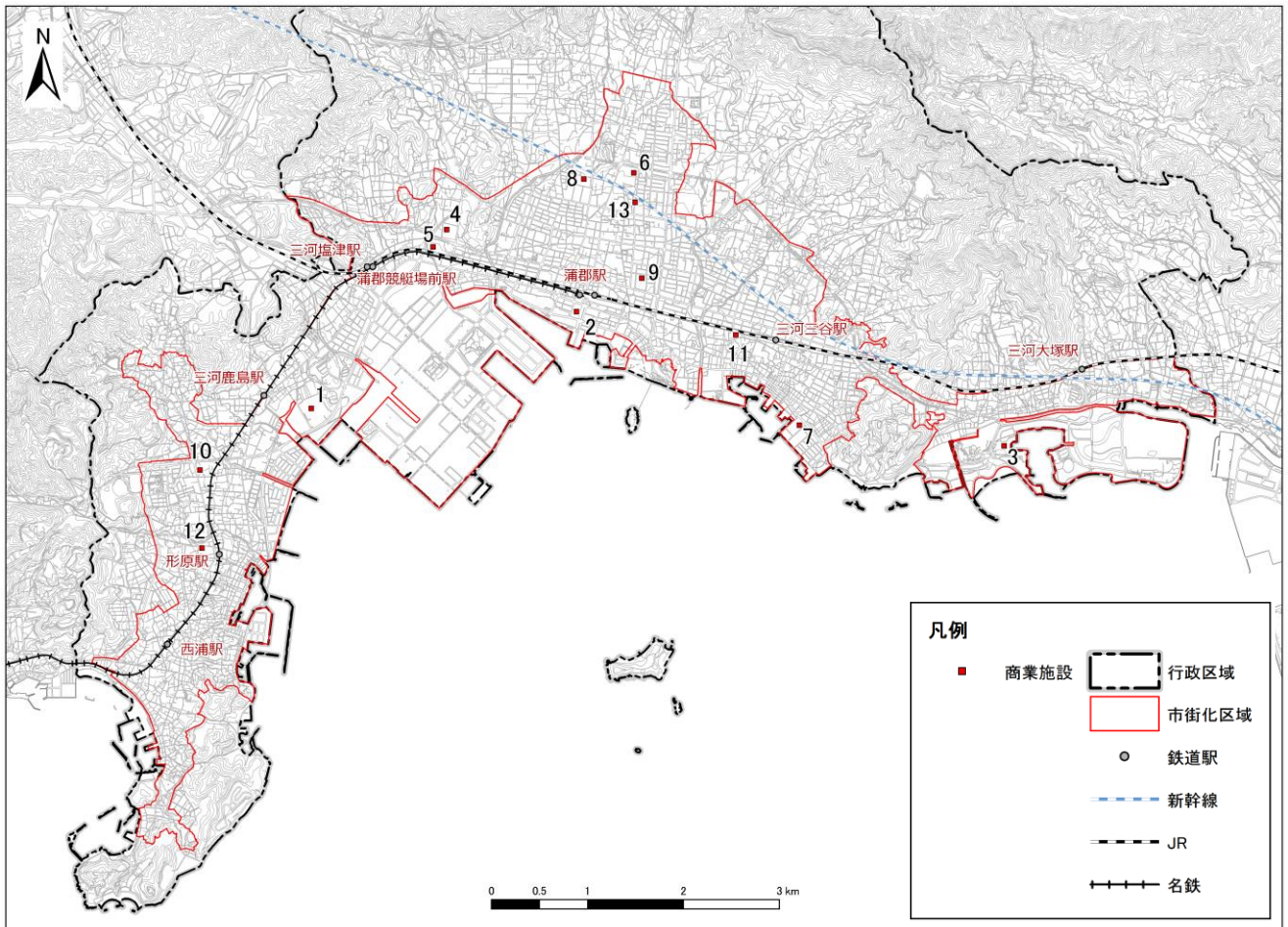
■教育・文化施設



分類	No.	名称
基幹的文化施設	1	市民会館
	2	生命の海科学館
	3	海辺の文学記念館
	4	博物館
	5	図書館
	6	蒲郡文化広場
	7	ユトリーナ蒲郡
	8	南部市民センター
公民館・生涯学習施設等	9	蒲郡公民館
	10	小江公民館
	11	府相公民館
	12	東部公民館
	13	北部公民館
	14	西部公民館
	15	三谷公民館
	16	塩津公民館
	17	大塚公民館
	18	形原公民館
	19	西浦公民館
	20	南部市民センター
	21	東部公民館
	22	塩津公民館
	23	大塚公民館
	24	西浦公民館
	25	蒲郡文化広場
	26	太陽の家分室

資料：蒲郡市ホームページ、蒲郡市公共施設白書

## ■ 商業施設

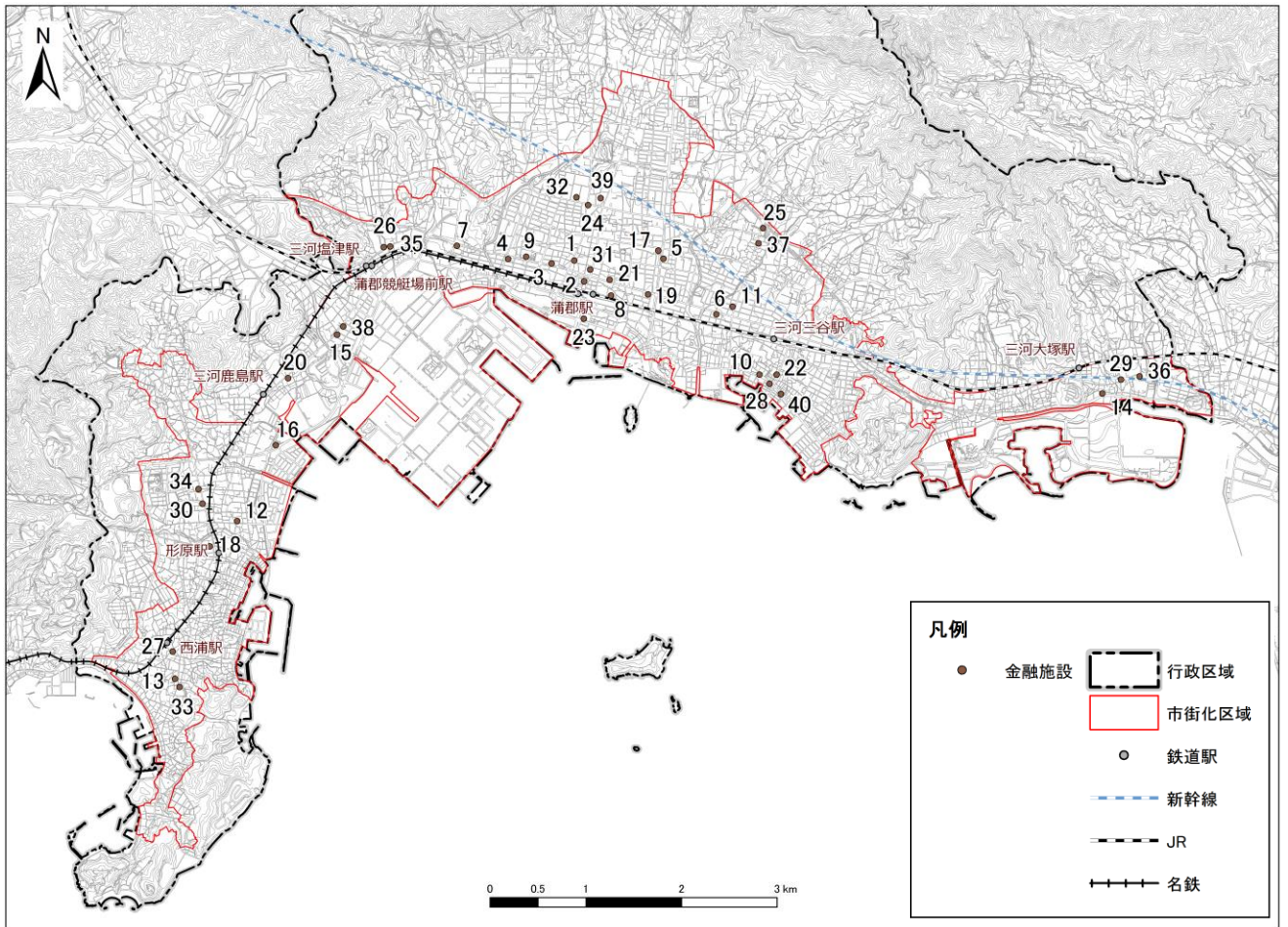


No.	名称	店舗面積 (㎡)
1	カインズモール蒲郡	14,374
2	アビタ蒲郡店	14,278
3	ラグーナフェスティバルマーケット	9,358
4	イオン蒲郡ショッピングセンター	8,805
5	DCMカーマ新蒲郡店	4,300
6	フィール蒲郡店	3,915
7	ドミー三谷店	3,289
8	パロー蒲郡店	2,966
9	サンヨネ蒲郡店	2,796
10	ヤマナカ形原店	1,478
11	マルイチ三谷店	—
12	Aコープかたはら店	—
13	業務スーパー蒲郡店	—

資料：蒲郡市資料（大規模小売店舗の概要）、スーパーマーケット総覧 2015、iタウンページ



■ 銀行、郵便局等



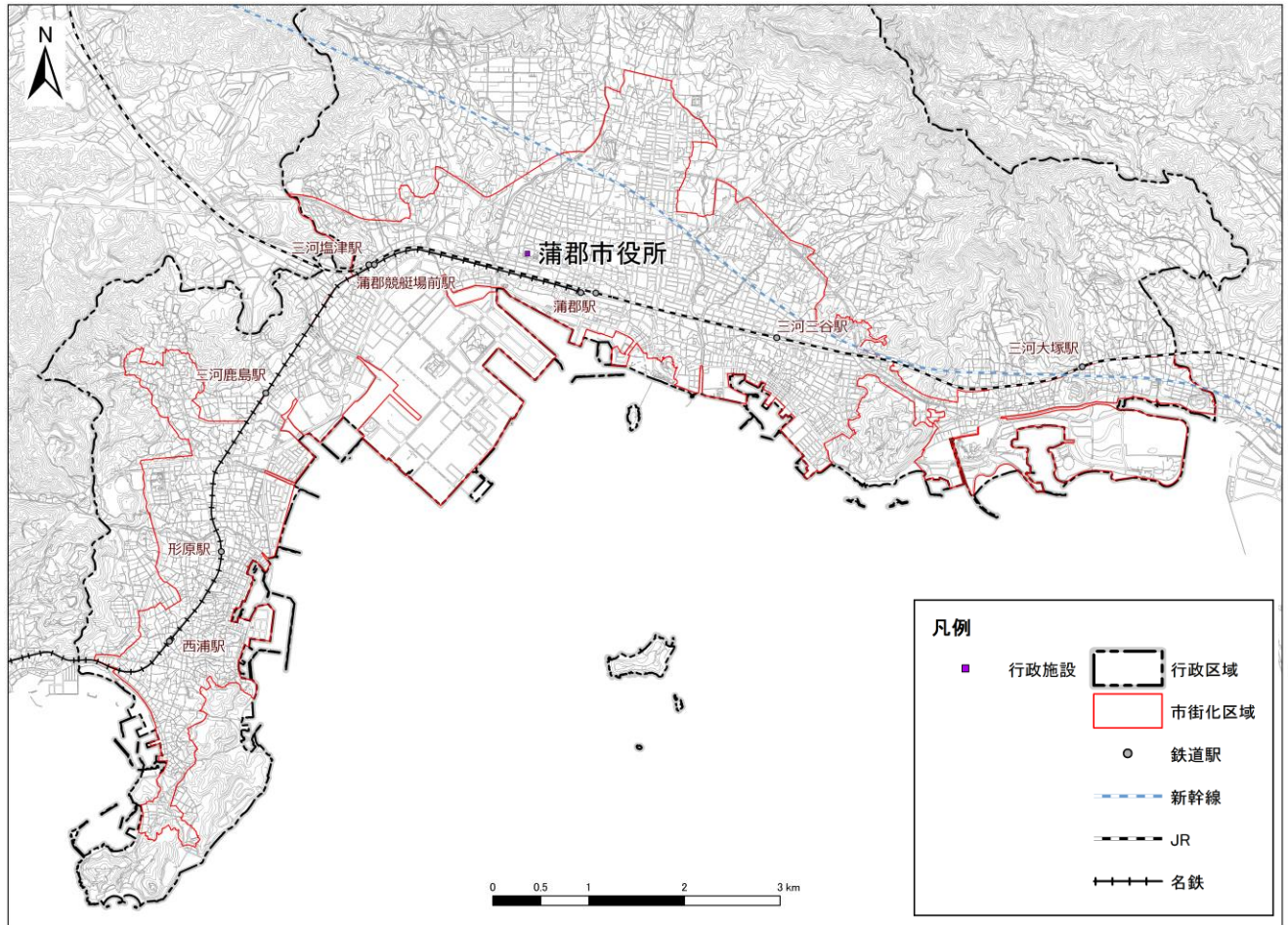
分類	No.	名称	分類	No.	名称
銀行	1	三菱東京UFJ銀行蒲郡支店	郵便局	23	蒲郡郵便局
	2	愛知銀行蒲郡支店		24	蒲郡本町郵便局
	3	名古屋銀行蒲郡支店		25	蒲郡豊岡郵便局
信用金庫	4	岡崎信用金庫蒲郡支店		26	塩津郵便局
	5	岡崎信用金庫府相支店		27	三河西浦郵便局
	6	豊川信用金庫蒲郡支店		28	三谷郵便局
	7	豊川信用金庫蒲郡西支店		29	蒲郡大塚郵便局
	8	蒲郡信用金庫本店営業部		30	形原郵便局
	9	蒲郡信用金庫蒲郡市役所出張所		31	蒲郡駅前郵便局
	10	蒲郡信用金庫三谷支店		JA	32
	11	蒲郡信用金庫三谷北通支店	33		JA蒲郡市西浦支店
	12	蒲郡信用金庫形原支店	34		JA蒲郡市形原支店
	13	蒲郡信用金庫西浦支店	35		JA蒲郡市塩津支店
	14	蒲郡信用金庫大塚支店	36		JA蒲郡市大塚支店
	15	蒲郡信用金庫鶴ヶ浜支店	37		JA蒲郡市東部支店
	16	蒲郡信用金庫太陽の家支店	38		JA蒲郡市拾石支店
	17	蒲郡信用金庫八百富支店	39		JA蒲郡市中部支店
	18	西尾信用金庫形原支店	40		JA蒲郡市三谷支店
	19	西尾信用金庫蒲郡支店			
	信用組合	20	愛知県中央信用組合／鹿島支店		
21		愛知県中央信用組合／蒲郡支店			
22		愛知県中央信用組合／三谷支店			

資料：日本郵政グループホームページ、JA 蒲郡ホームページ、iタウンページ





### ■ 行政施設



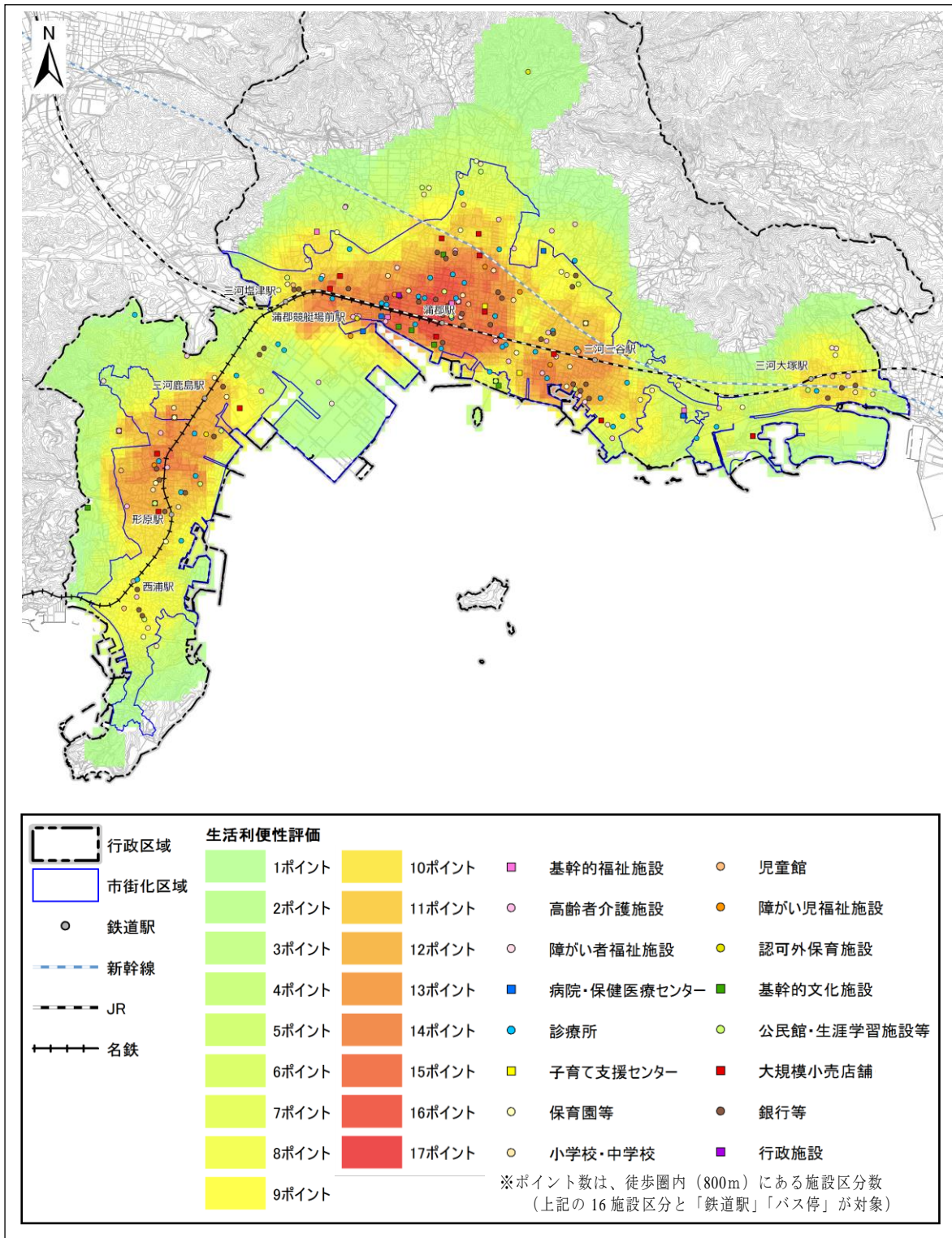
資料：蒲郡市ホームページ



### (3) 都市機能施設の集積状況

都市機能施設の集積状況を徒歩圏内（800m）にある施設区分数から把握します。都市機能施設は、蒲郡駅や三河三谷駅、形原駅等の鉄道駅周辺に集積し、利便性が高く比較的コンパクトな拠点が形成されています。

■ 都市機能施設の集積状況

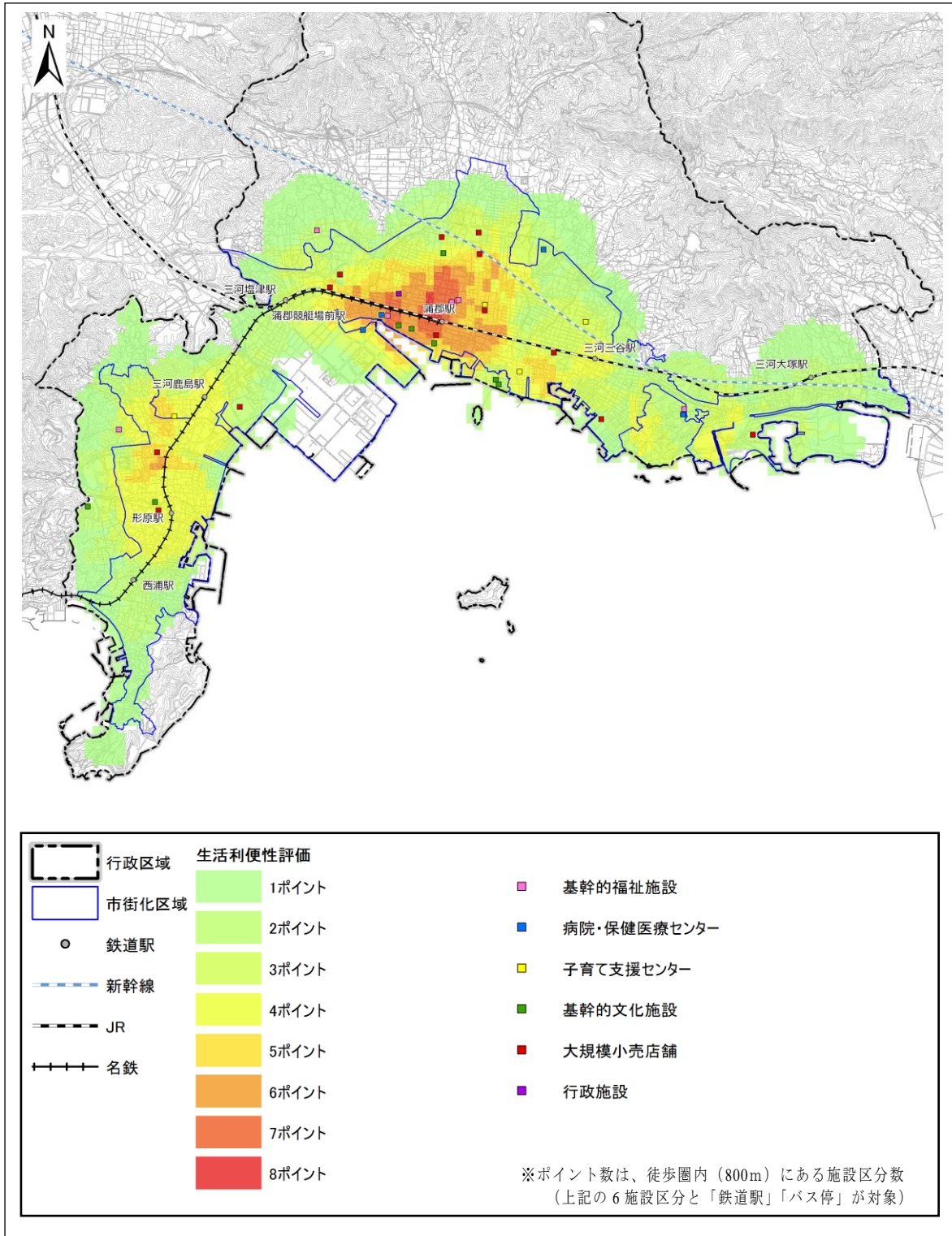




### (4) 基幹的な都市機能施設の集積状況

基幹的な都市機能施設は、蒲郡駅周辺に集積しています。市内各所からの蒲郡駅周辺への移動の足の確保が求められます。

■ 基幹的な都市機能施設の集積状況

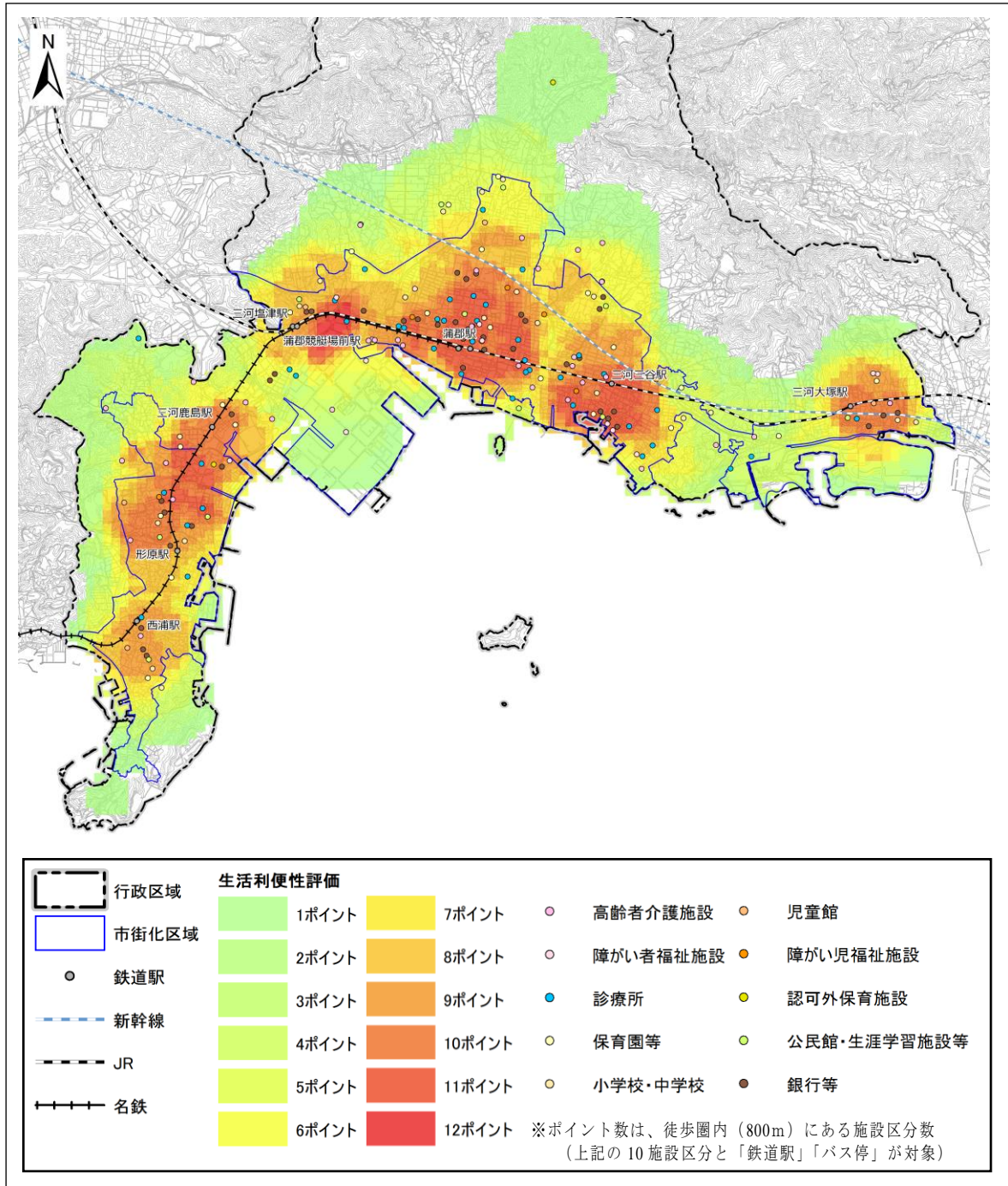




### (5) 身近な都市機能施設の集積状況

都市機能施設は、蒲郡駅周辺や三河三谷駅周辺に集積しています。その他駅周辺においても集積しています。おおむね駅周辺は多くの施設が立地しており、日常生活の利便性は確保されていると考えられます。

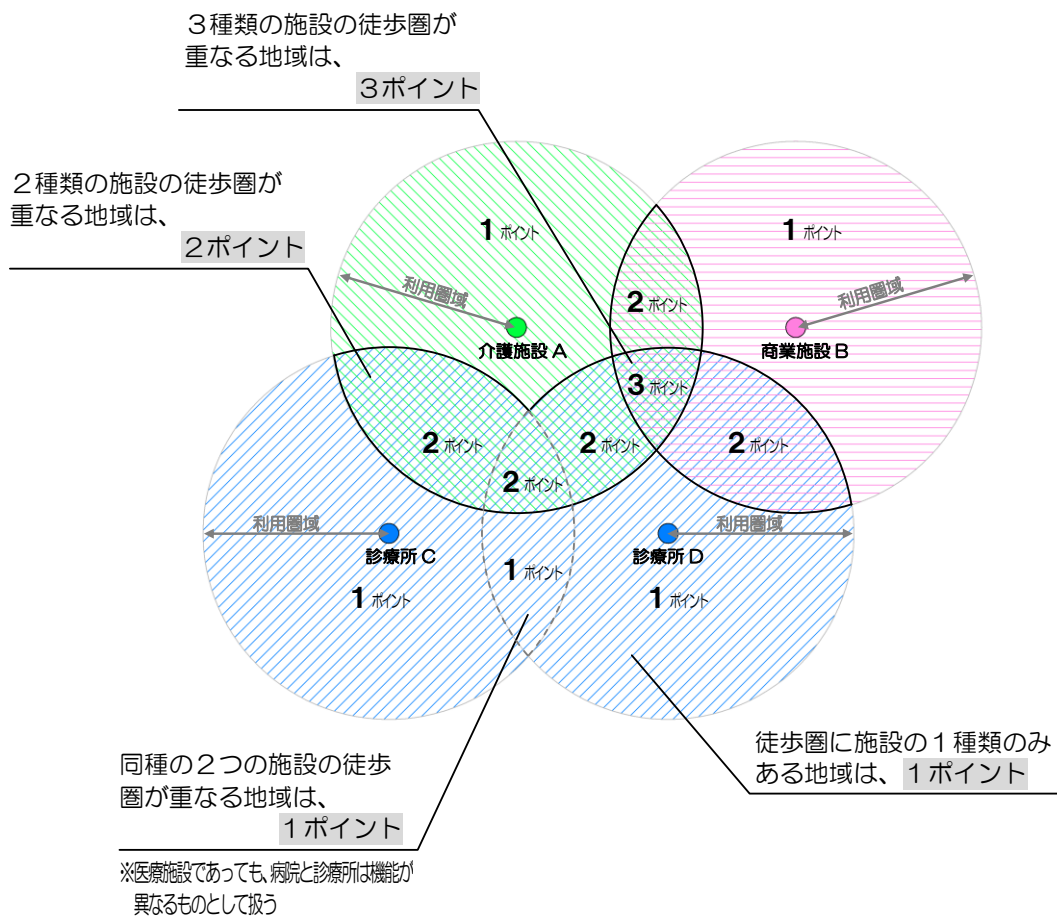
■ 身近な都市機能施設の集積状況





### (生活利便性評価におけるポイント数の計上方法)

- ・ 様々な分野の都市機能が立地する地域を生活利便性が高い地域と考える。
- ・ 徒歩圏にある「施設（建物）」の数ではなく、徒歩圏にある「施設の種類（都市機能）」の数により評価する。  
※ 診療所が 2 つある地域は、2 つの施設があっても施設の種類（機能）は同じとし、ポイントは 1 とする。

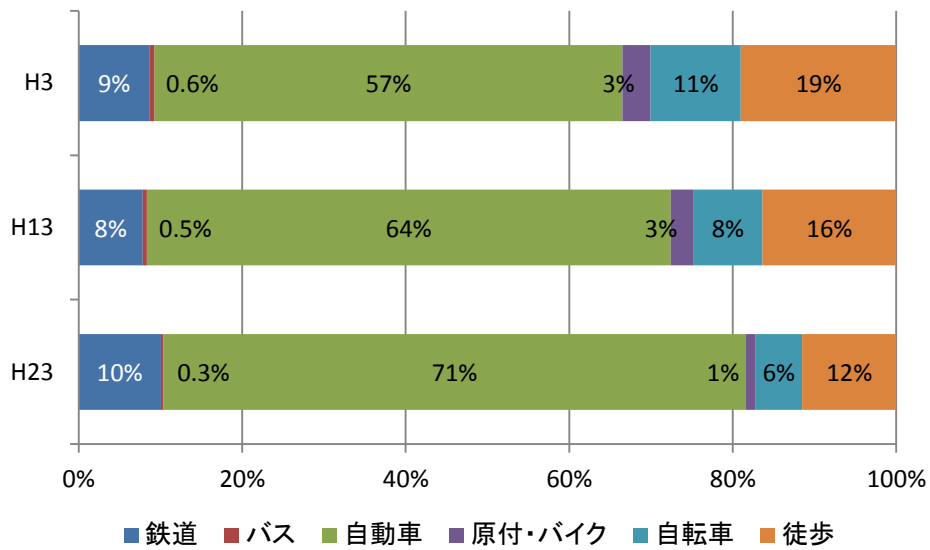


### 3 都市交通

#### (1) 代表交通手段別分担率

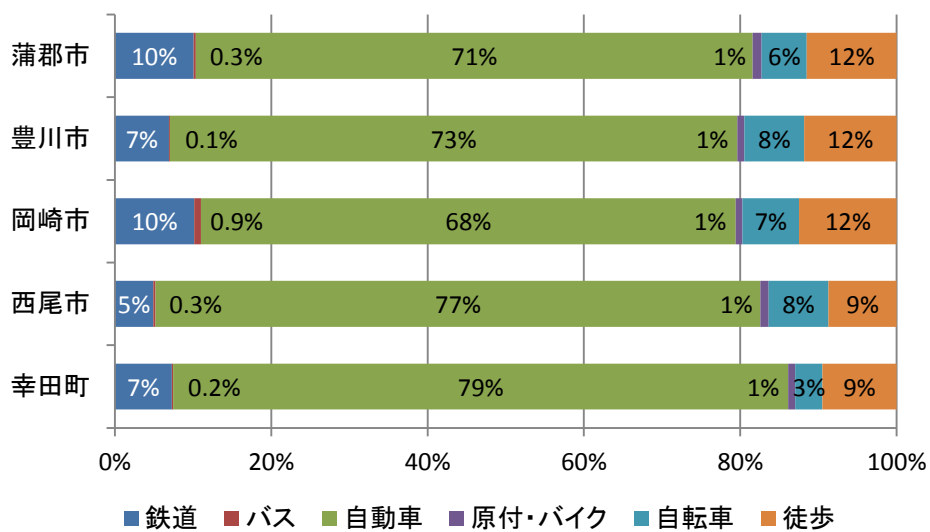
代表交通手段別分担率の推移を見ると、公共交通に比べて自動車が過去から多いことがわかります。また、自転車や徒歩の分担率が減少し、自動車の分担率が増加しています。近隣市と比較すると、おおむね平均的な値となっています。

■ 蒲郡市関連の代表交通手段別分担率の推移



資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査

■ 代表交通手段別分担率近隣市との比較



資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査

## (2) 公共交通の整備状況

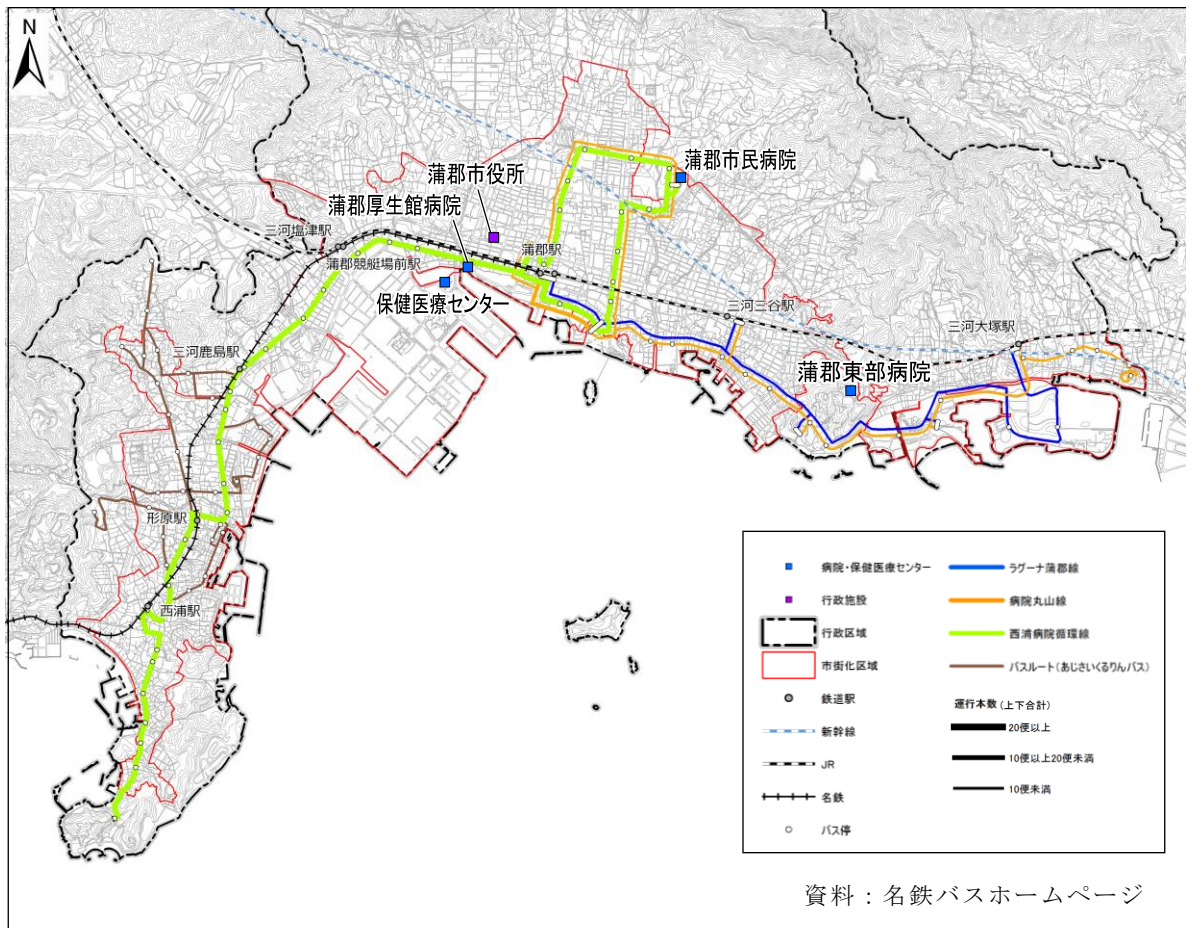
### ① 公共交通ネットワーク

本市には、JR 東海道本線と名鉄西尾・蒲郡線の鉄道 2 路線が整備され、JR 東海道本線は 4 駅、名鉄は 5 駅が整備されています。

JR 蒲郡駅は、ピーク時に 10 便運行され、その他の JR 駅についても 4 便運行されるなど、高頻度に運行されています。名鉄西尾・蒲郡線もピーク時に 3 便運行されるなど、鉄道が本市の公共交通の基幹軸を形成しています。

バスは、3 路線の定期路線が整備されており、蒲郡駅や市民病院から東西に路線が整備されています。一方で、市東部の路線の運行本数が 1 日あたり 5 便（平日）と少ない他、蒲郡東部病院などの基幹的な都市施設へアクセスしていないなどの課題があります。

■ 蒲郡市内の公共交通の整備状況



■ 市内鉄道路線の整備状況、運行状況（JR 東海道本線）

駅名		三河塩津駅	蒲郡駅	三河三谷駅	三河大塚駅	
運行 本数	1日	上り	43	109	56	43
		下り	43	112	58	43
	ピーク 時	上り	4 (7時台)	10 (7時台)	4 (6, 7, 17, 18時台)	4 (6, 7時台)
		下り	4 (7時台)	8 (8, 19時台)	4 (8, 18, 19, 20時台)	4 (8時台)
	昼間	上り	2	6	3	2
		下り	2	6	3	2
運行 時間帯	上り	6 : 11 ~ 23 : 55	5 : 59 ~ 23 : 52	5 : 56 ~ 23 : 50	6 : 02 ~ 23 : 46	
	下り	5 : 58 ~ 24 : 40	6 : 01 ~ 24 : 43	6 : 03 ~ 24 : 46	6 : 07 ~ 24 : 49	

■ 市内鉄道路線の整備状況、運行状況（名鉄西尾・蒲郡線）

駅名		西浦駅	形原駅	三河鹿島駅	蒲郡競艇場 前駅	蒲郡駅	
運行 本数	1日	上り	35	35	35	35	
		下り	35	35	35	-	
	ピーク 時	上り	2 (6~21時台)	2 (6~21時台)	2 (6~21時台)	2 (6~21時台)	2 (6~21時台)
		下り	3 (6時台)	3 (6時台)	3 (6時台)	3 (6時台)	-
	昼間	上り	2	2	2	2	2
		下り	2	2	2	2	-
運行 時間帯	上り	6 : 03 ~ 23 : 05	5 : 55 ~ 23 : 03	5 : 52 ~ 23 : 00	5 : 49 ~ 22 : 58	5 : 47 ~ 22 : 55	
	下り	5 : 58 ~ 23 : 05	6 : 00 ~ 23 : 08	6 : 03 ~ 23 : 10	6 : 06 ~ 23 : 13	-	

■ 市内バス路線の整備状況、運行状況

系統名	1日あたり運行回数 (平日/休日)
西浦温泉前・蒲郡市民病院循環（左まわり）	12 / 9
西浦温泉前・蒲郡市民病院前（左まわり）	1 / 0
西浦温泉前・蒲郡市民病院循環（右まわり）	9 / 3
丸山住宅・蒲郡市民病院循環	3 / 3
丸山住宅・蒲郡駅前（市民病院経由）	1 / 1
丸山住宅・蒲郡駅前（ラグーナ蒲郡線）	1 / 0

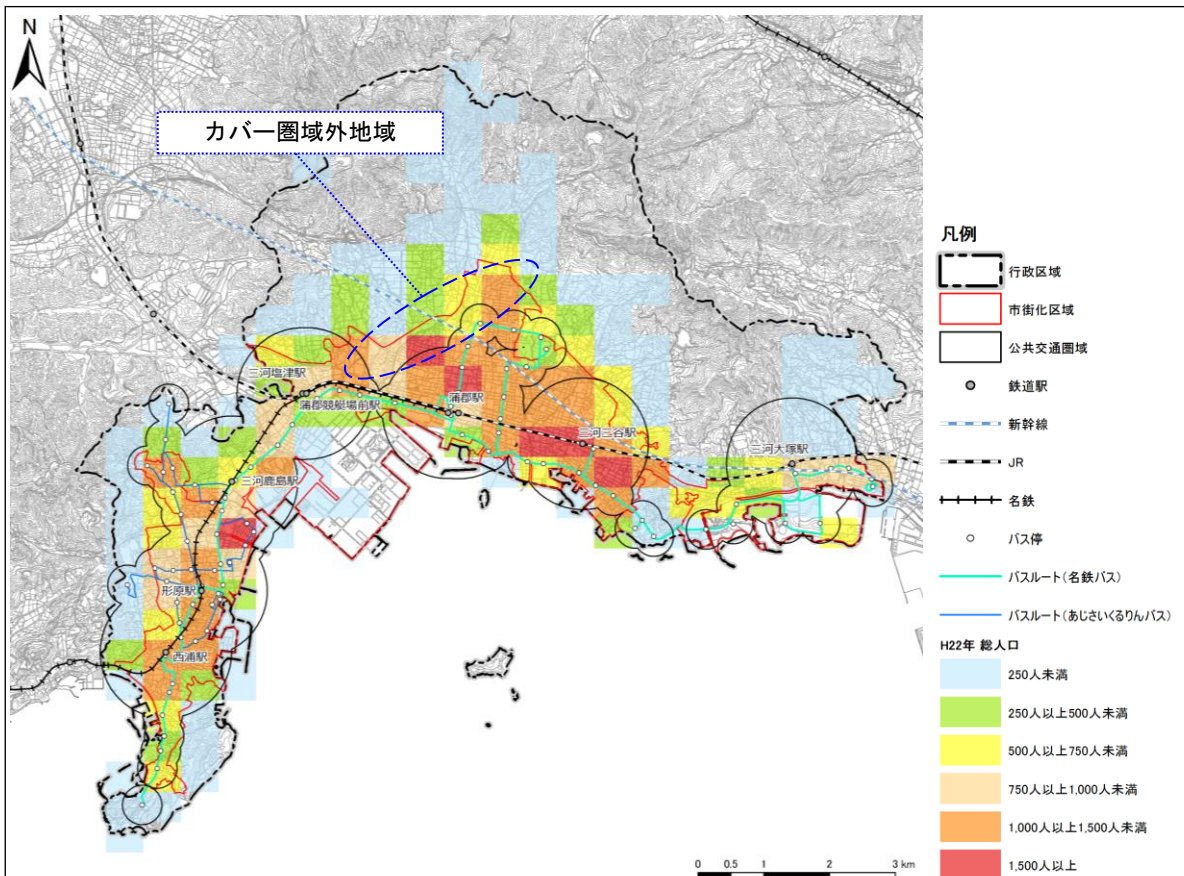


## ② 公共交通のカバー圏域

公共交通のカバー圏域（鉄道駅から半径 1km またはバス停から半径 300m の範囲）に居住する人は 65,395 人であり、総人口の 79.5%を占めています。

一方で、DID や蒲郡中部土地区画整理事業施行区域であっても、公共交通カバー圏域外となっている地域があります。

### ■ 公共交通のカバー圏域（鉄道駅から半径 1km、バス停から半径 300m）



(公共交通のカバー圏域内の人口とカバー率の計測結果)

	H22		H27		
	人口	カバー率	人口	カバー率	
国勢調査人口	82,249	—	81,100	—	
地域公共交通網形成計画策定時のネットワーク(鉄道・名鉄バス)	62,101	75.5%	—	—	
平成29年度末時点のネットワーク	鉄道・名鉄バス	63,908	77.7%	62,680	77.3%
	鉄道・名鉄バス コミュニティバス	65,395	79.5%	64,205	79.2%

※各時点の公共交通のカバー圏域内の人口は、カバー圏域内の 500m メッシュ人口の合計値。カバー圏域に一部のみ含まれるメッシュは、面積按分により人口を計上する。

※人口と人口カバー率は、地域公共交通網形成計画にあわせて平成 22 年時点での数値とする。

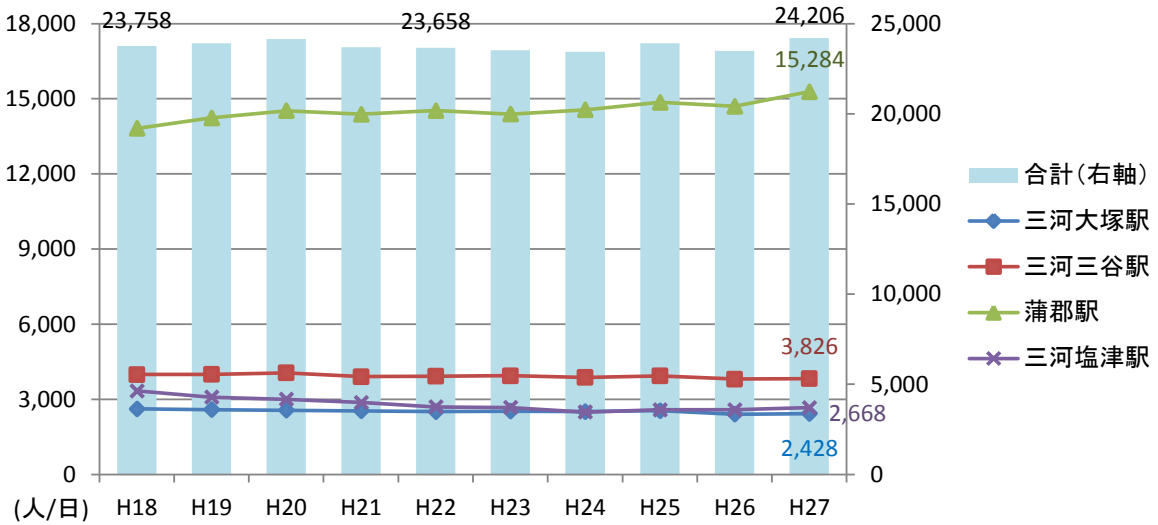
### (3) 公共交通の利用状況

#### ① 鉄道の利用状況

JR 東海道本線は、蒲郡駅の利用者が 15,284 人と最も多く、次いで三河三谷駅が 3,826 人と多くなっています。蒲郡駅の利用者は、中期的に見て増加傾向であるほか、三河三谷駅や三河大塚駅では横ばいで推移しています。三河塩津駅では平成 24 年まで減少していましたが、近年は増加に転じています。

名鉄西尾・蒲郡線は、三河鹿島駅では近年増加していますが、その他の駅では横ばいや減少で推移しています。

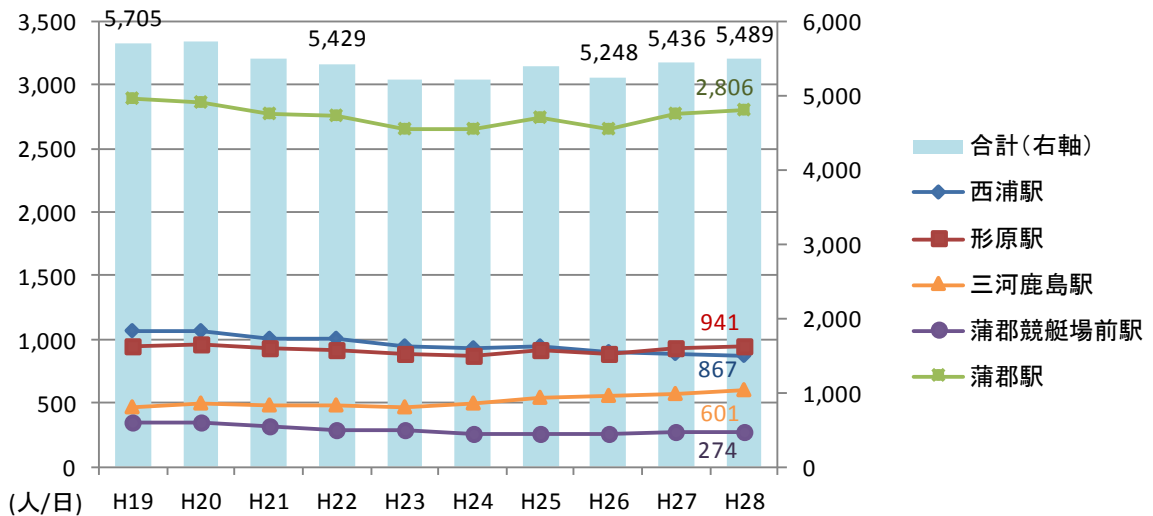
■ JR 東海道本線の利用者数の推移



※利用者数 = 乗車人員 × 2

資料：蒲郡市統計

■ 名鉄西尾・蒲郡線の利用者数の推移



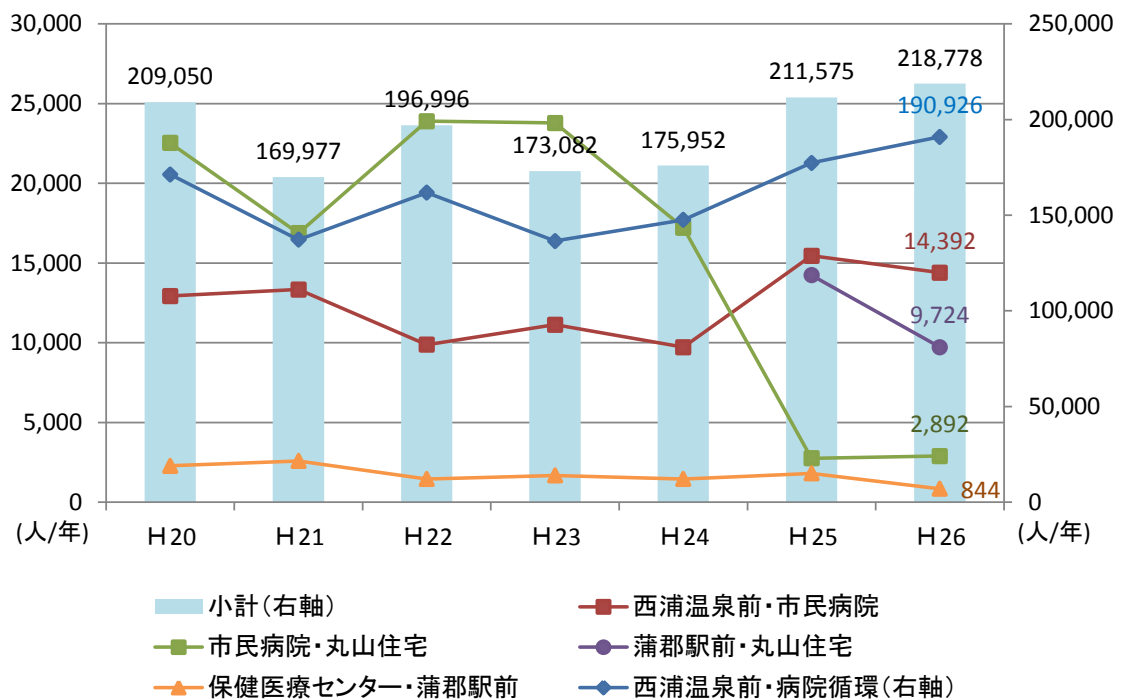
資料：蒲郡市地域公共交通網形成計画

## ② バスの利用状況

バスの全体の利用者数は、減少から増加に転じています。

路線別に見ると、西浦温泉前・病院循環の利用者が最も多くなっています。また、同路線や西浦温泉前・市民病院といった、市西部を運行する路線の利用者が増加傾向です。

■ バスの年間利用者数の推移



資料：蒲郡市地域公共交通網形成計画

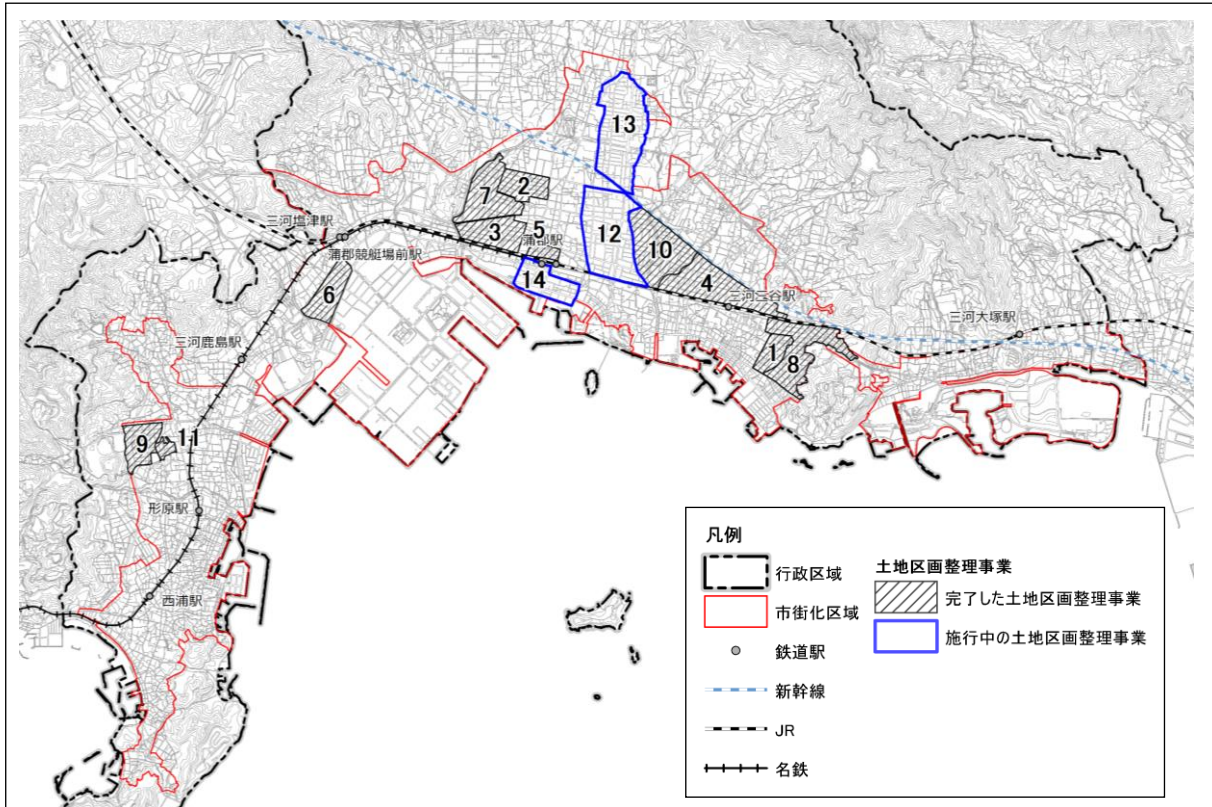


## 4 土地利用等

### (1) 市街地整備の動向（土地区画整理事業の実施状況）

市内で 11 地区の土地区画整理事業が完了し、3 地区が事業中です。事業区域のうち、蒲郡中部土地区画整理事業では、一部の区域が平成 17 年から平成 22 年にかけて、新たに DID 区域となっています。

■ 土地区画整理事業施行箇所図



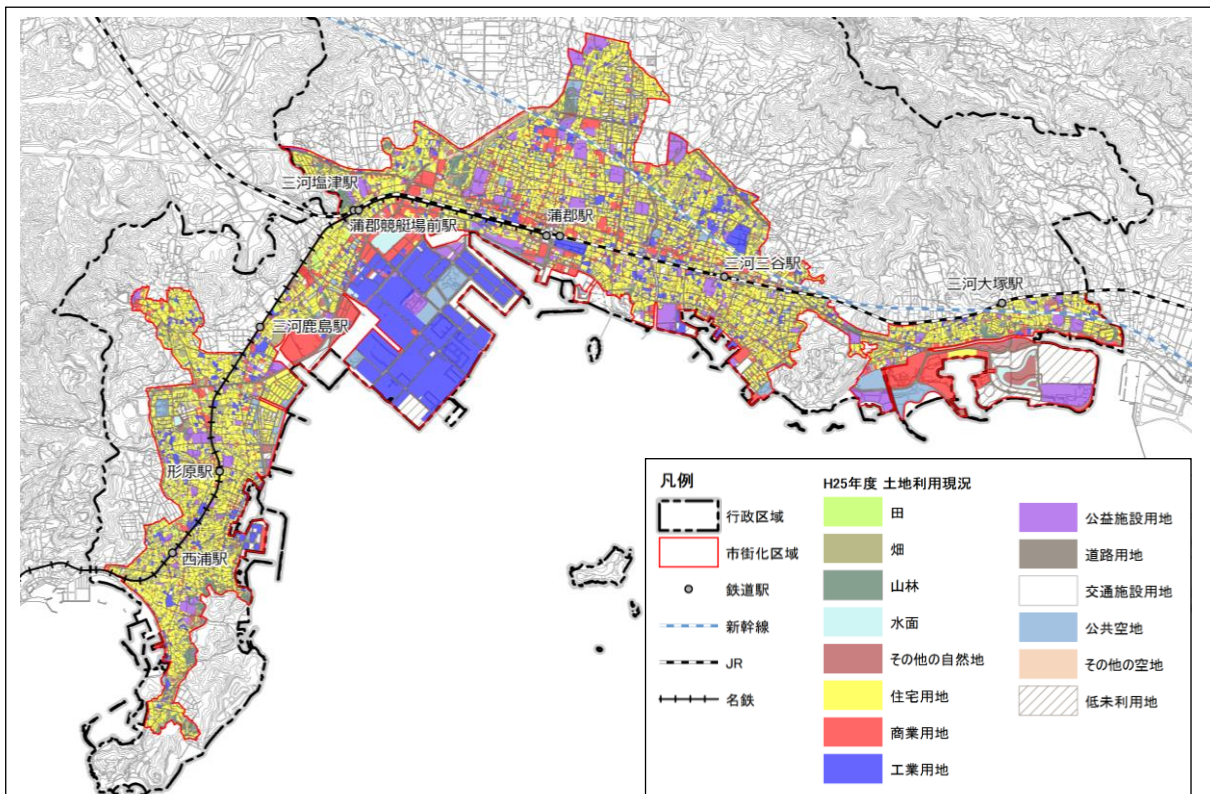
完了した土地区画整理事業				
番号	施行区分	名称	面積 (ha)	事業年度
1	組合	蒲郡市三谷東部土地区画整理事業	10.15	S27～S33
2	市	蒲郡都市計画中ノ坊土地区画整理事業	14.52	S32～S42
3	市	宝飯都市計画蒲郡大坪土地区画整理事業	20.31	S38～S45
4	市	宝飯都市計画蒲郡三谷北駅前土地区画整理事業	37.04	S33～S48
5	市	宝飯都市計画蒲郡駅前土地区画整理事業	4.89	S36～S50
6	市	宝飯都市計画蒲郡拾石土地区画整理事業	17.62	S41～S54
7	市	宝飯都市計画事業蒲郡緑町土地区画整理事業	27.12	S47～S61
8	市	宝飯都市計画蒲郡東部土地区画整理事業	33.77	S41～H2
9	組合	蒲郡市蒲郡双太山土地区画整理事業	15.08	S56～H4
10	組合	蒲郡市蒲郡西田川土地区画整理事業	37.33	S46～H5
11	組合	蒲郡市蒲郡羽栗池東土地区画整理事業	3.25	H21～H28
施行中の土地区画整理事業				
番号	施行区分	名称	面積 (ha)	事業年度
12	市	東三河都市計画蒲郡蒲南土地区画整理事業	52.20	S44～H31
13	市	東三河都市計画事業蒲郡中部土地区画整理事業	53.31	S62～H34
14	市	東三河都市計画事業蒲郡駅南土地区画整理事業	19.59	S63～H33

## (2) 土地利用の現況

住宅用地の中に工業用地が分布している状況です。また、県道蒲郡碧南線や芦谷蒲郡線の沿線等に商業用地が分布しています。浜町に一団の工業用地が分布しています。

用途地域別の土地利用を見ると、住居系の用途地域では、住宅用地の他、自然的土地利用が多くなっています。また、準工業地域では、住宅用地が多く34%を占めていますが、工業地域、工業専用地域は、工業系の土地利用が多くなっています。

■土地利用現況図（市街化区域）



○用途地域別の土地利用の現況面積・割合

	自然的 土地利用	住宅 用地	商業施設 用地	工業 用地	公的・公益 用地等	低未利用地	合計
第1種低層住居専用地域	39%	30%	1%	1%	22%	7%	100%
第1種中高層住居専用地域	16%	37%	3%	2%	34%	8%	100%
第1種住居地域	22%	35%	4%	3%	31%	6%	100%
第2種住居地域	20%	6%	1%	1%	28%	43%	100%
近隣商業地域	3%	40%	11%	4%	34%	8%	100%
商業地域	8%	18%	27%	1%	29%	16%	100%
準工業地域	13%	34%	11%	9%	27%	6%	100%
工業地域	8%	7%	6%	39%	37%	3%	100%
工業専用地域	0%	0%	0%	78%	16%	5%	100%
総計	14%	28%	8%	13%	29%	8%	100%

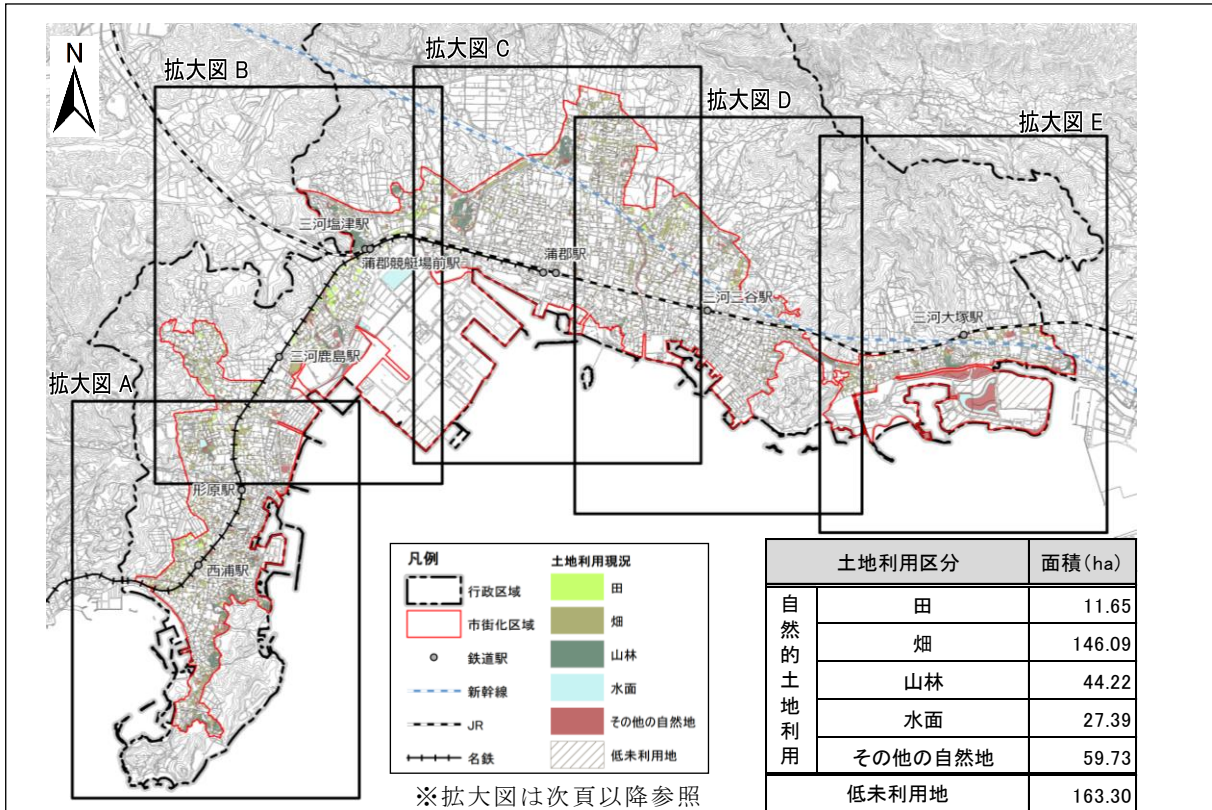
資料：平成 25 年度都市計画基礎調査



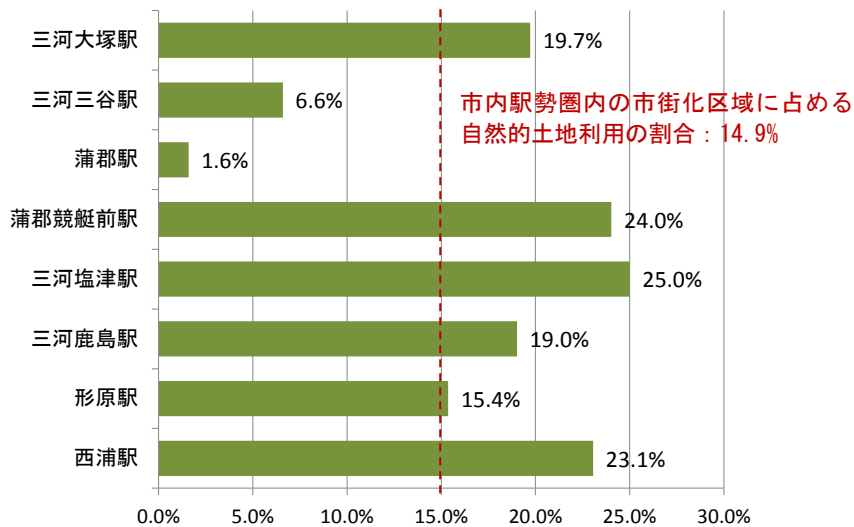
### (3) 低未利用地等の分布

鉄道駅の徒歩圏や土地区画整理事業の施行区域内をはじめ、市街地内の各所に低未利用地等（平成 25 年度都市計画基礎調査における「自然的土地利用（田、畑、山林、水面、その他自然地の総称）」と「低未利用地」のことをいう）が点在している状況です。特に、駅の徒歩圏内であっても自然的土地利用が多く分布しており、土地利用方法について検討が必要です。

#### ■ 低未利用地等の分布



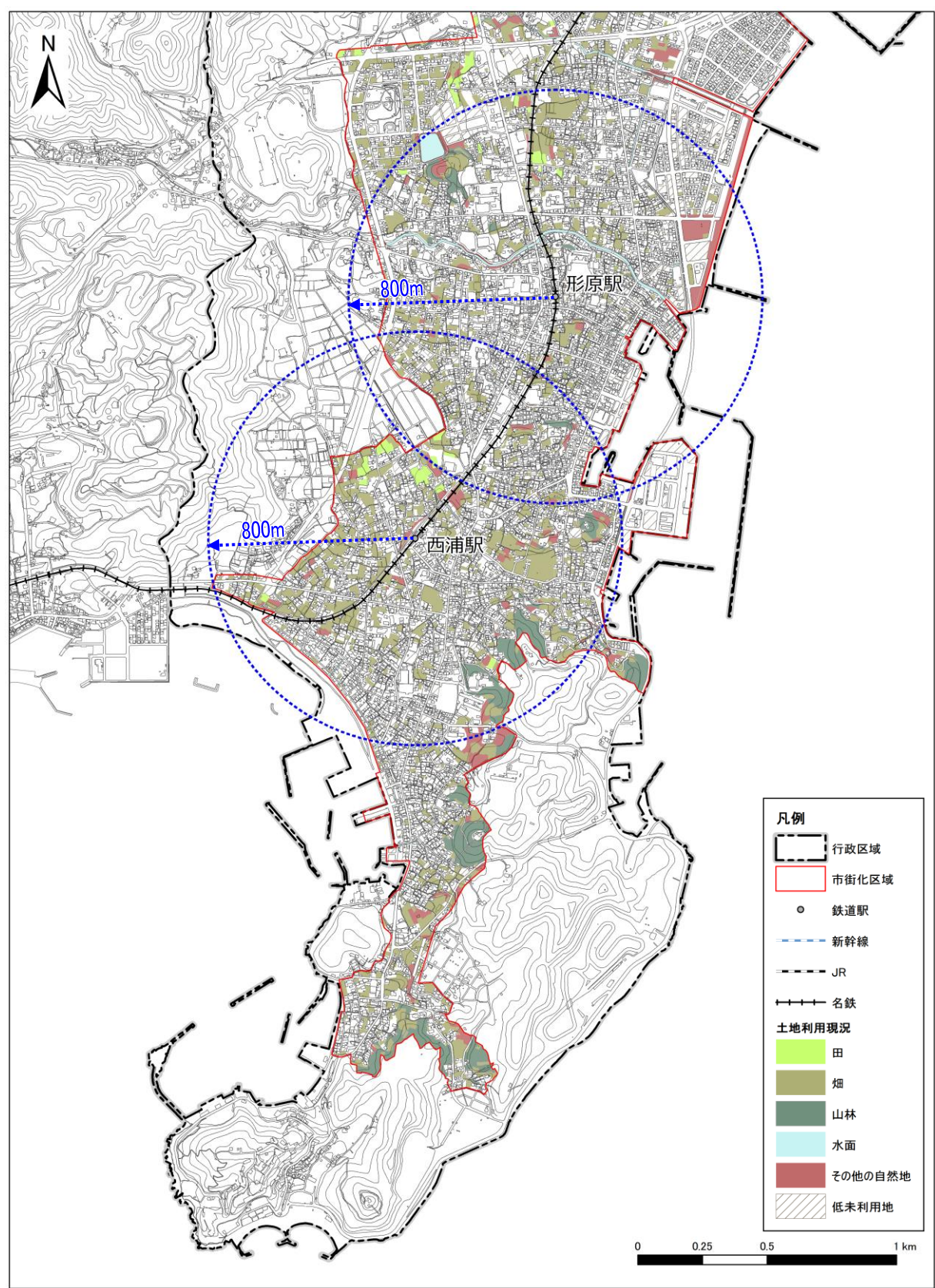
#### ○ 駅徒歩圏内の市街化区域に占める自然的土地利用の割合



資料：平成 25 年度都市計画基礎調査



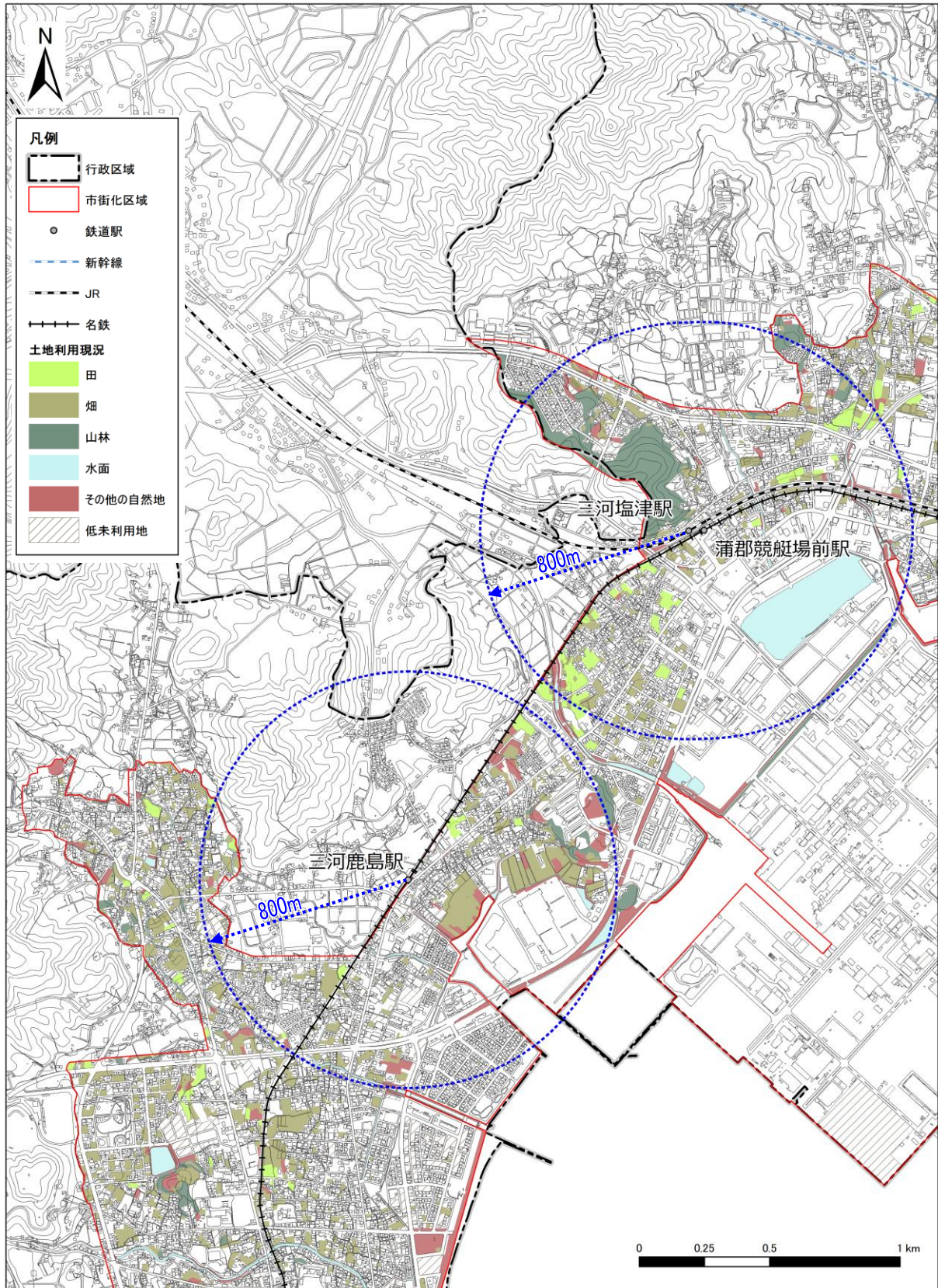
拡大図 A (西浦駅、形原駅周辺)



資料：平成 25 年度都市計画基礎調査



拡大図 B (三河鹿島駅、三河塩津駅、蒲郡競艇場前駅周辺)

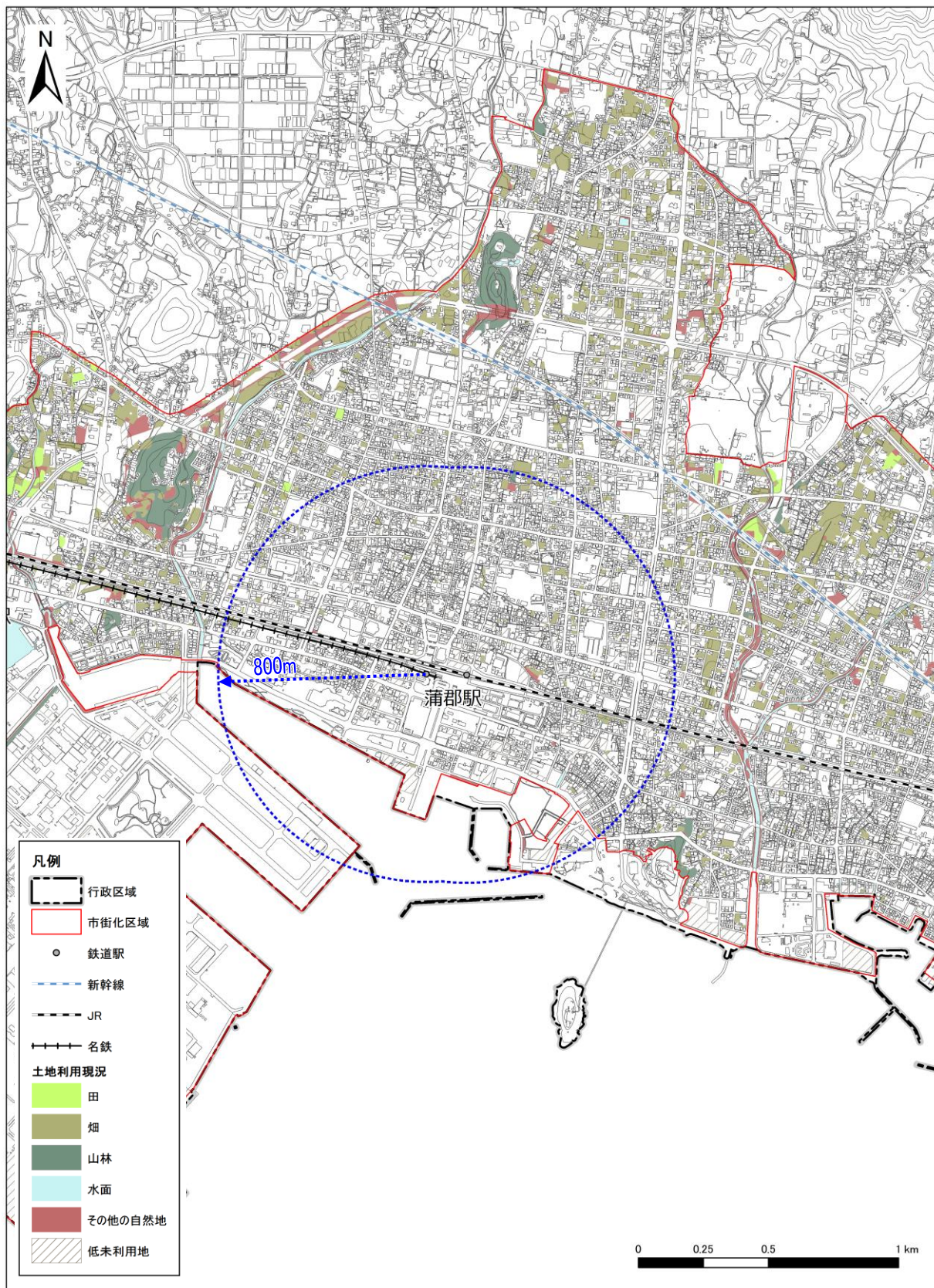


資料：平成 25 年度都市計画基礎調査





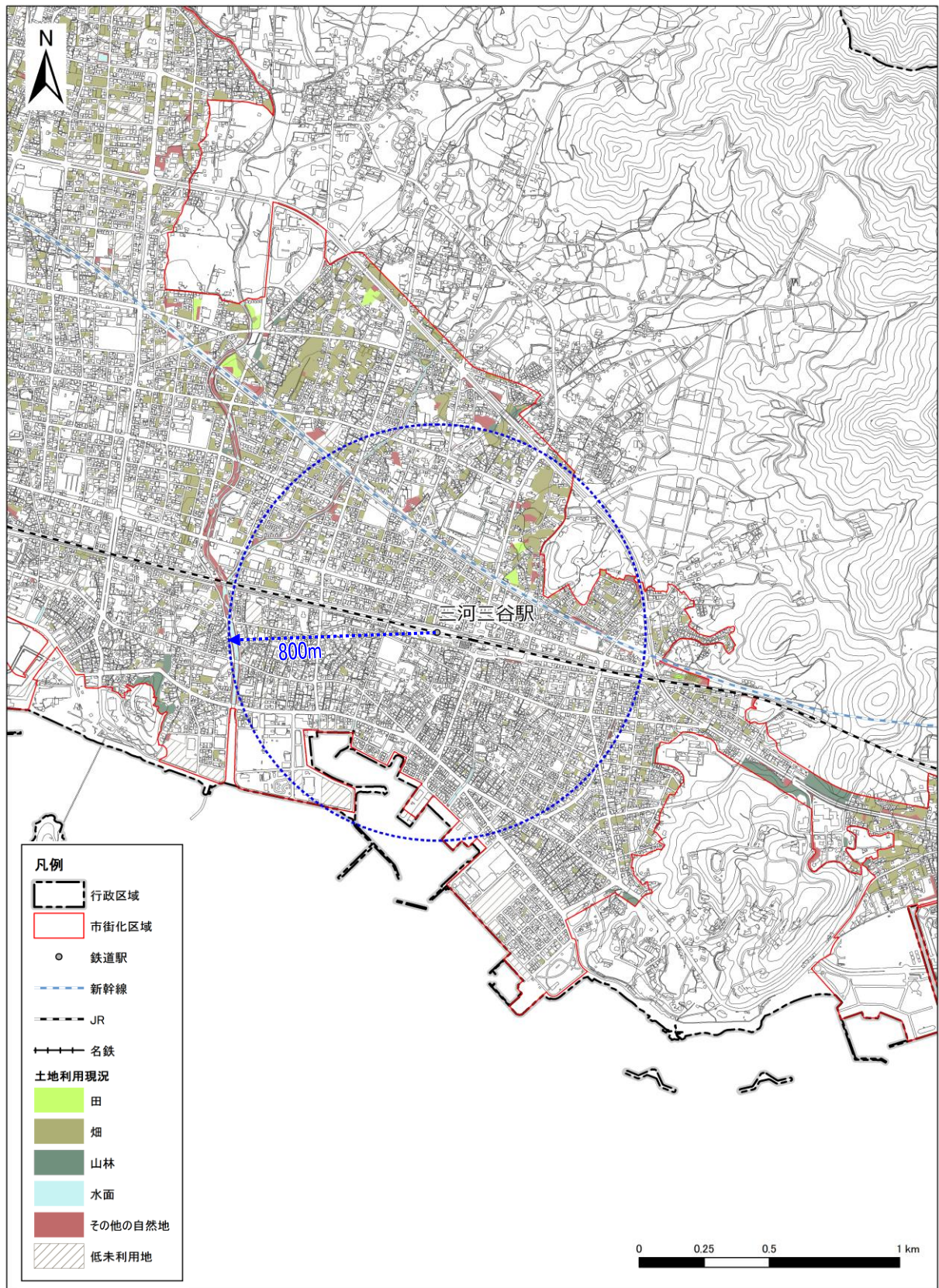
### 拡大図 C (蒲郡駅周辺)



資料：平成 25 年度都市計画基礎調査



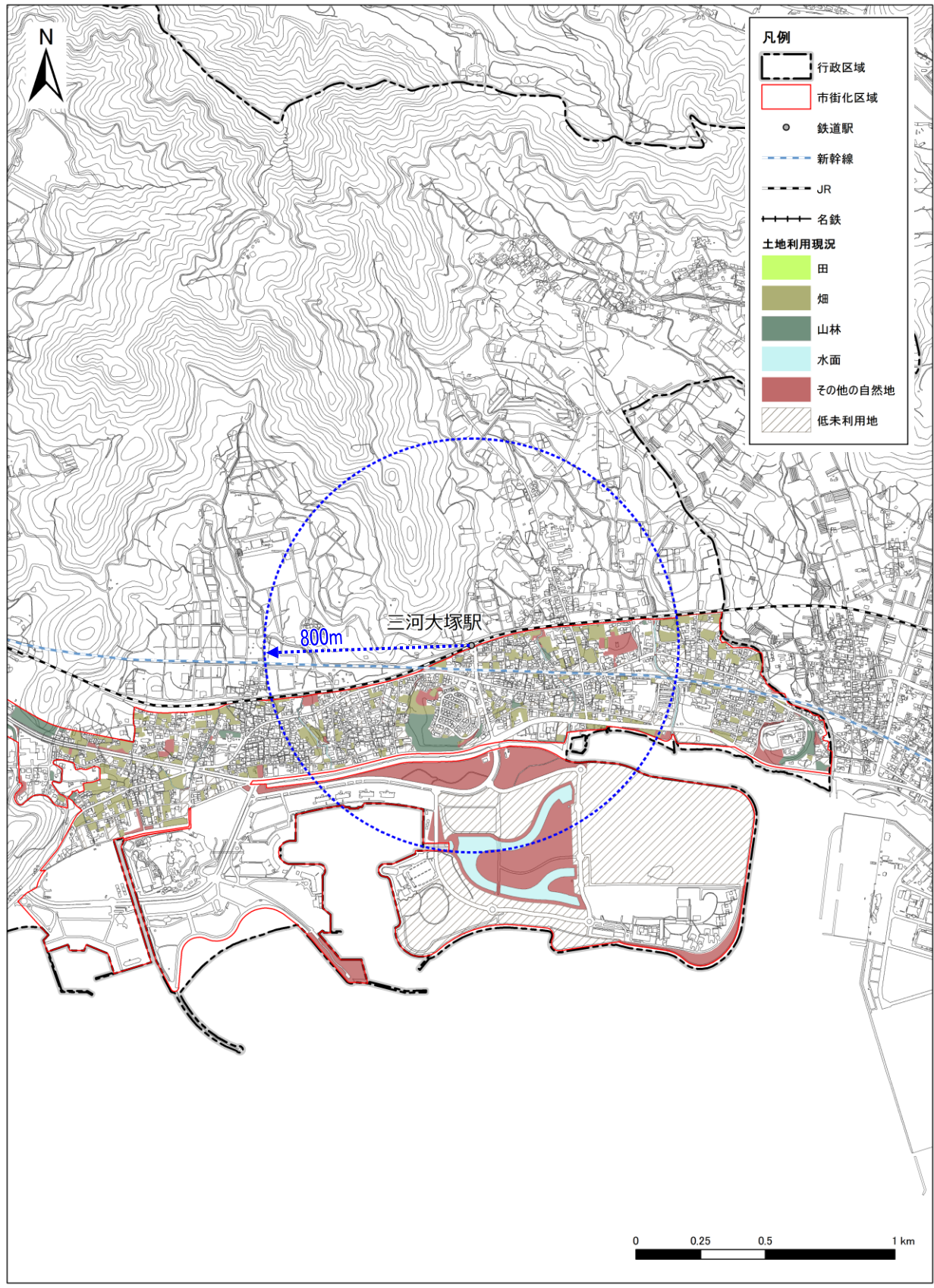
拡大図 D (三河三谷駅周辺)



資料：平成 25 年度都市計画基礎調査



拡大図 E (三河大塚駅周辺)



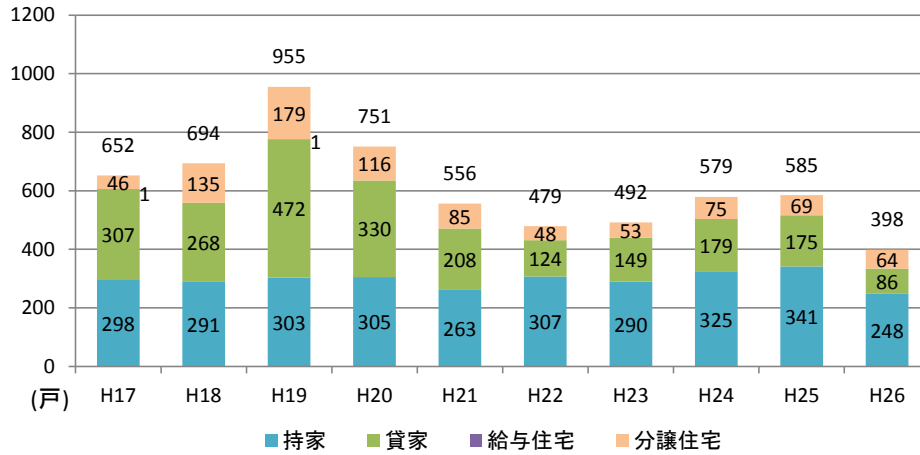
資料：平成 25 年度都市計画基礎調査



### (4) 住宅の着工件数

直近の10年間の住宅の着工件数は、平成19年度がピークであり955戸が着工されましたが、近年は減少しており、平成26年では398戸となっています。特に、貸家の着工が減少しています。

■ 住宅の着工件数

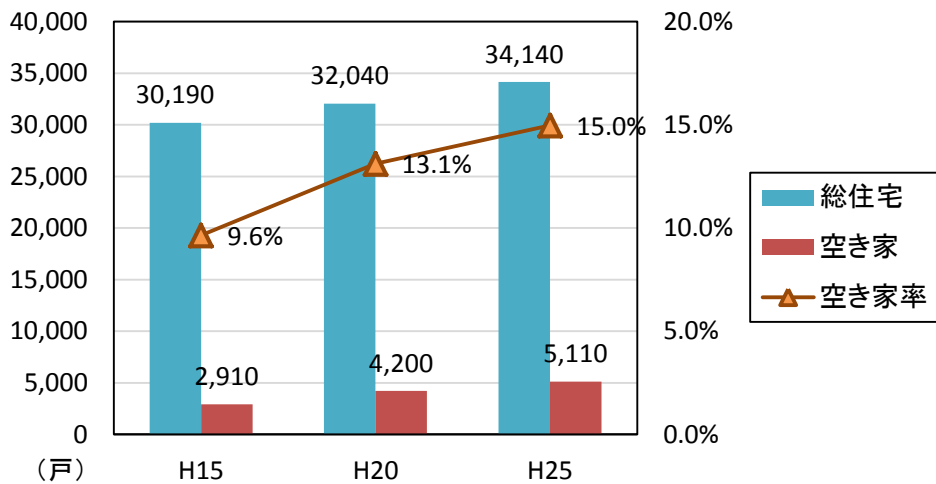


資料：愛知県統計年鑑

### (5) 空き家の状況

空き家数及び空き家率は増加傾向にあり、平成25年では、総住宅数の15%にあたる5,110戸が空き家となっています。

■ 蒲郡市の空き家率の推移



資料：住宅・土地統計調査

■ 蒲郡市の空き家の内訳

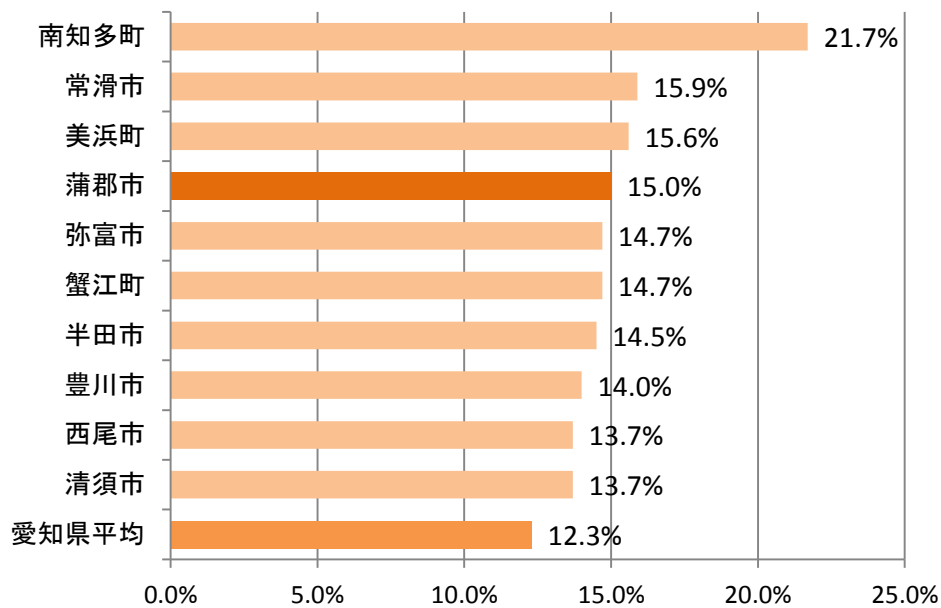
空き家の種類 腐朽・破損の有無	戸建て	長屋建 共同住宅 その他	総数
腐朽・破損あり	630	660	1,290
二次的住宅	-	-	-
賃貸用の住宅	70	470	540
売却用の住宅	10	-	10
その他の住宅	550	180	740
腐朽・破損なし	1,060	2,760	3,830
二次的住宅	-	190	190
賃貸用の住宅	70	2,290	2,370
売却用の住宅	20	-	20
その他の住宅	980	280	1,260
空き家総数	1,690	3,420	5,110
二次的住宅	-	190	190
賃貸用の住宅	140	2,770	2,910
売却用の住宅	30	-	30
その他の住宅	1,530	460	1,990

■ 蒲郡市の空き家の内訳割合（総数 = 100%）

空き家の種類 腐朽・破損の有無	戸建て	長屋建 共同住宅 その他	総数
腐朽・破損あり	12%	13%	25%
二次的住宅	-	-	-
賃貸用の住宅	1%	9%	11%
売却用の住宅	0%	-	0%
その他の住宅	11%	4%	14%
腐朽・破損なし	21%	54%	75%
二次的住宅	-	4%	4%
賃貸用の住宅	1%	45%	46%
売却用の住宅	0%	-	0%
その他の住宅	19%	5%	25%
空き家総数	33%	67%	100%
二次的住宅	-	4%	4%
賃貸用の住宅	3%	54%	57%
売却用の住宅	1%	-	1%
その他の住宅	30%	9%	39%

資料：平成 25 年住宅・土地統計調査

■ 愛知県内自治体別の空き家率（空き家率上位 10 都市及び愛知県平均）



資料：平成 25 年住宅・土地統計調査

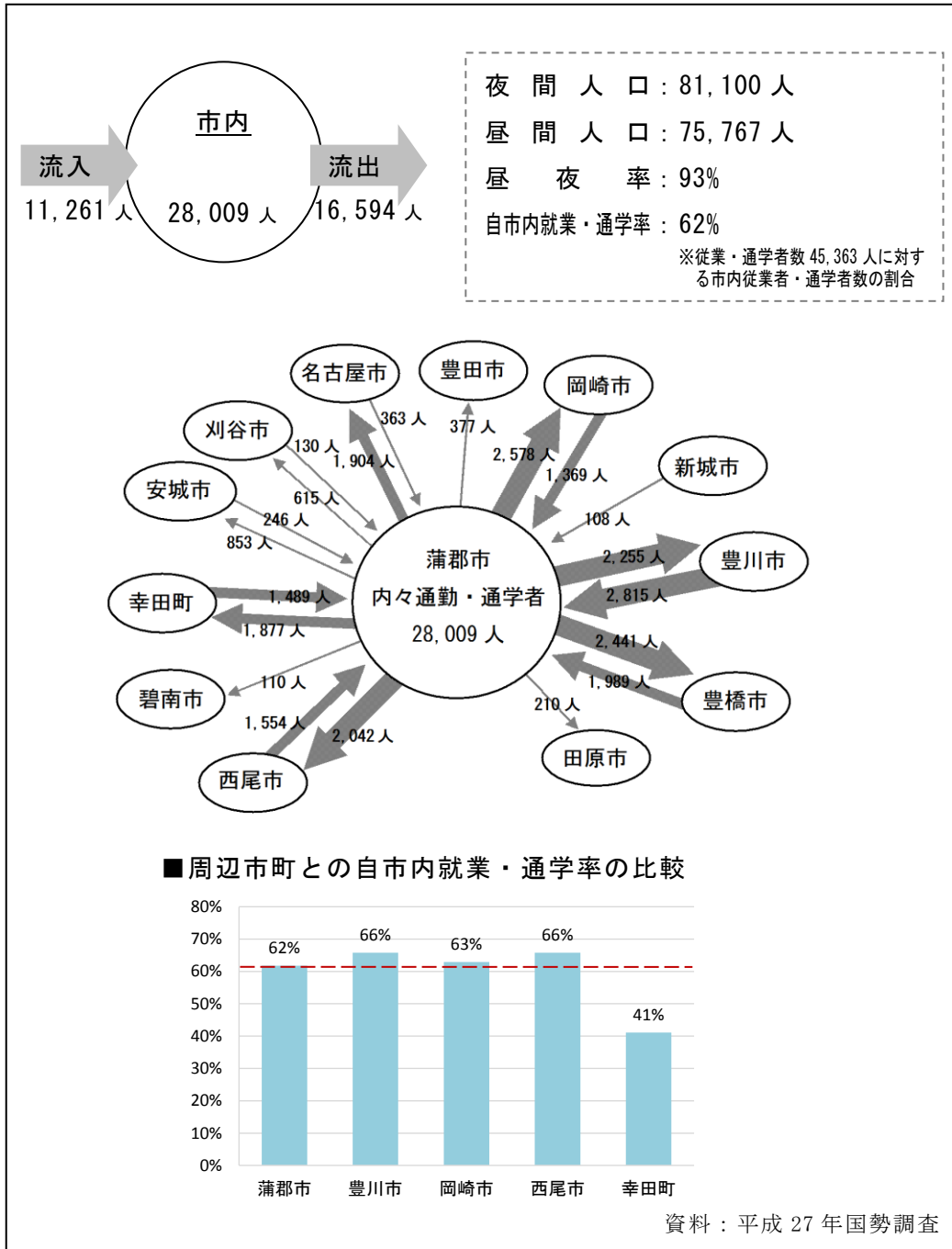
## 5 経済活動等

### (1) 都市間流動（通勤・通学流動）

市内での通勤・通学者数は、本市の就業・通学者数の62%となっています。昼夜率は93%であり、流出超過となっています。都市別の流動を見ると、豊川市や豊橋市、岡崎市等の近隣自治体間の移動が多い状況です。

自市内就業・通学率は、周辺市と同程度となっています。

■ 蒲郡市の通勤・通学流動

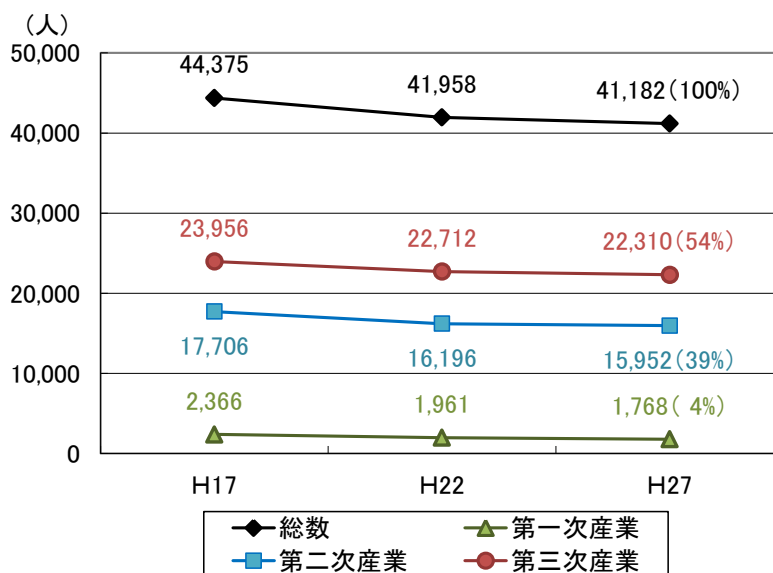


## (2) 産業別就業者数

平成 27 年の産業別の従業者人口の割合を見ると、第 3 次産業人口が全体の 54%、第 2 次産業人口が 39%、第 1 次産業が 4%を占めています。

推移を見ると、各産業で従業者数が減少傾向です。

■ 産業区分別従業者数の推移



※第一次産業：農業、林業、漁業  
 第二次産業：鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業  
 第三次産業：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業、その他サービス業、公務

資料：国勢調査



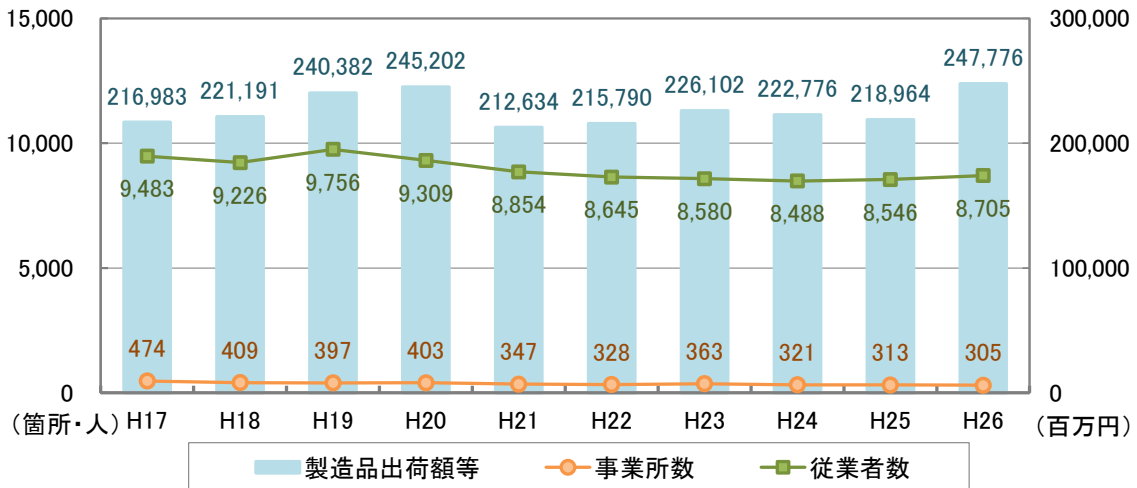
### (3) 工業

事業所数は減少傾向にあり、平成 26 年は、10 年前の平成 17 年の 64%にあたる 305 箇所です。

従業者数は、平成 24 年以降減少から増加に転じています。

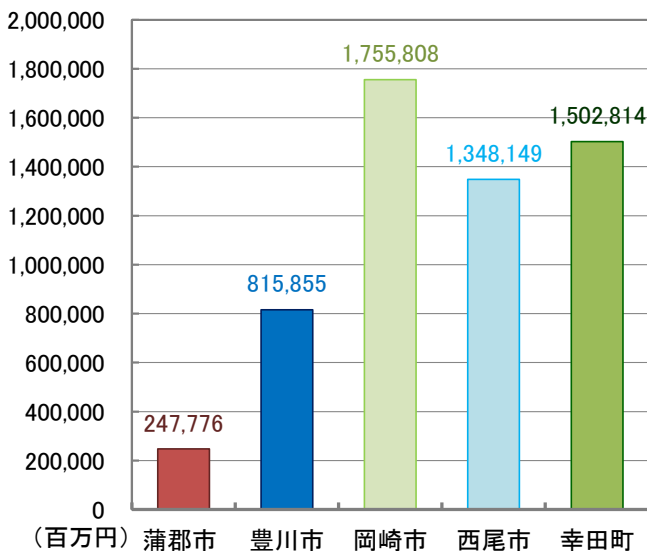
製造品出荷額等は、平成 26 年にはリーマンショック以前の水準まで回復しています。

■ 工業の動向

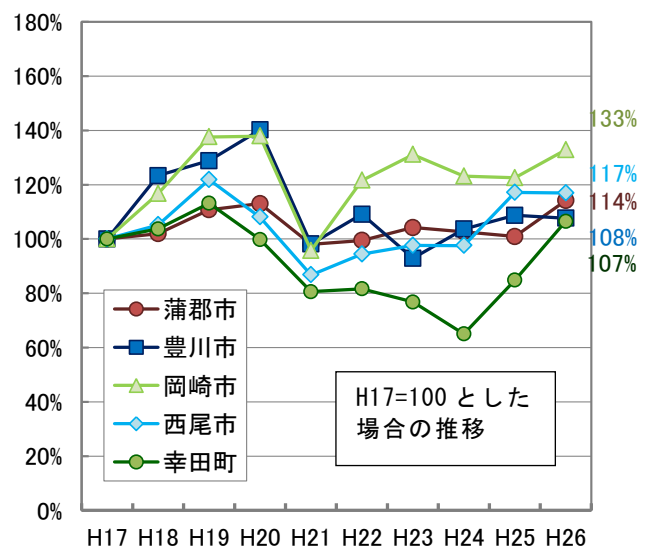


資料：工業統計

■ 製造品出荷額等の都市間の比較 (H26)



■ 製造品出荷額等の伸び率の都市間の比較



資料：工業統計調査

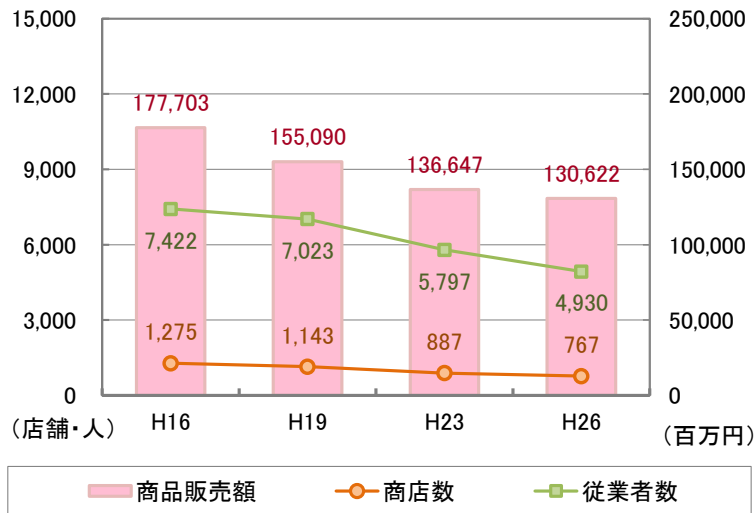


### (4) 商業

店舗数は減少傾向にあり、平成 26 年は、10 年前の平成 16 年の 60%にあたる 767 店舗です。

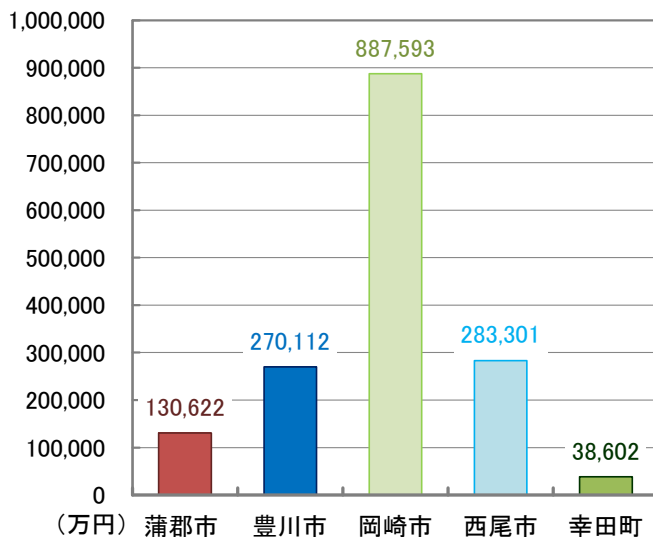
従業者数や商品販売額も減少傾向であり、平成 26 年の従業者数は平成 16 年の 66%、商品販売額は 74%まで減少しています。

■ 商業の動向

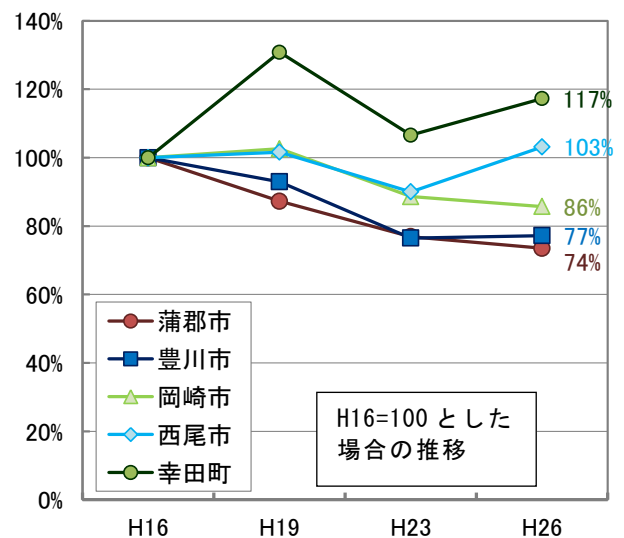


資料：商業統計

■ 商品販売額の都市間の比較 (H26)



■ 商品販売額の伸び率の都市間の比較



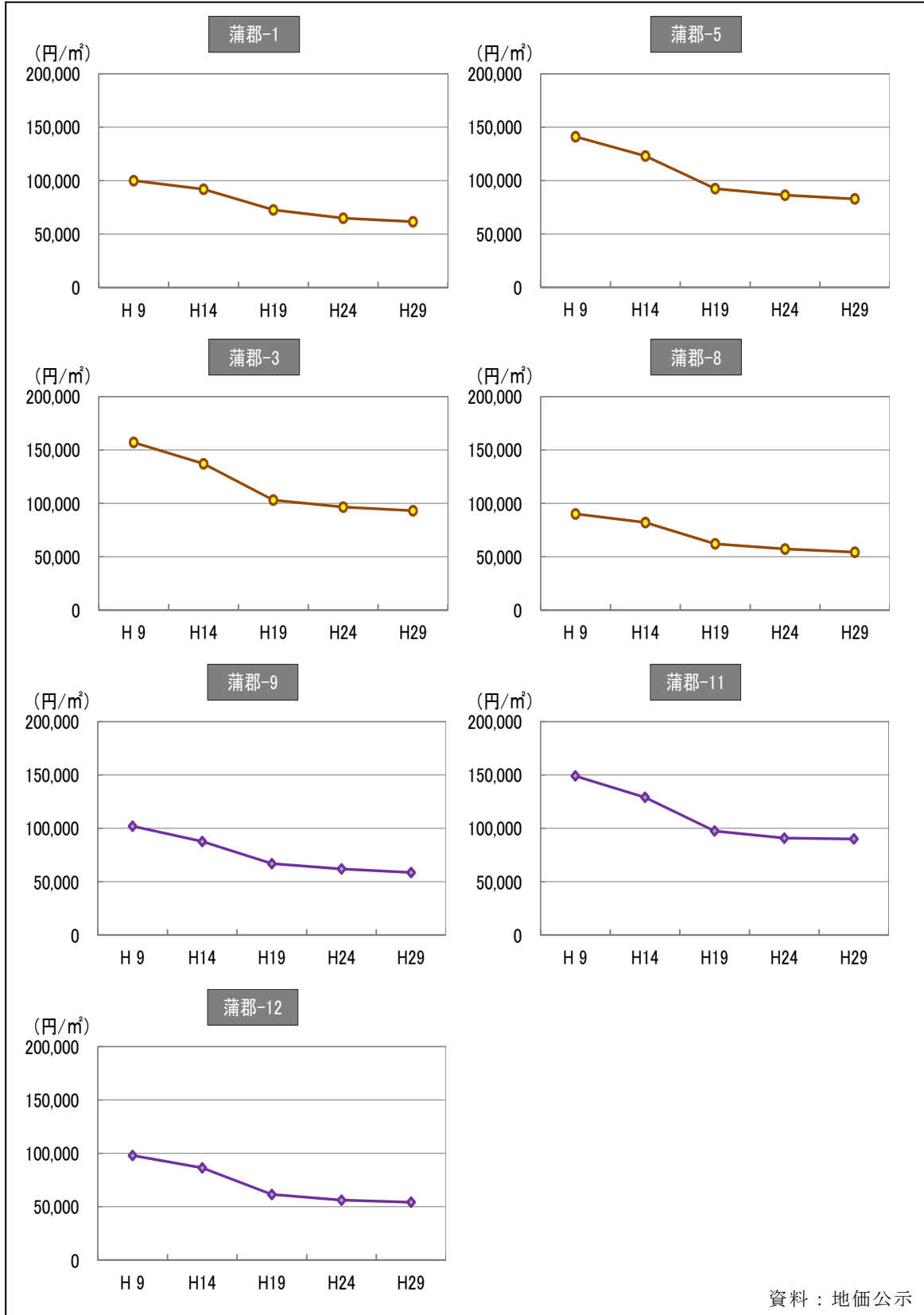
資料：(H23 を除く) 商業統計調査、(H23) 経済センサス活動調査



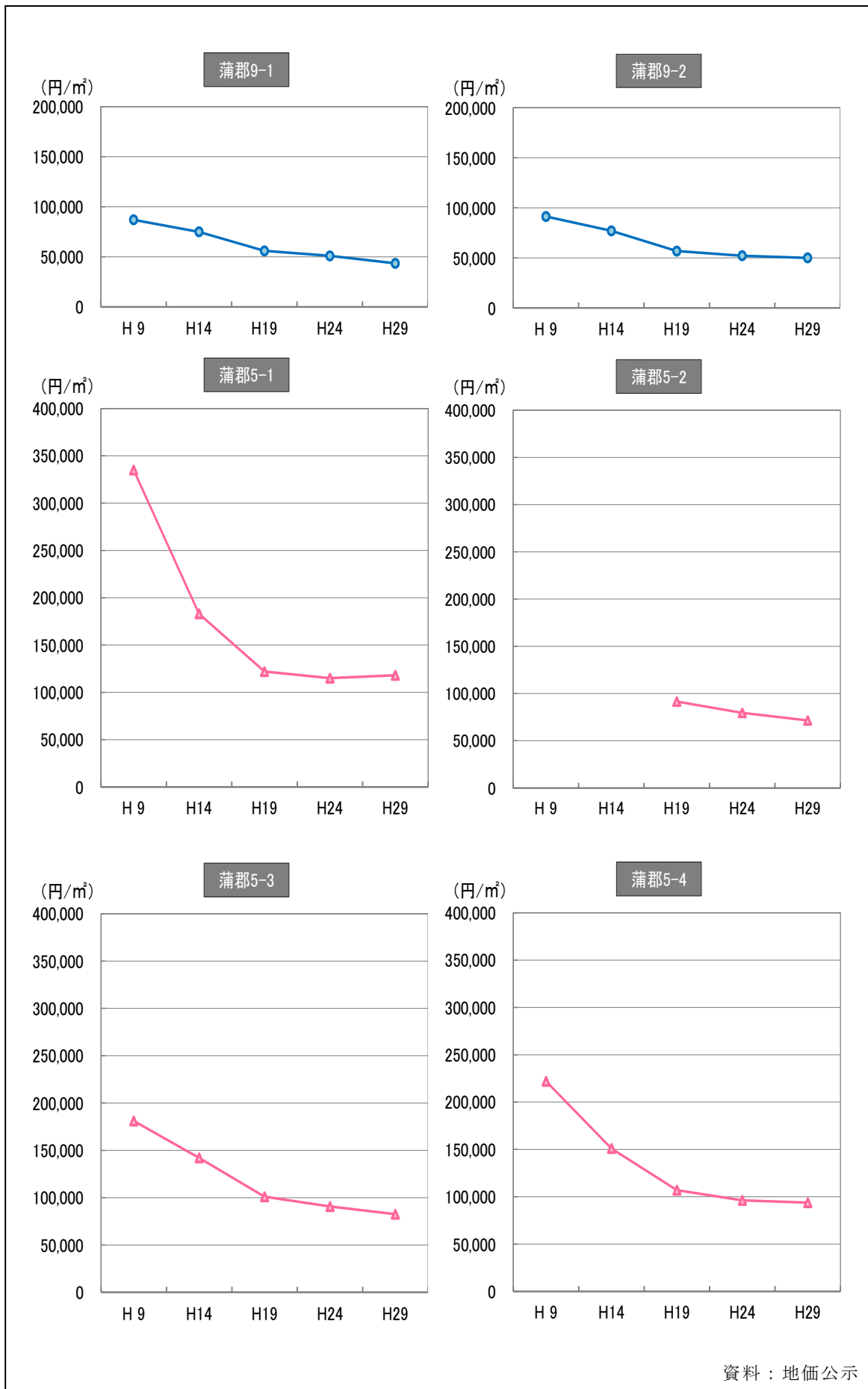
### (5) 地価の推移

各地点とも、近年の10年間は減少幅が少なくなっていますが、長期にわたり減少傾向です。

#### ■ 市内の地価公示価格の推移



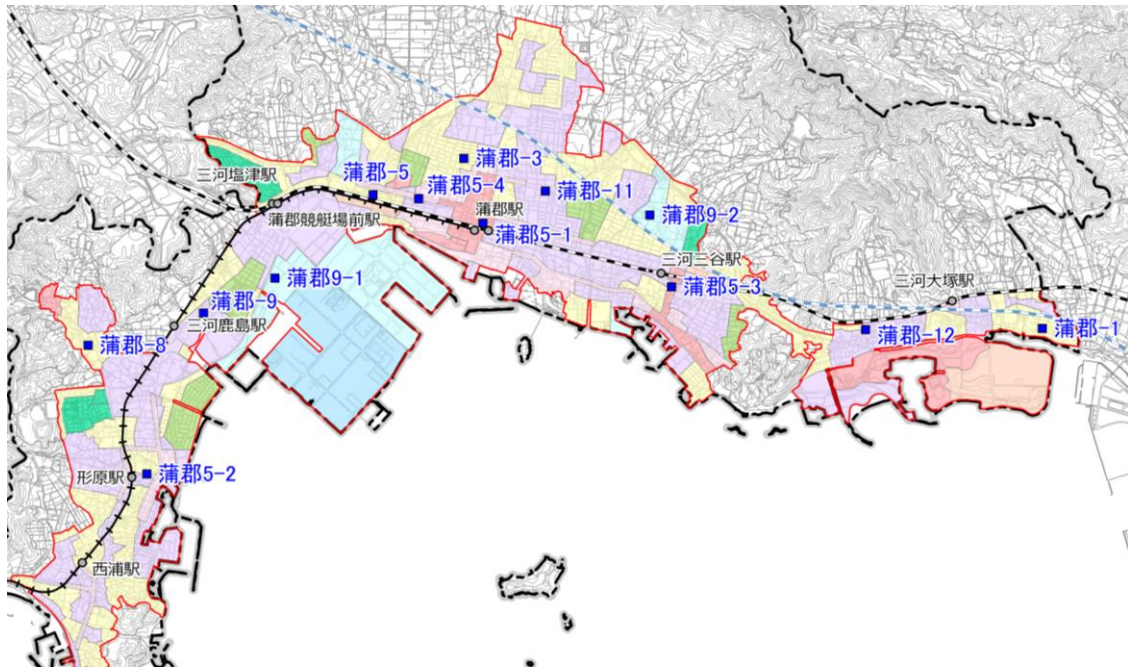
資料：地価公示








資料：地価公示



○地価公示調査箇所位置図



用途地域			
	第一種低層住居専用地域		商業地域
	第一種中高層住居専用地域		準工業地域
	第一種住居地域		工業地域
	第二種住居地域		工業専用地域
	近隣商業地域		

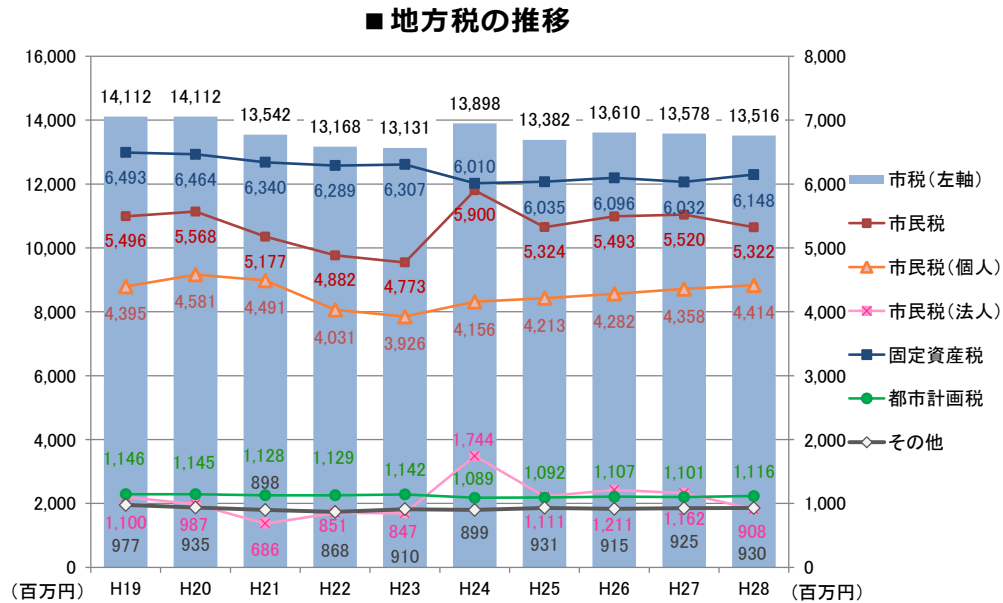
資料：地価公示

## 6 財政

### (1) 歳入（市税の推移）

市税は減少傾向です。内訳を見ると、固定資産税や都市計画税が減少傾向です。

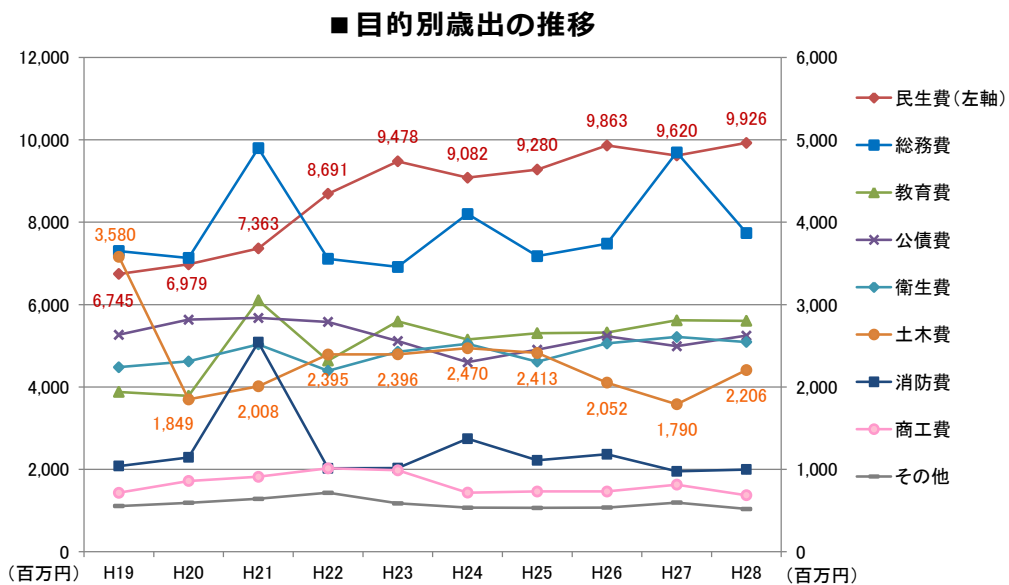
今後、人口減少や事業所数・店舗数の減少により土地等の需要が減少すると、土地等の資産価値が低下し、固定資産税や都市計画税がさらに減少することが想定されます。



資料：広報がまごおり

### (2) 歳出

目的別歳出の推移を見ると、高齢者福祉等が対象となる民生費が増加傾向です。一方で、都市基盤等の維持・更新・整備等に必要となる土木費は減少傾向です。少子高齢化により民生費が今後も増加することが想定されるため、効率的な都市経営が必要となります。



資料：広報がまごおり

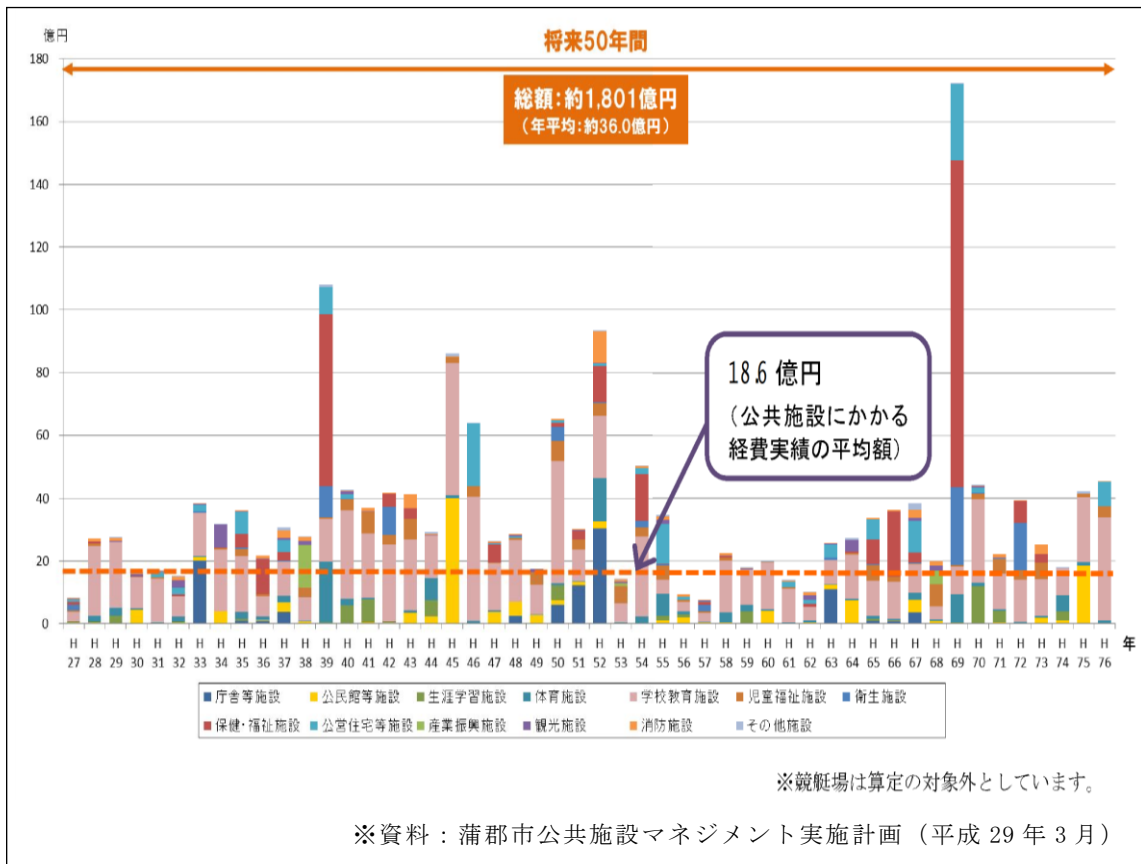


### (3) 公共施設の維持更新費用

平成 27 年からの 50 年間の維持更新費用の総額は、1,801 億円（年度平均 36.0 億円）と推計されているのに対し、普通建設事業費のうち、公共施設に係る経費の実績額は、年度平均（平成 20 年度から平成 25 年度までの 6 ヶ年度の平均）で 18.6 億円です。

この額で 50 年間維持すると仮定した場合の総額は、930 億円（18.6 億円 × 50 年）になることから、現在の施設保有量をこのまま維持していくことは困難な状況です。

#### ■ 公共施設の将来の維持更新費用と実績額との比較



## 7 現在の都市構造の評価（他都市との比較）

### （1）現況の都市構造の評価方法

#### ① 評価項目

データの整備状況等を踏まえ、「①生活利便性」と「②健康・福祉」の評価のうち人口カバー率に関連する指標については、本業務で整理した施設分布や人口メッシュに基づき評価を行います。その他の指標については、国土交通省より入手したデータ（170331 都市構造評価指標データリスト.xlsx）（以下、国提供データとする）を利用します。

#### ■ 他都市と比較評価を行う指標一覧

都市構造評価指標名		データ名	単位	利用データ	
				国提供データ	本業務算定データ
① 生活 利便性	◎居住機能の適切な誘導	日常生活サービスの徒歩圏充足率	日常生活サービス徒歩圏	%	●
		生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率	医療施設徒歩圏(800m)	%	●
			福祉施設徒歩圏(800m)	%	●
			商業施設徒歩圏(800m)	%	●
		基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	駅またはバス停留所徒歩圏(800m、300m)	%	●
	◎都市機能の適正配置	生活サービス施設の利用圏平均人口密度	医療施設徒歩圏(800m)	人/ha	●
			福祉施設徒歩圏(800m)	人/ha	●
			商業施設徒歩圏(800m)	人/ha	●
	◎公共交通の利用促進	公共交通沿線地域の人口密度	駅およびバス停徒歩圏(800m、300m)	人/ha	●
	② 健康・ 福祉	◎都市生活の利便性向上	高齢者徒歩圏に医療機関がある住宅の割合	医療施設の500m圏内の住宅の割合	%
高齢者福祉施設の中学校圏域高齢人口カバー率			福祉施設(1km)※65歳以上	%	●
保育所の徒歩圏0～5歳人口カバー率			保育所徒歩圏(800m)※0～5歳	%	●
◎歩きやすい環境の形成		歩道整備率	歩道設置率	%	●
		高齢者徒歩圏に公園がある住宅の割合	高齢者徒歩圏に公園がある住宅の割合	%	●
③ 安全・安心	◎歩行者環境の安全性向上	交通事故死者数	市民一人あたりの交通事故死亡者数	人	●
	◎市街地の安全性の確保		最寄り緊急避難場所までの平均距離	m	●
	◎市街地荒廃化の抑制		空家率	%	●
④ 地域経済	◎サービス産業の活性化	従業者一人当たり第三次産業売上高	売上高/従業員数	百万円/人	●
⑤ 行政運営	◎都市経営の効率化	市民1人当たりの歳出額	人口当たりの公共施設等の維持・管理・更新費	千円	●
	◎安定的な税収の確保	市民1人当たり税収額(市町村民税+固定資産税)	市民1人当たり平均税収額	千円	●
⑥ エネルギー/ 低炭素	◎運輸部門の省エネ・低炭素化	市民一人当たりの自動車CO2排出量	市民一人当たりの自動車CO2排出量	t-CO2/年	●



## ② 比較対象都市について

全国の都市のうち、DID 人口密度や、現在及び将来見通しの人口構成、市街化区域面積を踏まえ、蒲郡市と類似した人口や都市構造となっていると考えられる都市を抽出します。

### ■ 比較対象都市一覧

対象都市	H27人口	H27DID 人口密度	H27人口割合(%)			H52人口割合(%)			市街化 区域 面積
			年少 人口	生産年齢 人口	老年 人口	年少 人口	生産年齢 人口	老年 人口	
蒲郡市	81,100人	38.0 人/ha	12.9	59.1	28.1	10.2	55.1	34.7	2,051ha
茨城県 日立市	186,663人	38.0 人/ha	12.2	58.6	29.2	9.0	51.3	39.7	5,046ha
茨城県 筑西市	103,976人	37.4 人/ha	12.0	60.1	27.9	9.3	52.1	38.6	1,522ha
栃木県 足利市	148,041人	35.1 人/ha	11.9	58.0	30.1	9.4	51.2	39.4	3,206ha
群馬県 太田市	216,403人	38.0 人/ha	14.9	60.7	24.4	12.2	55.9	31.9	4,315ha
新潟県 上越市	197,419人	35.7 人/ha	12.7	57.3	30.0	10.6	51.6	37.8	4,468ha
富山県 高岡市	416,819人	36.7 人/ha	12.6	58.8	28.6	10.1	53.2	36.6	3,627ha
石川県 小松市	106,479人	38.7 人/ha	13.7	58.5	27.8	11.1	53.6	35.4	2,229ha

## ③ 評価方法について

生活利便性や健康福祉、安全安心、地域経済、行政運営、エネルギー/低炭素に関する指標別に、比較対象都市における蒲郡市の偏差値を算定することで都市構造の評価を行います。



#### ④ 施設の利用圏域（徒歩圏等）人口の算定方法

##### a. 利用圏域人口について

メッシュの中心が施設の利用圏域に含まれるメッシュの人口の合計により、各施設のカバー人口を算定します。なお、実態に即した評価値を算定するため、メッシュの大きさは100m四方のメッシュを採用します。

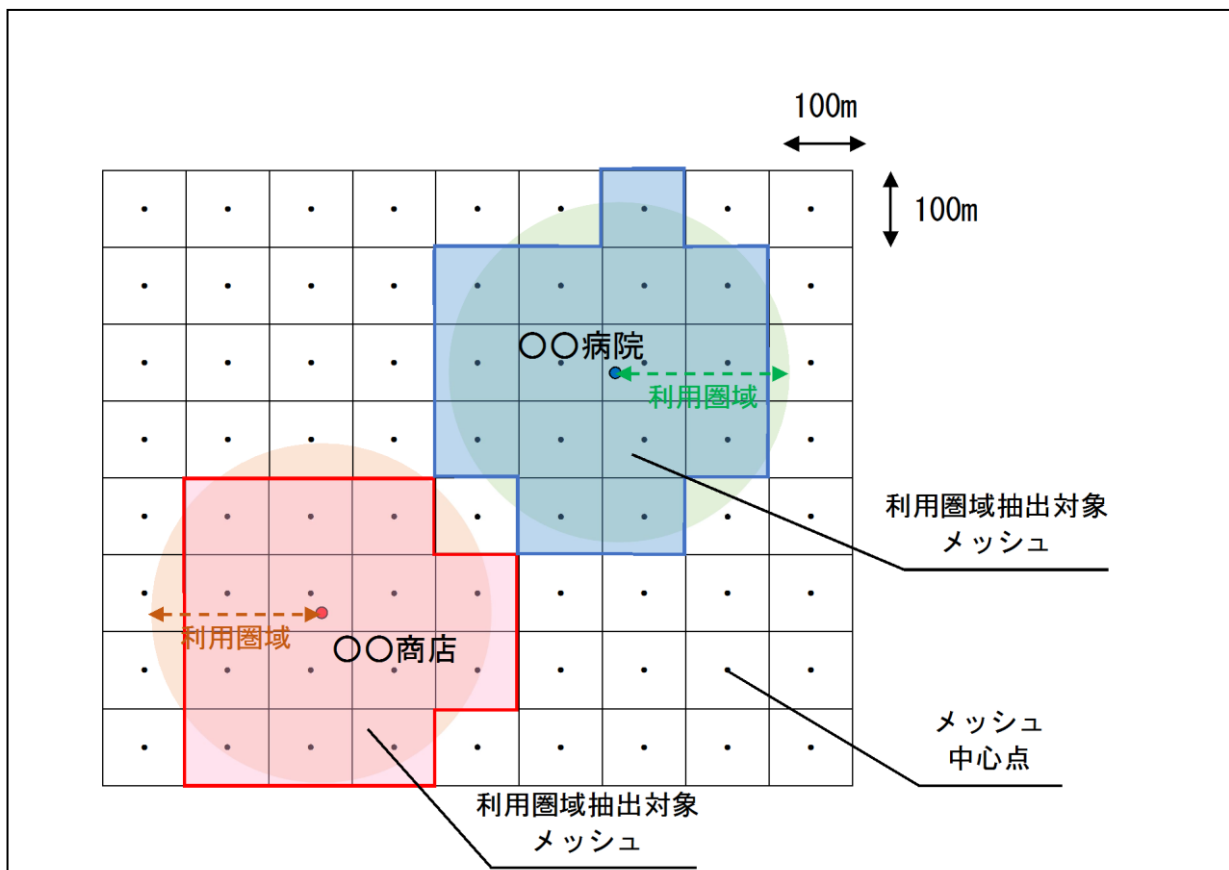
##### b. 人口カバー率について

市の人口に対する、利用圏域に含まれる人口の割合を算定します。

##### c. 人口密度について

メッシュの中心が施設の利用圏域に含まれるすべてのメッシュ（人口がゼロのメッシュも含む）から面積を算定し、利用圏域を除いて算定します。

#### ■ 利用圏人口の算定イメージ



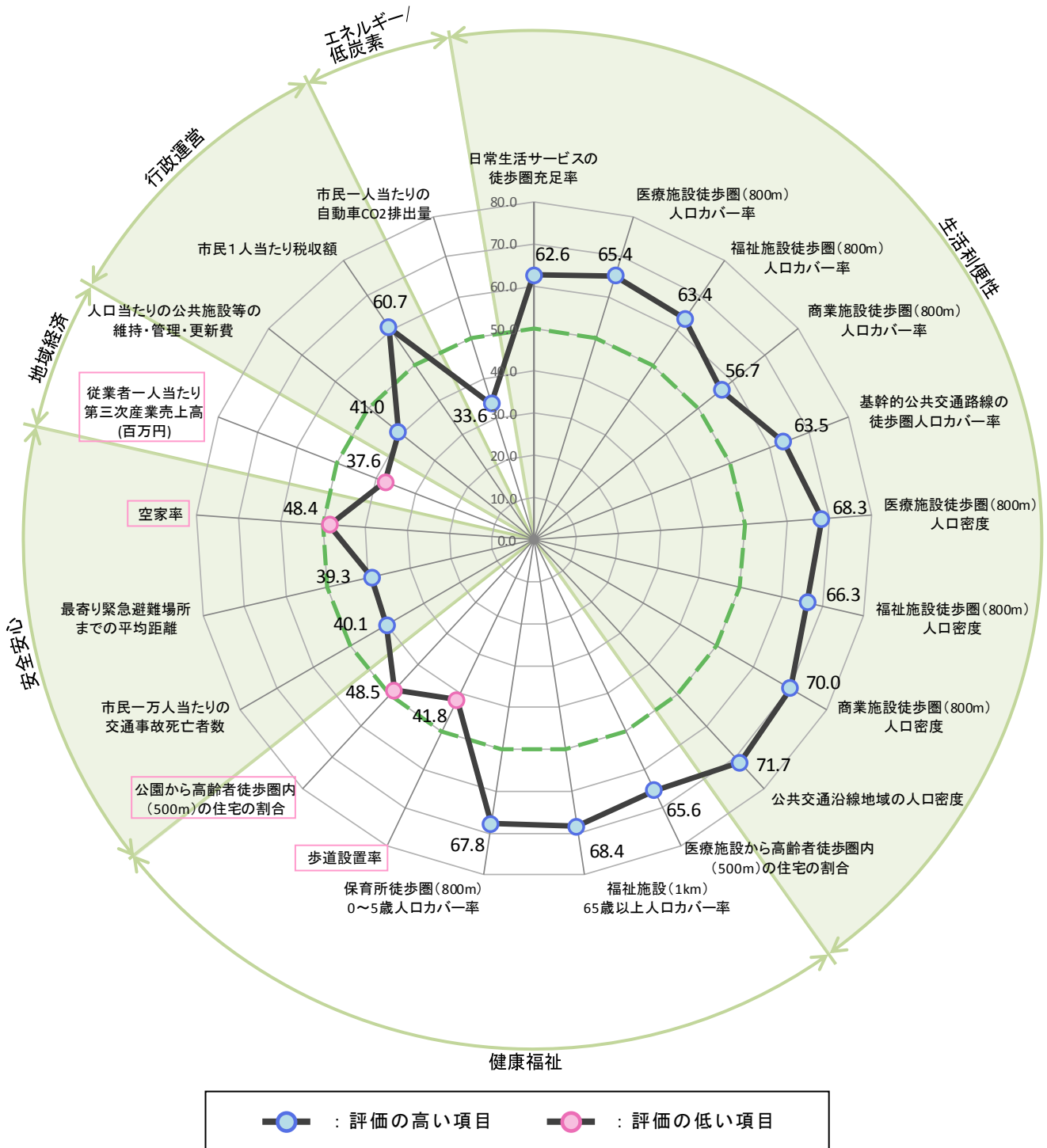


## (2) 現況の都市構造の評価結果

類似都市と比較すると生活利便性が高く、コンパクトな都市が形成されていると考えられるため、今後の都市づくりではこれを活かすことが必要です。

一方で、少子高齢化が進行する中で健康的で活力ある、持続可能な都市を形成していくためには、計画的な歩行空間や公園の整備、空き家対策、サービス産業の活性化が必要であると考えられます。

■ 蒲郡市の都市構造の評価結果（評価項目別の偏差値）



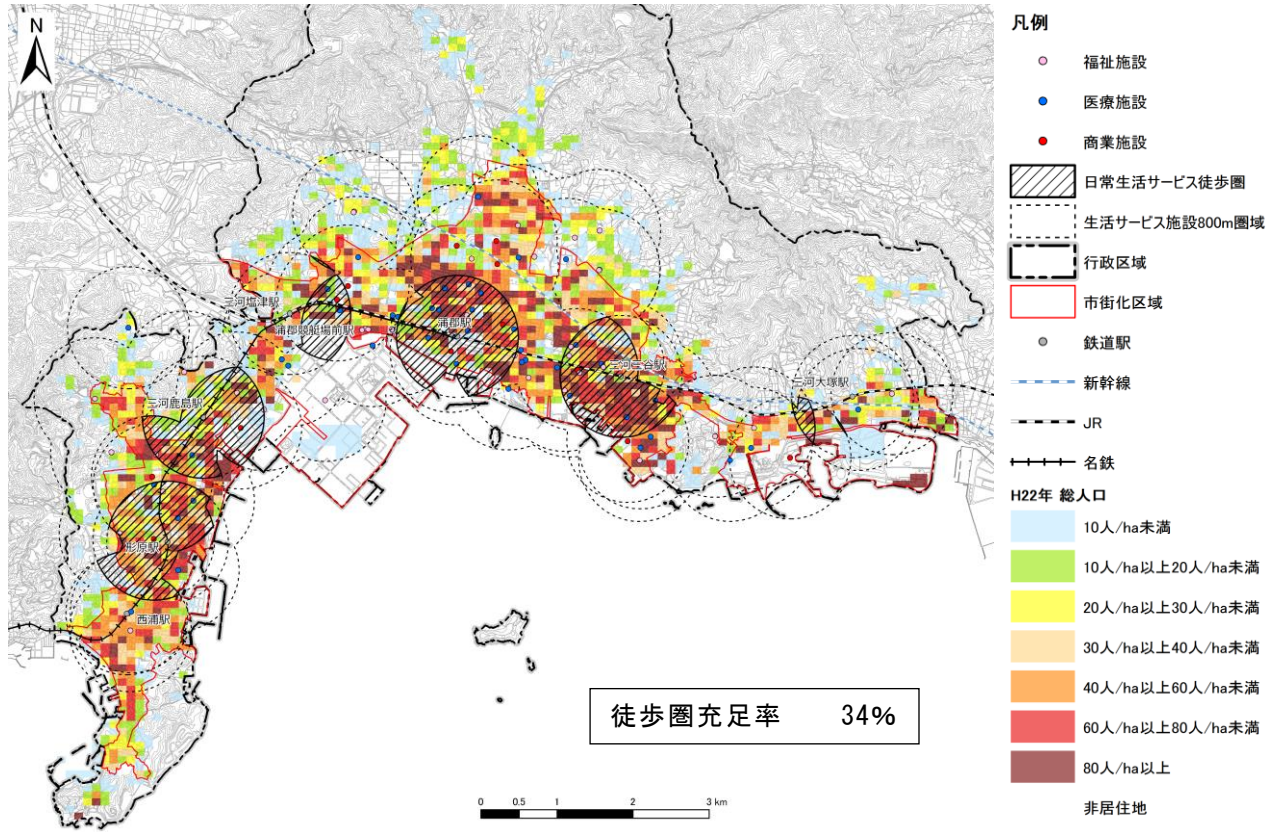
## ■ 比較対象都市の項目別の評価値

指標		単位	愛知県 蒲郡市	茨城県 日立市	茨城県 筑西市	栃木県 足利市	群馬県 太田市	新潟県 上越市	富山県 高岡市	石川県 小松市	
①生活利便性	◎居住機能の適切な誘導	日常生活サービス徒歩圏	%	34%	37%	9%	13%	8%	15%	29%	15%
		医療施設徒歩圏(800m)人口カバー率	%	90%	81%	52%	77%	77%	62%	78%	66%
		福祉施設徒歩圏(800m)人口カバー率	%	86%	66%	39%	77%	73%	64%	72%	73%
		商業施設徒歩圏(800m)人口カバー率	%	68%	74%	43%	68%	65%	53%	68%	50%
		基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	%	52%	58%	16%	14%	13%	19%	38%	22%
	◎都市機能の適正配置	医療施設徒歩圏(800m)人口密度	人/ha	28.0	22.8	8.9	19.7	15.6	10.6	17.6	15.3
		福祉施設徒歩圏(800m)人口密度	人/ha	25.3	23.7	8.2	17.7	14.6	9.8	15.8	13.8
		商業施設徒歩圏(800m)人口密度	人/ha	35.0	27.3	11.5	23.0	17.7	14.1	20.3	18.6
	◎公共交通の利用促進	公共交通沿線地域の人口密度	人/ha	30.9	16.8	12.4	15.8	18.5	5.6	17.5	11.7
	②健康・福祉	◎徒歩行動の増加と市民の健康の増進	医療施設高齢者徒歩圏内(500m)の住宅の割合	%	69%	59%	30%	59%	44%	28%	49%
◎都市生活の利便性向上		福祉施設(1km)65歳以上人口カバー率	%	94%	56%	35%	71%	67%	57%	69%	71%
		保育所徒歩圏(800m)0~5歳人口カバー率	%	89%	56%	42%	65%	71%	64%	69%	75%
◎歩きやすい環境の形成		歩道設置率	%	51%	74%	69%	73%	72%	40%	57%	51%
		公園から高齢者徒歩圏内(500m)の住宅の割合	%	38%	78%	31%	63%	48%	20%	20%	29%
③安全・安心	◎歩行者環境の安全性向上	市民一人当たりの交通事故死亡者数	人	0.25	0.38	0.48	0.40	0.14	0.41	0.76	0.56
	◎市街地の安全性の確保	最寄り緊急避難場所までの平均距離	m	350	659	1,370	361	1,422	516	643	841
	◎市街地荒廃化の抑制	空家率	%	6%	5%	5%	8%	5%	5%	8%	7%
④地域経済	◎サービス産業の活性化	従業者一人当たり第三次産業売上高	百万円/人	12	13	14	13	17	18	16	13
⑤行政運営	◎都市経営の効率化	人口当たりの公共施設等の維持・管理・更新費	千円	327	346	382	326	354	541	478	384
	◎安定的な税収の確保	市民1人当たり税収額	千円	127	118	103	100	126	124	123	110
⑥エネルギー/低炭素	◎運輸部門の省エネ・低炭素化	市民一人当たりの自動車CO2排出量	t-CO2/年	0.57	0.70	0.96	0.77	1.02	1.28	0.97	1.04

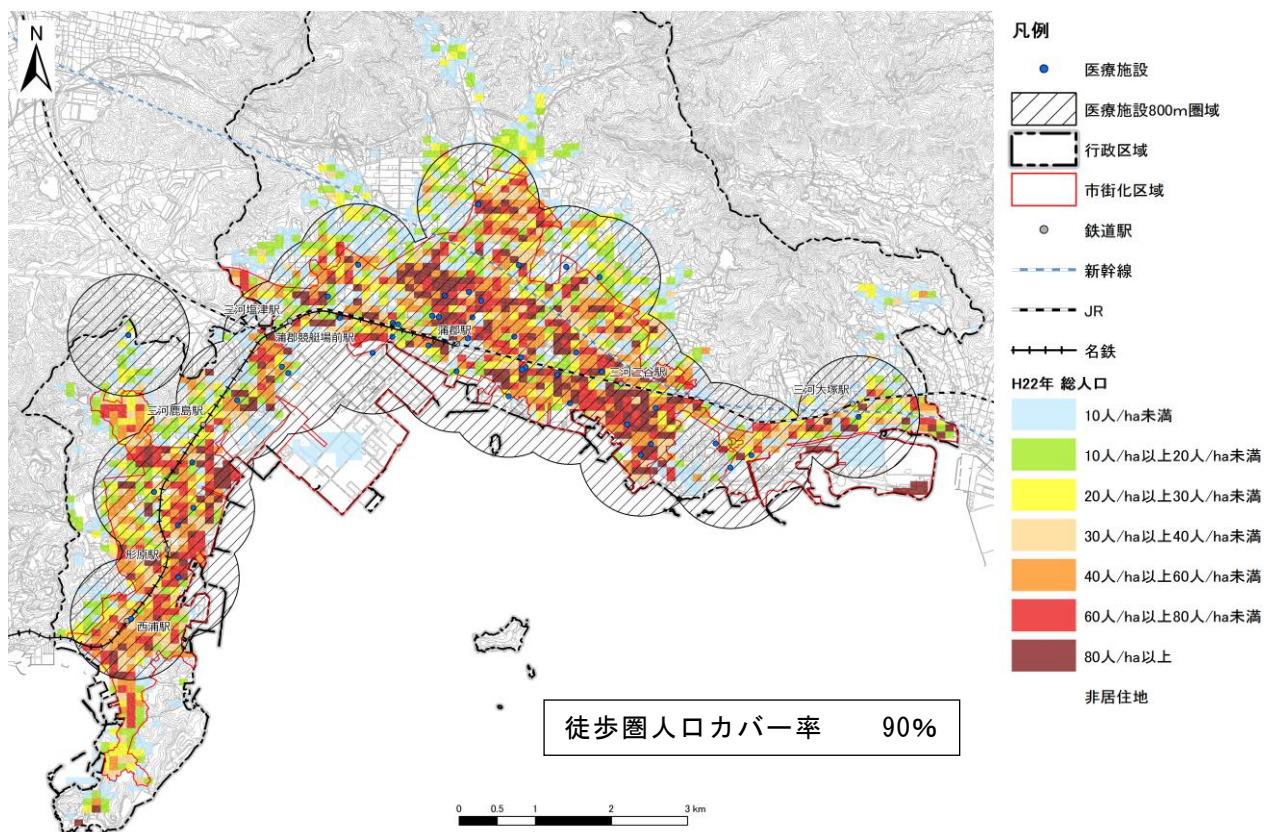
※表の着色は、指標別に評価値が最も大きい都市を緑色、最も小さい都市を白色とし、色の濃淡で数値の大小を示したものである。



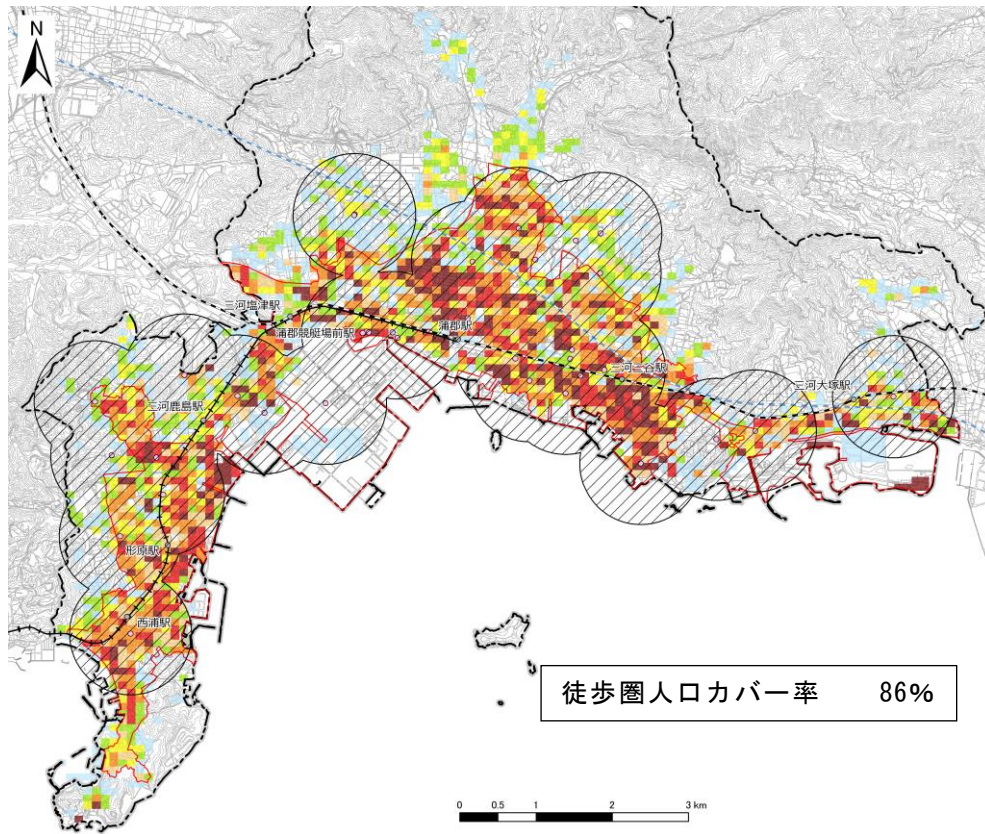
■ 日常生活サービスの徒歩圏



■ 医療施設徒歩圏



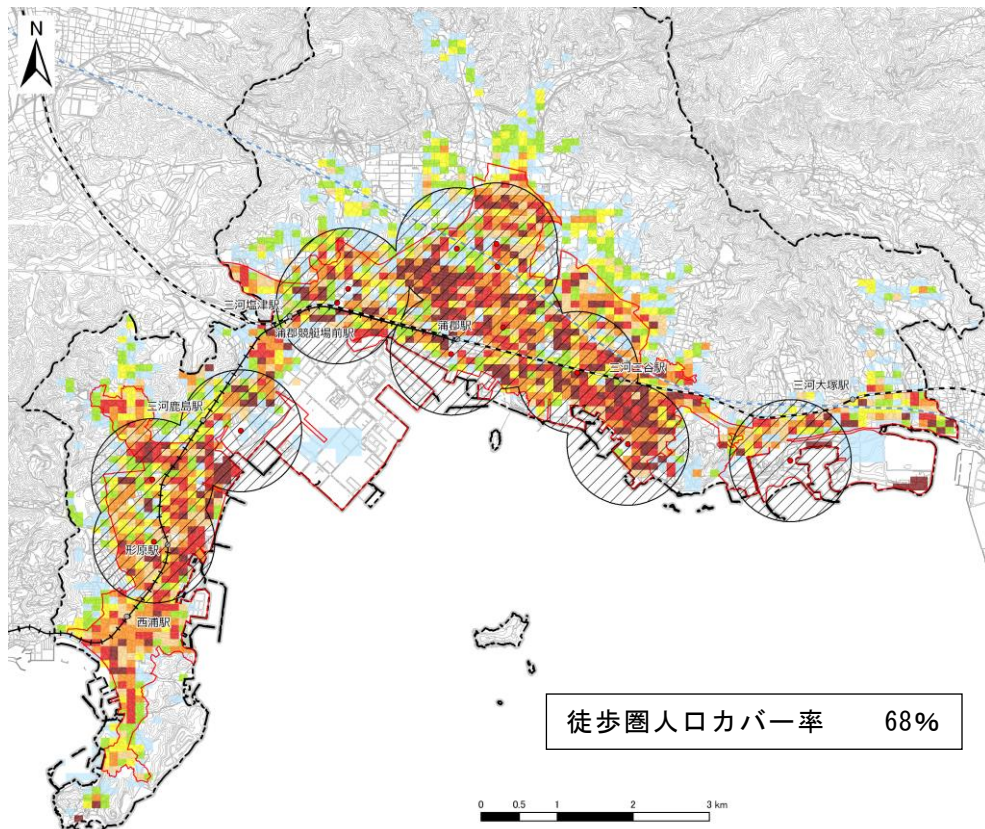
■ 福祉施設徒歩圏



凡例

- 福祉施設
- 福祉施設800m圏域
- 行政区域
- 市街化区域
- 鉄道駅
- 新幹線
- JR
- 名鉄
- H22年 総人口
- 10人/ha未満
- 10人/ha以上20人/ha未満
- 20人/ha以上30人/ha未満
- 30人/ha以上40人/ha未満
- 40人/ha以上60人/ha未満
- 60人/ha以上80人/ha未満
- 80人/ha以上
- 非居住地

■ 商業施設徒歩圏

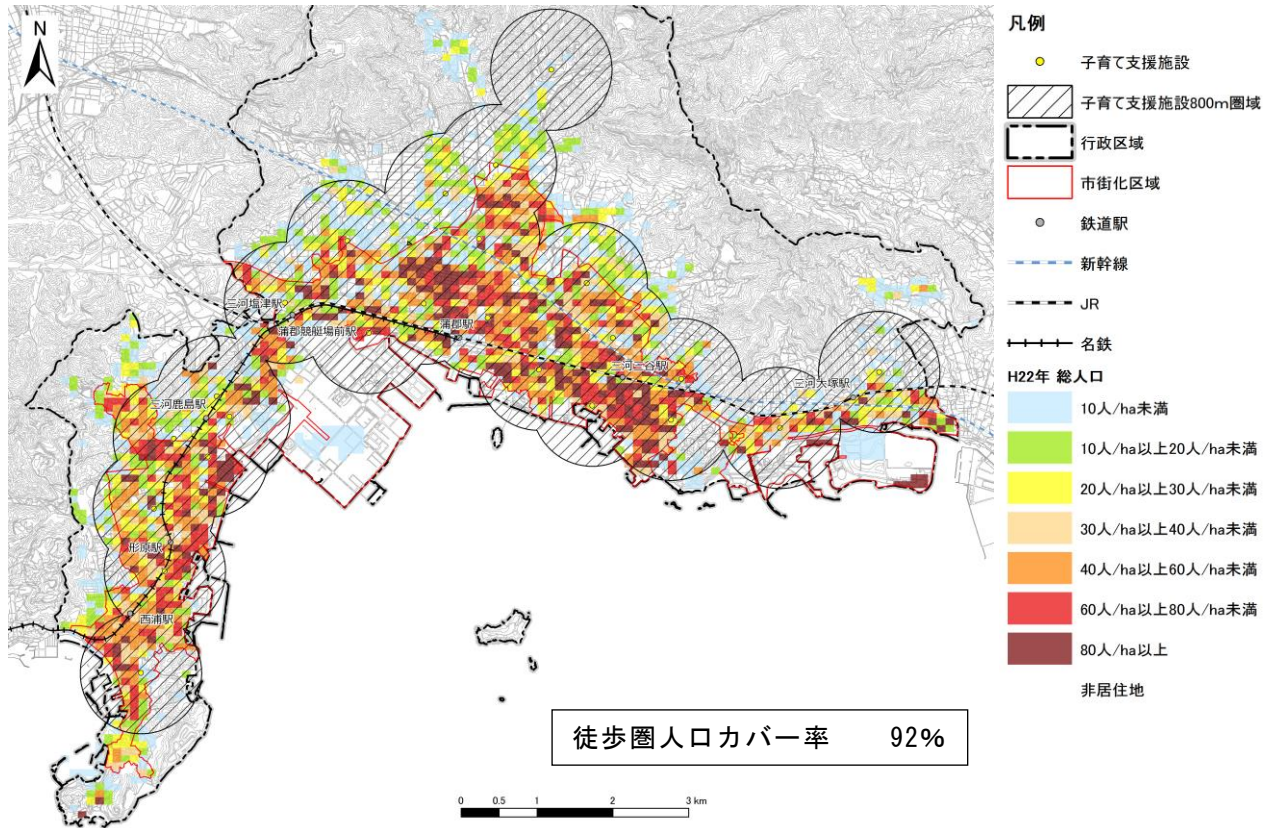


凡例

- 商業施設
- 商業施設800m圏域
- 行政区域
- 市街化区域
- 鉄道駅
- 新幹線
- JR
- 名鉄
- H22年 総人口
- 10人/ha未満
- 10人/ha以上20人/ha未満
- 20人/ha以上30人/ha未満
- 30人/ha以上40人/ha未満
- 40人/ha以上60人/ha未満
- 60人/ha以上80人/ha未満
- 80人/ha以上
- 非居住地



■ 子育て支援施設徒歩圏



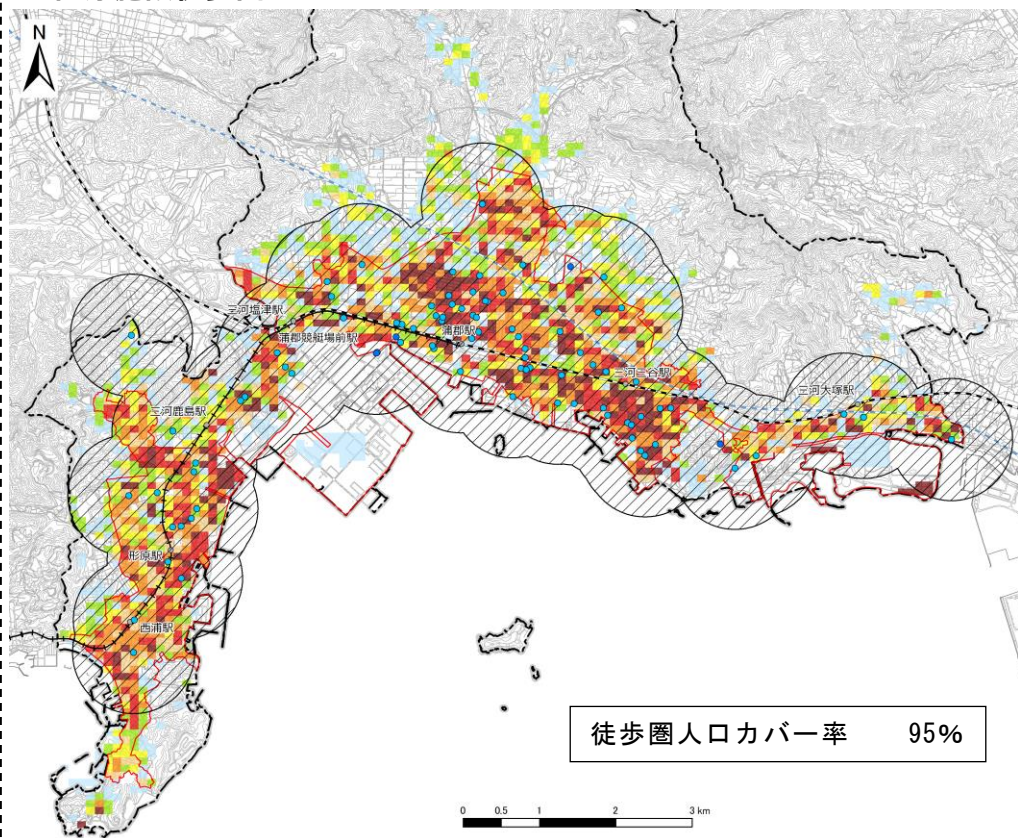
(参考：医療施設について、診療所に歯科を加味した場合の評価)

- ・診療所に歯科を加味すると、95%の人が医療施設の徒歩圏に居住している状況です。また、徒歩圏充足度は34%となります。

	医療施設	診療所に歯科を加味した場合
医療施設徒歩圏人口カバー率	90%	95%
徒歩圏充足率	34%	34%



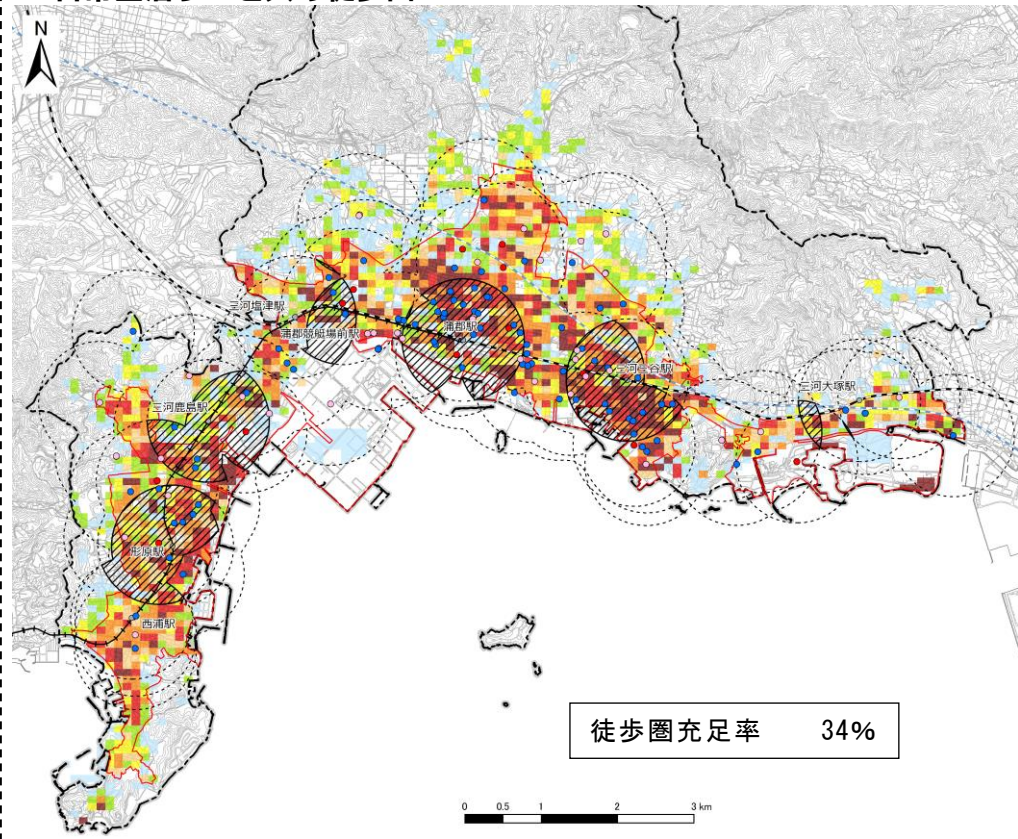
### ■ 医療施設徒歩圏



#### 凡例

- 病院・保健医療センター
  - 診療所
  - ▨ 病院・保健センター、診療所 徒歩圏
  - ▭ 行政区域
  - ▭ 市街化区域
  - 鉄道駅
  - 新幹線
  - JR
  - 名鉄
- H22年 総人口
- 10人/ha未満
  - 10人/ha以上20人/ha未満
  - 20人/ha以上30人/ha未満
  - 30人/ha以上40人/ha未満
  - 40人/ha以上60人/ha未満
  - 60人/ha以上80人/ha未満
  - 80人/ha以上
  - 非居住地

### ■ 日常生活サービスの徒歩圏



#### 凡例

- 福祉施設
  - 医療施設
  - 商業施設
  - ▨ 日常生活サービス徒歩圏
  - ▭ 生活サービス施設800m圏域
  - ▭ 行政区域
  - ▭ 市街化区域
  - 鉄道駅
  - 新幹線
  - JR
  - 名鉄
- H22年 総人口
- 10人/ha未満
  - 10人/ha以上20人/ha未満
  - 20人/ha以上30人/ha未満
  - 30人/ha以上40人/ha未満
  - 40人/ha以上60人/ha未満
  - 60人/ha以上80人/ha未満
  - 80人/ha以上
  - 非居住地



(参考：商業施設について、大型小売店等に主な専門店とドラッグストア、コンビニエンスストアを加味した場合の評価)

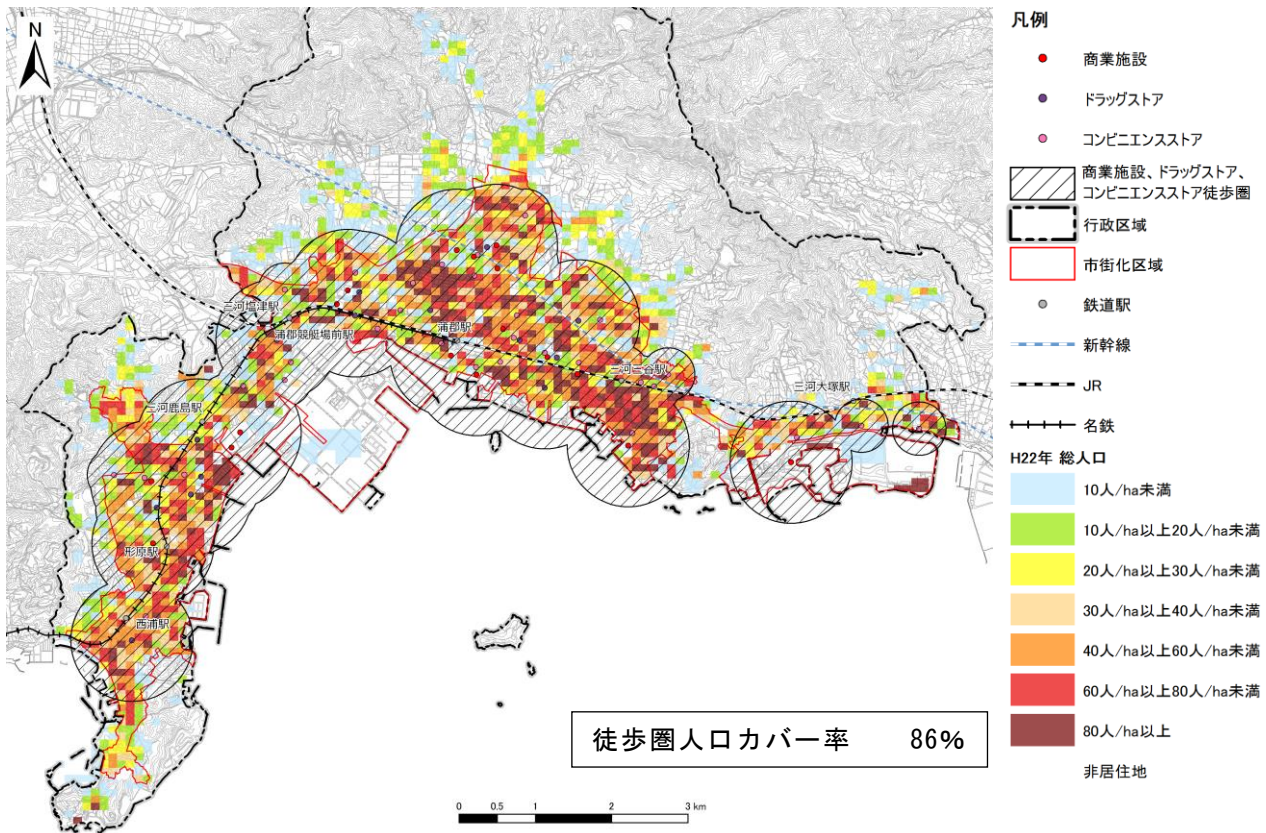
- ・大型小売店等に主な専門店とドラッグストア、コンビニエンスストアを加味すると、86%の人が商業施設の徒歩圏に居住している状況です。また、徒歩圏充足度は 44% となります。

	大型小売店等	大型小売店等に主な専門店 <sup>※1</sup> とドラッグストア、コンビニエンスストアを加味した場合 <sup>※2</sup>
商業施設徒歩圏人口カバー率	68%	86%
徒歩圏充足率	34%	44%

※1：店舗面積が 1,000 m<sup>2</sup> を超える専門店の 800m 圏域

※2：ドラッグストアの 800m 圏域、コンビニエンスストアの 350m 圏域を追加

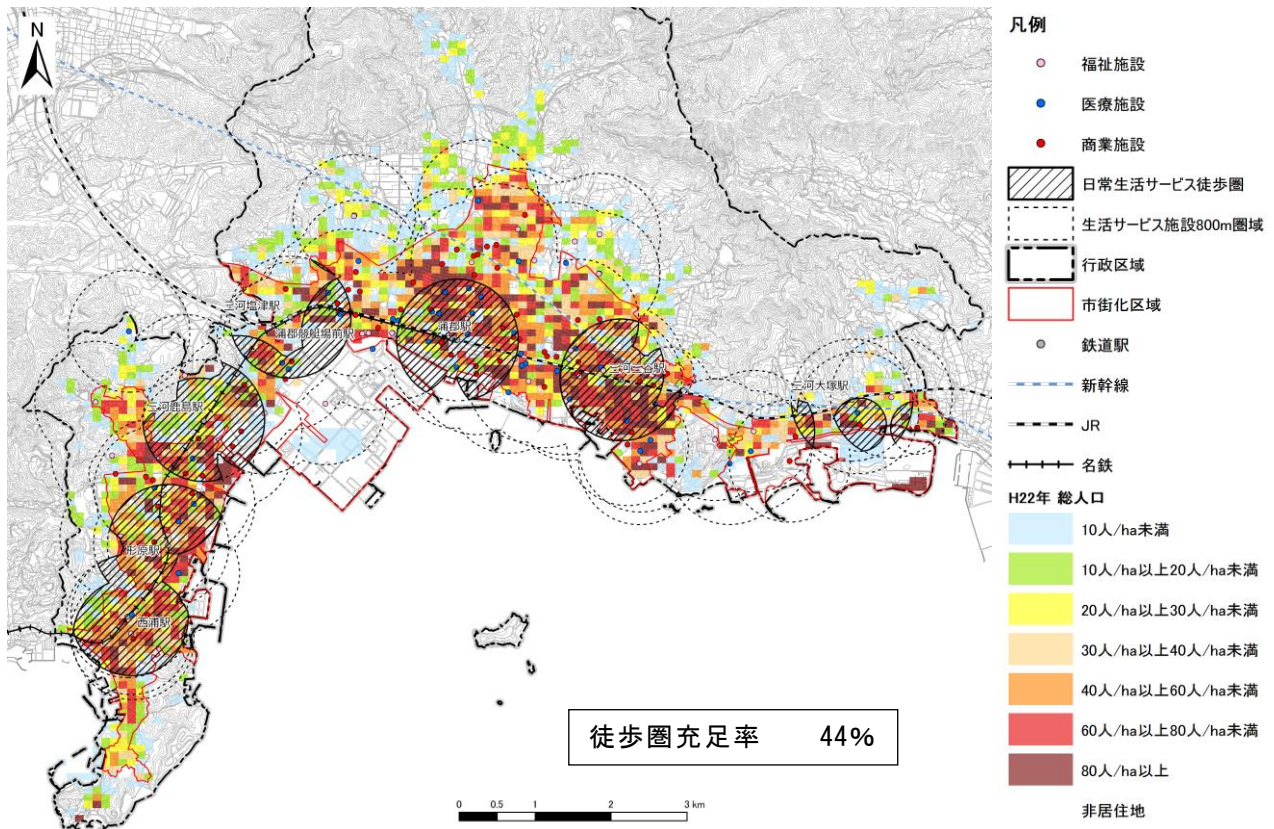
■ 商業施設徒歩圏







### ■ 日常生活サービスの徒歩圏



## 8 居住ニーズの把握

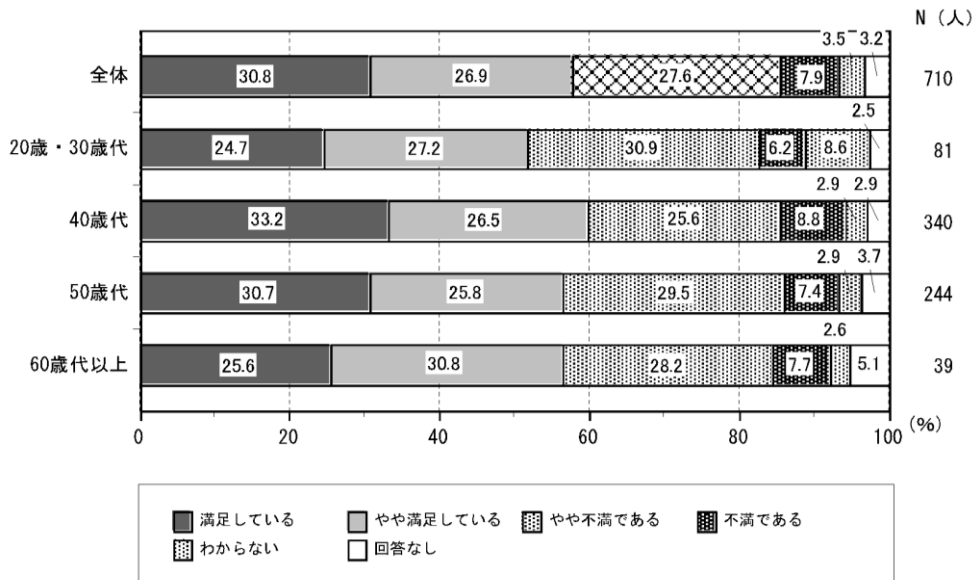
### (1) 蒲都市住宅マスタープランアンケート調査結果概要

#### 調査概要

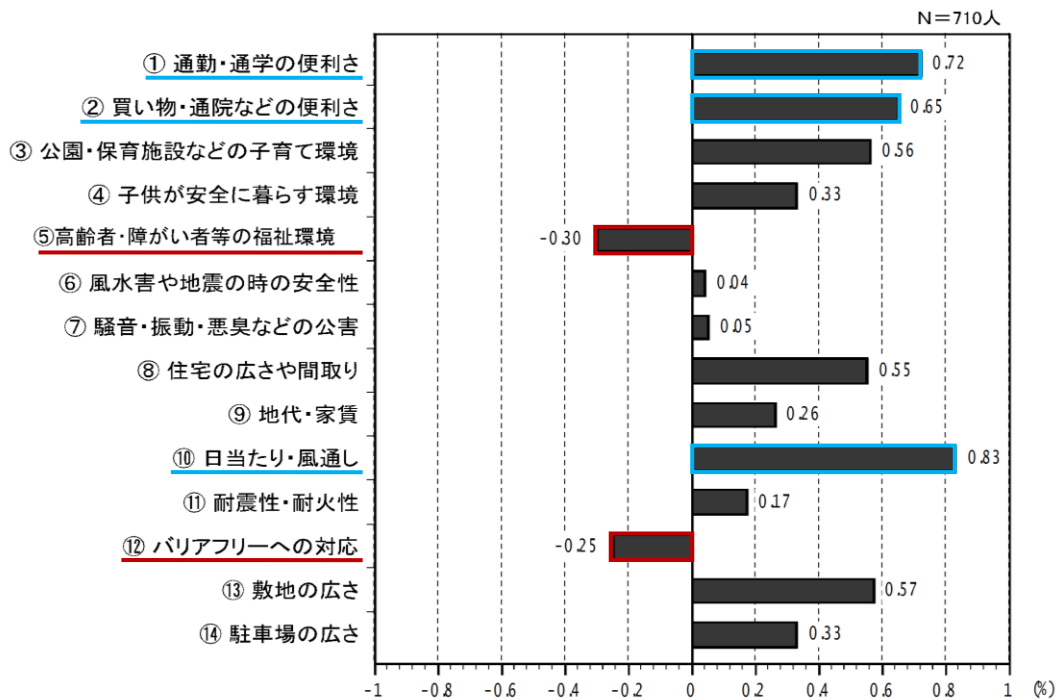
- 調査対象者 : 一般市民の世帯主を無作為抽出で 1,700 人抽出  
 ※世帯主が 20 歳代～60 歳代  
 ※外国人、公営住宅居者は除外
- 調査方法 : 郵送配布・郵送回収
- 調査時期 : 平成 20 年 10 月中旬～11 月中旬
- 配布、回収 : 配布 1,686 票、回収 710 票 (回収率 42.1%)

#### 現在の住宅や住宅の周辺環境の満足度

「満足している」と「やや満足している」が全体の約 6 割を占めており、20 歳・30 歳代の人の満足度は、他の年代と比較し低い傾向にあります。



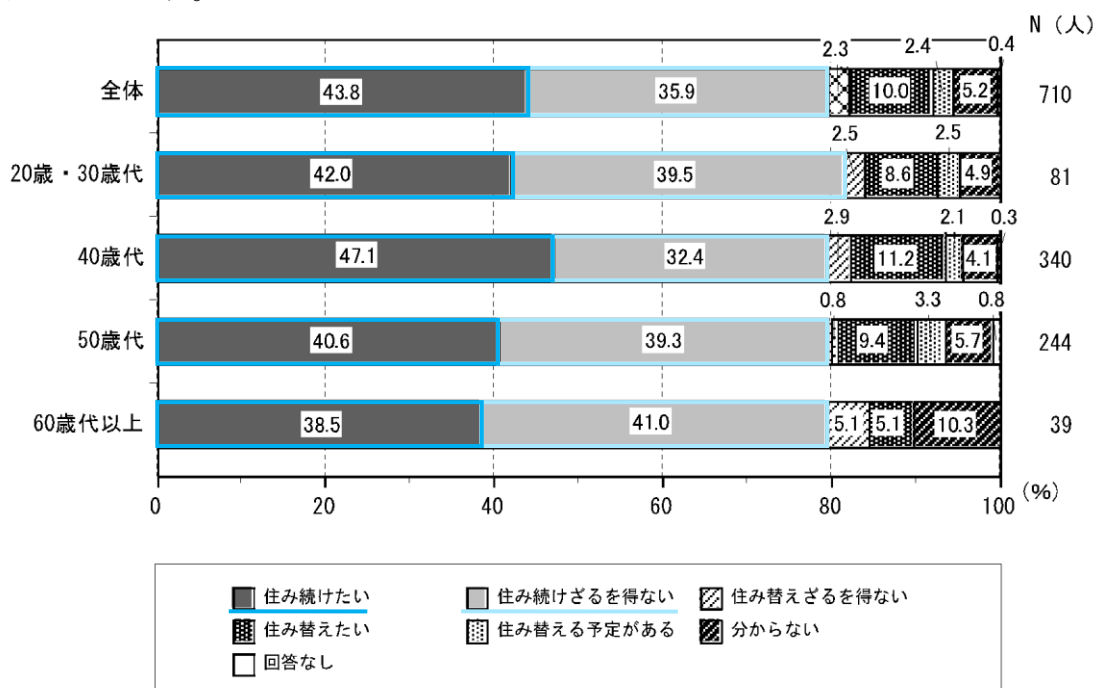
「日当たり・風通し」や「通勤・通学の便利さ」などに関する満足度が高く、「高齢者・障がい者等の福祉環境」や「バリアフリーへの対応」など、福祉関連の周辺環境に対する満足度は低い結果となっています。



注) 「満足」: 2点、「やや満足」: 1点、「やや不満」: -1点、「不満」: -2点として回答割合をかけて評点を算出している。

### 今後の居留意向

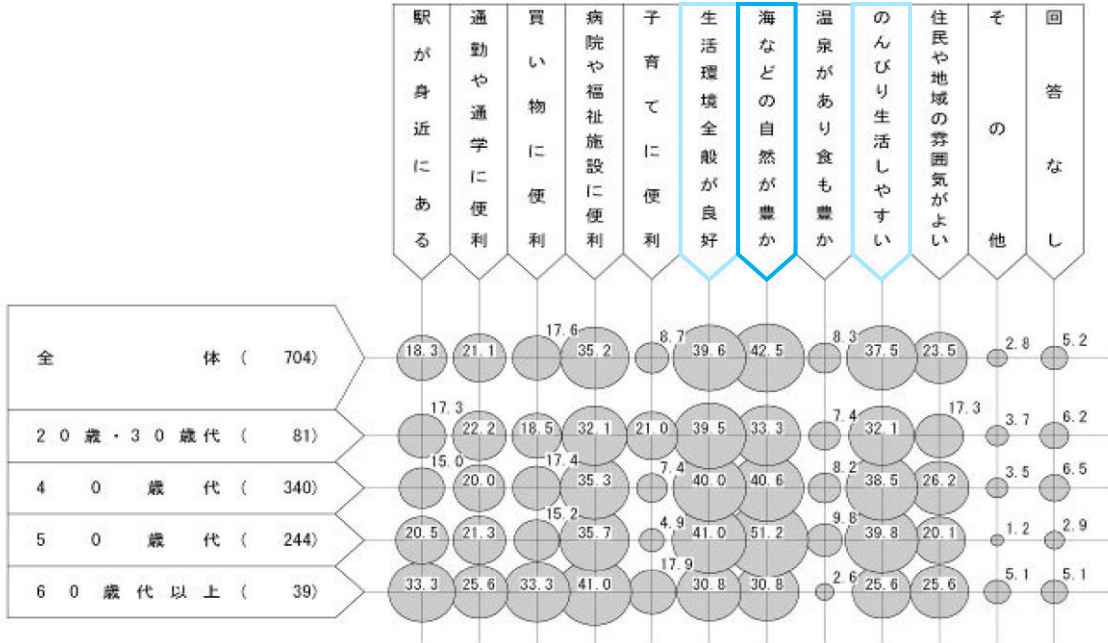
「住み続けたい」が43.8%と最も多く、全体の8割が今後も住み続ける意向を持っています。





### 蒲郡の方向性（居住地としての魅力）

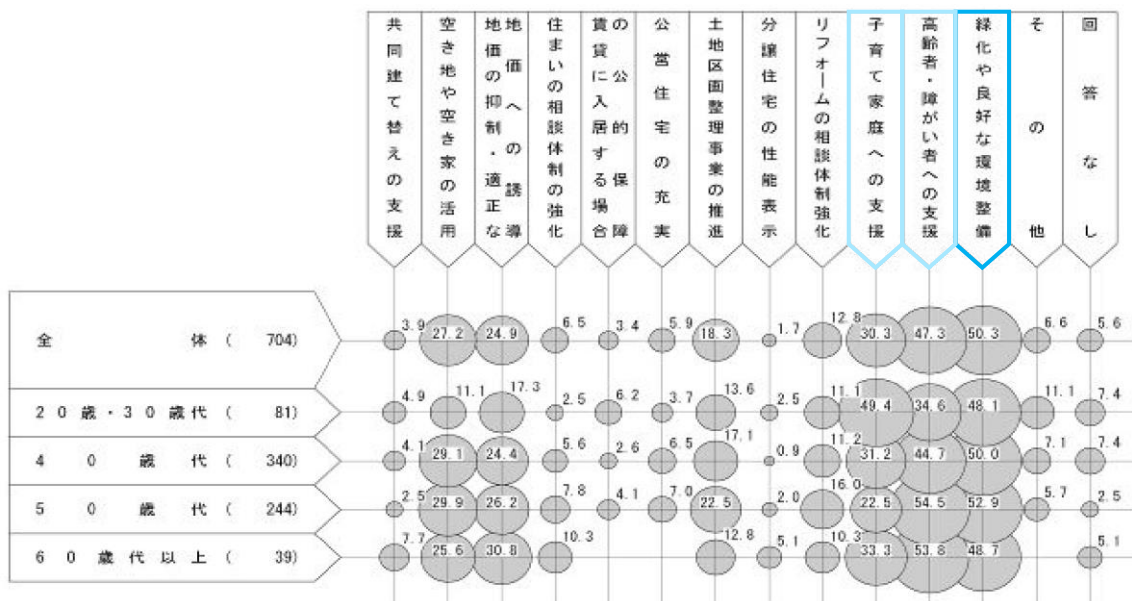
「海などの自然が豊か」が42.5%と最も多く、次いで「生活環境全般が良好」が39.6%、「のんびり生活しやすい」が37.5%です。



### 今後の居住環境の重点改善の項目

全体では「緑化や良好な環境整備」が50.3%で最も多く、次いで「高齢者・障がい者への支援」が47.3%と多いです。「子育て家庭への支援」も約3割を占めています。

また、20歳・30歳代の半数が「子育て環境への支援」を指摘しています。



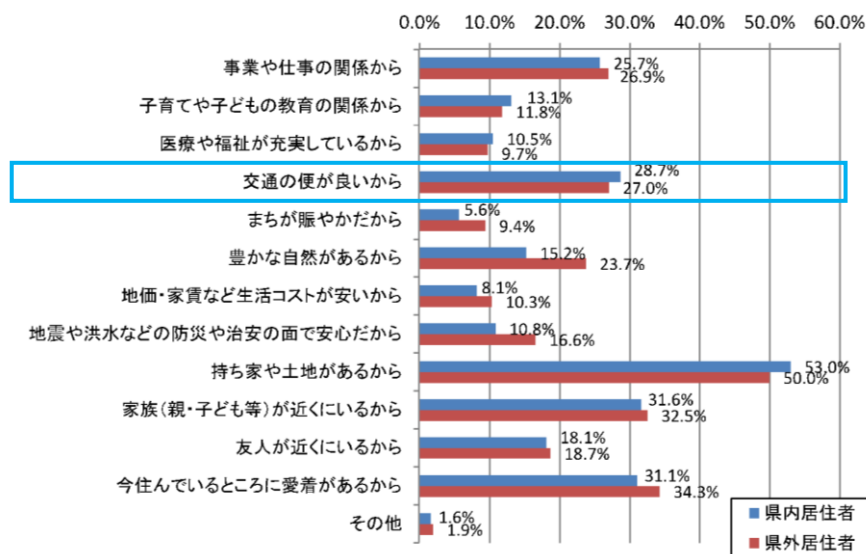
## (2) 愛知県 まち・ひと・しごと創生に係る 県内居住・移住等に関する意向調査

### 調査概要

- 調査対象者 : 愛知県内及び県外に居住する 18 歳以上の男女
- 調査方法 : Web によるアンケート調査
- 調査時期 : 2015 年 5 月
- 回収 : 10,892 サンプル  
(県内居住者 : 4,511、県外居住者 : 6,381 )

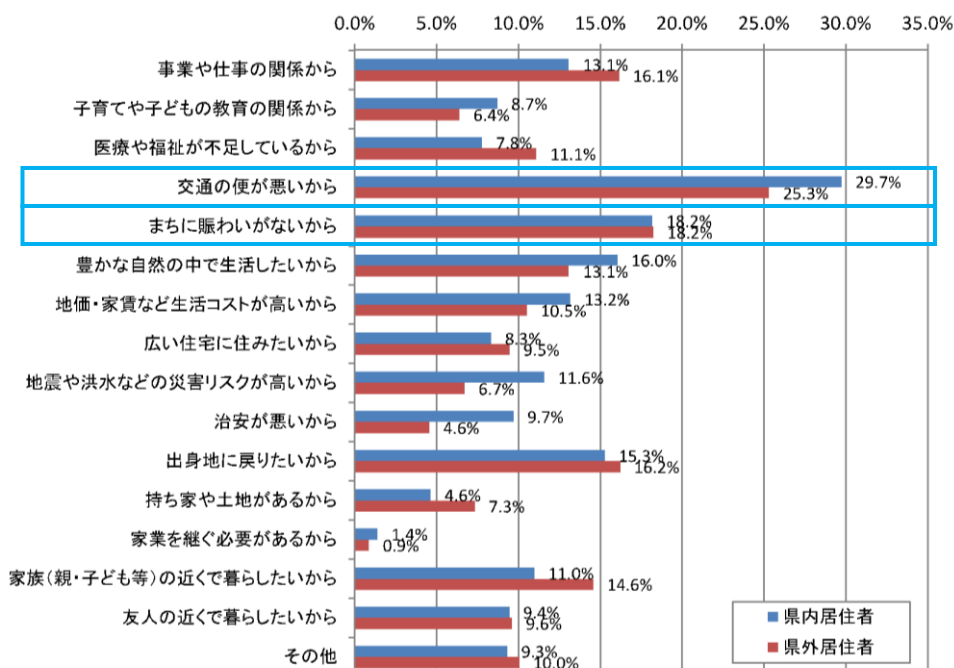
### 定住希望の理由

都市環境に係る評価として、「交通の便が良いから」を選択した人が多いです。



### 移住希望の理由

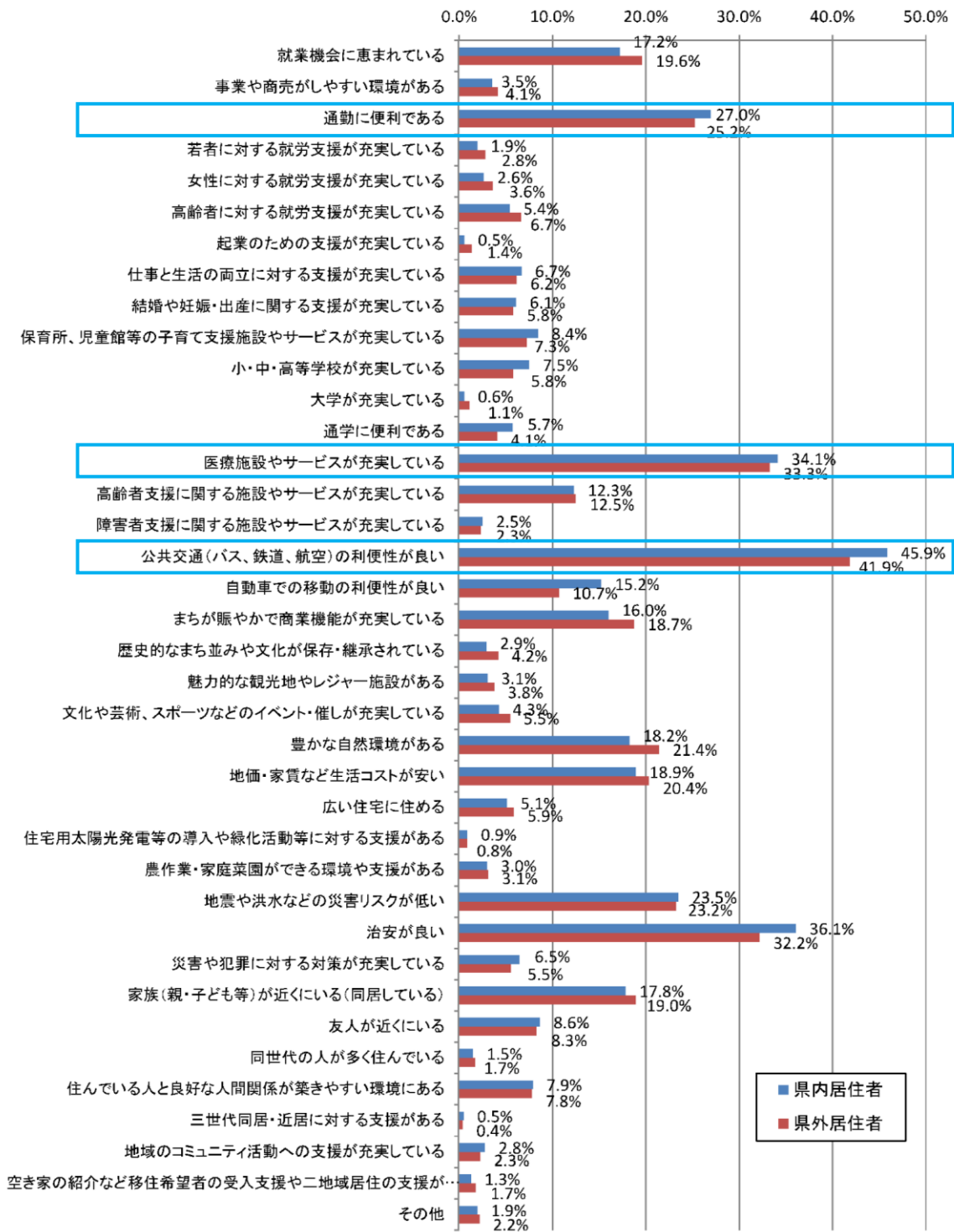
都市環境に係る評価として、「交通の便が悪いから」と「まちに賑わいがないから」を選択した人が多いです。



# 1 現況把握

## 定住・移住の条件

都市環境に係る評価として、「公共交通の利便性が良い」と「医療施設やサービスが充実している」「通勤に便利である」を選択した人が多いです。



## 9 現況のまとめ

各評価項目の評価結果の概要は以下のとおりです。

### ■各項目の現況整理結果の概要

項目	現況	
人口・世帯	人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和 60 年頃から人口は減少 (平成 7 年から 27 年の 20 年間で 2,630 人減少)</li> <li>・人口は、自然動態、社会動態ともマイナス (世帯は転入超過であるが、転出世帯の世帯人員が多い)</li> </ul>
	人口分布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化区域に約 9 割が居住</li> <li>・市街化区域内外で人口が減少、世帯は市街化区域では増加</li> <li>・工業専用地域を除く用途地域で人口密度がおおむね 40 人/ha 確保</li> <li>・蒲郡駅から三河三谷駅周辺の地域や、形原駅から西浦駅周辺の地域において人口が集積</li> <li>・総人口は市西部で特に減少、土地区画整理事業施行区域内等の新たな市街地で増加</li> <li>・年少人口は人口集積の多い地域で減少、高齢者はおおむね市全域で増加</li> <li>・市西部の形原駅周辺は、総人口、年少人口、高齢者数ともに減少</li> <li>・市内各所で運転免許の保有率が低い 75 歳以上の高齢者層が増加</li> </ul>
	世帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯数は増加傾向、73%が戸建て住宅に居住</li> <li>・三河鹿島駅以南の駅周辺や市街化調整区域等で減少傾向</li> <li>・高齢者の単身世帯は、蒲郡駅から三河三谷駅周辺や形原駅周辺で多く、全市的に増加</li> </ul>
	人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三河塩津・蒲郡競艇場前駅周辺、蒲郡中部や双太山土地区画整理事業施行区域等において人口・世帯数が増加</li> <li>・蒲郡駅や三河三谷駅周辺などでは、人口は減少、世帯数は増加</li> <li>・三河鹿島駅以南の駅周辺や市街化区域の一部等で人口・世帯が減少</li> </ul>
都市機能施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹的な施設は、蒲郡駅周辺に集積</li> <li>・身近な施設は、駅周辺等を含めた人口が集積している地域に集積</li> <li>・比較的コンパクトな都市が形成されている</li> </ul>	
交通の概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表交通手段別分担率は公共交通に比べて、自動車が過去から高い</li> <li>・公共交通カバー圏域外においても人口集積地がある</li> <li>・蒲郡東部病院など公共交通で結ばれていない基幹的な都市施設が立地</li> <li>・公共交通利用者は、JR が横ばいで名鉄は減少傾向、バスは減少から増加に転じている</li> </ul>	
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住系用途地域や準工業地域内に低未利用地等が多い</li> <li>・駅徒歩圏別に見ると、蒲郡駅と三河三谷駅周辺を除く駅周辺の市街化区域に自然的土地利用が多い</li> <li>・空き家が増加傾向で、6 件に 1 件が空き家</li> </ul>	



項目	現況
経済活動等	<ul style="list-style-type: none"><li>・通勤・通学流動は流出超過であり、近隣自治体間の行き来が多い</li><li>・市内の従業者数は第一次産業、第二次産業、第三次産業の全てで減少傾向</li><li>・製造品出荷額等は周辺市町より少ないが、増加傾向</li><li>・商品販売額は周辺市より少なく、減少傾向</li><li>・地価はいずれの地点でも減少（資産価値の低下、税収の減少の懸念）</li></ul>
財政状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・市税の総額及び固定資産税、都市計画税が減少傾向</li><li>・民生費が増加傾向、土木費が減少傾向</li><li>・現在の公共施設保有量を維持することは困難</li></ul>
都市構造の評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・類似都市と比較すると生活利便性が高く、コンパクトな都市が形成されていると考えられるため、今後の都市づくりではこれを活かすことが必要</li><li>・健康福祉を支える都市基盤の確保や空き家対策、サービス産業の活性化が必要</li></ul>
居住環境への意向	<ul style="list-style-type: none"><li>・「20歳・30歳代」の年代の居住地に対する満足度が、他の年代より低い</li><li>・「通勤・通学の便利さ」「買い物・通院などの便利さ」など、生活利便性に関する満足度が高い</li><li>・「緑化や良好な環境整備」「高齢者・障がい者への支援」「子育て家庭への支援」に対する改善意向が強い</li><li>・定住希望の理由として「公共交通の利便性」「まちなのにぎわい」「医療等のサービスの充実」等が挙げられる</li></ul>